

参考資料1 区民等への意識調査

【目次】

1. 区民意識調査

1) 企画.....	1
2) 実施.....	3
3) アンケート結果	8
4) 分析.....	51

2. 来訪者アンケート

1) 企画.....	54
2) 実施.....	56
3) アンケート結果	59
4) 分析.....	91

1. 区民意識調査

1) 企画

区民意識調査について、以下の内容にて実施した。

(1) 目的

区民のまちづくりに関するニーズを把握し、都市マスタープランの見直しに活用するためとする。

(2) 対象・実施方法

調査の対象及び実施方法は以下の表のとおりとする。

■対象及び実施方法

区分	内容	備考
対象	18歳以上の区内居住者	直近の区政世論調査を踏まえ回収率を約40%と想定し、1000サンプル程度を回収するために、住民基本台帳（令和3年12月時点）より2,525人（2,500人×40%=1,000人程度）を年代構成、男女比に応じて無作為抽出する。
回答方法	1. 回答用紙による回答	6ページ（両面3枚）の左側を2か所ホッチキス止めしたものとする。
	2. WEBによる回答	回答率を上げるため、WEBによる回答を取り入れた。また、アンケート依頼票のレイアウトをWEBによる回答を促すように工夫をする。なお、今回は同一のデバイスから複数回回答ができないように設定した。

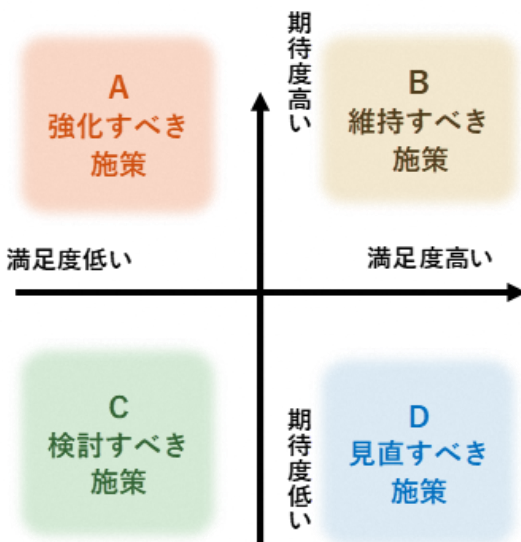
(3) 調査項目

調査項目は、以下の表のとおりとする。

■調査項目と各項目の狙い

区分		各問を聞くねらい／改定案への反映方法等
問1	個人属性について	問2以降の設問とクロス集計することで、個人属性ごとに回答の特徴を捉える。特に、地域毎に回答の各項目の特徴を捉えることで地域毎の方針に反映できる。
問2	区の魅力について	現行都市マスタープランの区の魅力の項目ごとに区民がどの程度満足しているのか、今後どのような魅力を高めてほしいのかクロス集計（下図参照）によってA強化すべき魅力方針 B 維持すべき魅力方針 C 検討すべき魅力方針 D 見直すべき魅力方針として捉える。これによって、現行都市マスタープランに記載のある魅力の項目や記述内容の見直しの材料とする。
問3	区の実施について	現行都市マスタープランの施策及びそれに紐づく事業について区民が具体的にどのようなものを進めてほしい（あるいは、進める必要がない）と考えているのかを「現在の満足度」と「今後の期待度」のクロス集計（下図参照）によってA強化すべき施策 B 維持すべき施策 C 検討すべき施策 D 見直すべき施策として捉え、現行都市マスタープランの施策項目や記述内容の見直しの材料とする。
問4	今後のまちづくりの進め方等（自由記述）	以上の問で拾いきれない区民のまちづくりに関する細かい要望やニーズを捉える。特に重要であると考えられる項目については見直し時に今後力を入れるべき新しい項目として記載を検討する。

■クロス集計のダイアグラム



2) 実施

区民意識調査について、実施概要は以下のとおりとする。

■実施概要

対象	18歳以上の区内居住者（無作為抽出された2,525人）
実施日時	令和4年2月28日（月）～令和4年3月11日（金）（11日間） ※一部地域は郵送の都合上、令和4年2月25日（金）～令和4年3月11日（金）（14日間）
配布物	①～③を④に封入し、配布した。 ① 依頼票 ② 調査票 ③ 返信用封筒 ④ 送付用封筒

あなたの声をお聞かせください

文京区都市マスタープランの見直しに向けた

文京区「区民意識調査」

区民の皆様には、日頃、区政運営に御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本区では、平成23年（2011年）に「文京区都市マスタープラン」を改定し、安心で魅力あふれるまちづくりを進めていますが、改定から10年が経過しており、現在「文京区都市マスタープラン」の見直しを検討しております。

この調査は、皆様の御意見等を伺い、「文京区都市マスタープラン」の見直しの検討の参考とするために実施するもので、本区の住民基本台帳に登録されている18歳以上の約2,500人を無作為に選び、調査票をお送りしております。

調査票の記入は無記名で行い、回答は全て統計的に処理し、調査目的以外に使用することは一切ございません。

御多用のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年2月

方法1 パソコン・スマートフォンでのご回答

こちらの専用アドレスか二次元コードから、3月11日（金）までにご回答ください。

文京区区民意識調査 WEB アンケート専用アドレス
<https://questant.jp/q/bunkyotoshimasu2022>



▲二次元コード

パスワード
「**bunkyo**」が
必要になります。

ご回答にあたって

1. あて名の御本人が、記入してください。
2. 回答はあてはまる項目にチェックを付けてください。
3. 用紙（調査票）にて記入、郵送いただく方はWEBでのご回答はお控えください。

方法2 用紙（調査票）でのご回答

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて3月11日（金）までに、投函してください。（切手を貼らずにお出しください。お名前を記入する必要はありません。）

ご回答にあたって

1. あて名の御本人が、記入してください。
2. 鉛筆又は黒のボールペンで、記入してください。
3. 回答は、あてはまる項目の番号に○を付けてください。
4. WEBでご回答の方は用紙（調査票）にて記入、郵送はお控えください。

【お問合せ先】文京区 都市計画部 都市計画課
〒112-8555 文京区春日一丁目16番21号 文京シビックセンター18階
電話 03-5803-1239 （担当：橋野・上野）



文京区都市マスタープランの見直しに向けた区民意識調査

アンケート調査票

問1 あなた自身のことについて、お聞きます。

項目	あてはまる番号に○を付けてください。【○印は1つ】											
1 年齢	1 10代	2 20代	3 30代	4 40代								
	5 50代	6 60代	7 70歳以上									
2 居住地	1 大塚	2 音羽	3 春日	4 小石川								
	5 後楽	6 小日向	7 水道	8 関口								
	9 千石	10 千駄木	11 西片	12 根津								
	13 白山	14 本郷	15 本駒込	16 向丘								
	17 目白台	18 弥生	19 湯島									
3 居住年数	1 2年未満	2 2年以上5年未満	3 5年以上10年未満									
	4 10年以上15年未満	5 15年以上20年未満	6 20年以上25年未満									
	7 25年以上											
4 住居	1 一戸建て(持ち家)	2 一戸建て(借家)										
	3 分譲マンション	4 賃貸マンション・アパート										
	5 社宅・寮など	6 その他 ()										
5 職業	1 自営業・事業主	2 自由業	3 会社員・公務員									
	4 パート・アルバイト	5 家事(専業)	6 学生									
	7 無職	8 その他 ()										

1

問2 区のまちの魅力に関する「現在の満足度」と「今後の期待度」について、お聞きます。

【問2の記入例】

まちの魅力	現状の満足度					今後の期待度				
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあまあ満足である	満足である	力を入れてなくてよい	どちらかといえは力を入れてなくてよい	どちらともいえない	どちらかといえは力を入れて欲しい	力を入れて欲しい
1 交通利便性 (例) 地下鉄、バス路線、コミュニティバス、レンタサイクル等の魅力的な交通サービスがある。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

設問の各項目に対し、現状をどのように感じているか、あてはまるものにそれぞれ○印を1つ付けてください。

設問の各項目に対し、区のまちの魅力の今後の期待度について、あてはまるものにそれぞれ○印を1つ付けてください。

まちの魅力	現状の満足度					今後の期待度				
1 交通利便性 (例) 地下鉄、バス路線、コミュニティバス、レンタサイクル等の魅力的な交通サービスがある。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 閑静な住宅地 (例) 都心に近接しながらも閑静で比較的良好な住宅地が区内に広がっている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 緑と川 (例) 小石川後楽園、六義園等の大規模な緑、起伏に富んだ地形により生まれる斜面の緑、寺社や住宅地の緑、神田川等がある。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 歴史・文化 (例) 赤門・護国寺・根津神社等の文化財や、寺社、文人ゆかりの地等の歴史・文化的資源が分布している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 大学の集積・教育機関、医療機関 (例) 教育環境や医療環境に恵まれ、企業等の良好な立地条件となっている。大学の立地は労働力の確保や地域への貴重な人材の提供を可能にしている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 坂 (例) 文学作品に登場する坂、地域を特徴づける名の坂があり、変化に富む風景をつくっている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 まち並み (例) 都心に近接しながらも、風情ある街並みが残っている。また、白山通り等街路樹の豊かな大通りがある。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

2

まちの魅力について、特に不満と感じていることがありましたら、その理由をご記入ください。

(例) 1 → 自転車シェアリングをよく利用するが、自転車のポートの場所が遠く、不便だから。

まちの魅力番号

まちの魅力について、特に力を入れてほしいとされていることがありましたら、その理由をご記入ください。

(例) 2 → 昨年、子どもが生まれ、安全な住宅地で子育てをしたいから。

まちの魅力番号

上記以外に、文京区のまちの魅力と感じていることがありましたら、ご記入ください。

問3 区の実組に関する「現状の満足度」と「今後の実組への期待度」について、お聞きします。

【問3の記入は問2と同様に「現状の満足度」と「今後の実組への期待度」についてそれぞれ○印を1つ付けてください。】

(1)土地利用について

区の実組	現状の満足度					今後の実組への期待度				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
① 地域特性に応じた多様な市街地の形成 (例) 地域地区 [※] の指定と適切な運用										
② 土地利用の誘導に関する実組 (例) 春日・後楽園駅前地区における再開発事業の推進、中高層建築物の建築に係る調整										
③ 建築物の高さに関する実組 (例) 建築物の高さ最高限度の指定と適切な運用										

※ 地域ごとの性格に応じて建築制限等を行うために定める都市計画。

(2)道路・交通ネットワークについて

区の実組	現状の満足度					今後の実組への期待度				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
① 歩行・自転車利用の環境整備 (例) 歩道の幅や段差の解消、歩行者と分離された自転車レーンの整備、無電柱化 [※] の推進、自転車シェアリング、駐輪場整備										
② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備 (例) バリアフリー事業の推進、コミュニティバス「B-ぐる」の運行、駅周辺の駐輪場の運営・整備										
③ 道路網の整備 (例) 国道・都道・区道の整備、細街路の幅、街路樹の維持管理										

※ 道路上にある電柱をなくすこと。

(3)緑と水のまちづくりについて

区の実組	現状の満足度					今後の実組への期待度				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進 (例) 安全・安心で快適な公園の設計・再整備、公園・児童遊園等の維持										
② 宅地内の緑のまちづくりの推進 (例) 壁面や屋上の緑化に対する助成、講演会等による緑化啓発										
③ 緑と水のネットワーク軸の形成 (例) 街路樹、神田川護岸の維持管理										

(4)住宅・住環境形成について

区の取組		現状の満足度					今後の取組への期待度				
①	防災や環境に配慮した住宅建設の誘導 (例) 建築物の耐震改修、建替え、省エネ設備設置等への助成、マンションの良好な維持管理の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②	子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応 (例) 公共性の高い建築物等のバリアフリー化の推進、高齢者の住宅確保・入居支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③	地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成 (例) 宅地開発や中高層建築物建築の事前協議制度、狭い道路の拡幅、建築物の耐震化・不燃化への助成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④	賑わいのある商店街の形成 (例) 商店街環境整備への補助	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤	防犯まちづくりの推進 (例) 防犯活動への支援、公園・通学路等への防犯カメラの設置	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(5)景観形成について

区の取組		現状の満足度					今後の取組への期待度				
①	身近なまち並み景観の形成 (例) 区内全域での一定規模以上の建築等の景観事前協議、区民等への景観に対する意識啓発、無電柱化の推進、建築物等の高さ制限	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②	まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成 (例) まちの特性に応じた基準に基づく景観事前協議	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(6)防災まちづくりについて

区の取組		現状の満足度					今後の取組への期待度				
①	災害に強いまちづくりの推進 (例) 建築物の耐震改修、建替え、崖・塀の改修への助成、狭い道路の拡幅、区民防災組織への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②	災害時の避難対策の推進 (例) 中高層共同住宅への支援、無電柱化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③	総合的な治水・雨水対策の推進 (例) 透水性舗装、雨水浸透枳の整備、中高層建築物建築への雨水流出抑制施設の設置指導	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

区の実施について、特に不満と感じていることがありましたら、その理由をご記入ください。

(例) (2) - ① → 自動車(車道(路肩))に駐車しているため、自転車に乗る際、安全に通行できないから。

区の実施番号
() - →

区の実施について、特に力を入れてほしいと思われていることがありましたら、その理由をご記入ください。

(例) (6) - ① → 今後、災害が激甚化すると考えられ、それに対する実施に力を入れてほしいから。

区の実施番号
() - →

問4 区の実施のまちづくりについて、進めるべきと考える実施やご意見がありましたらお書きください。

以上で、区民意識調査は終了です。御協力ありがとうございました。

3) 区民意識調査の結果

区民意識調査の集計を行った。回収状況は以下のとおりである。

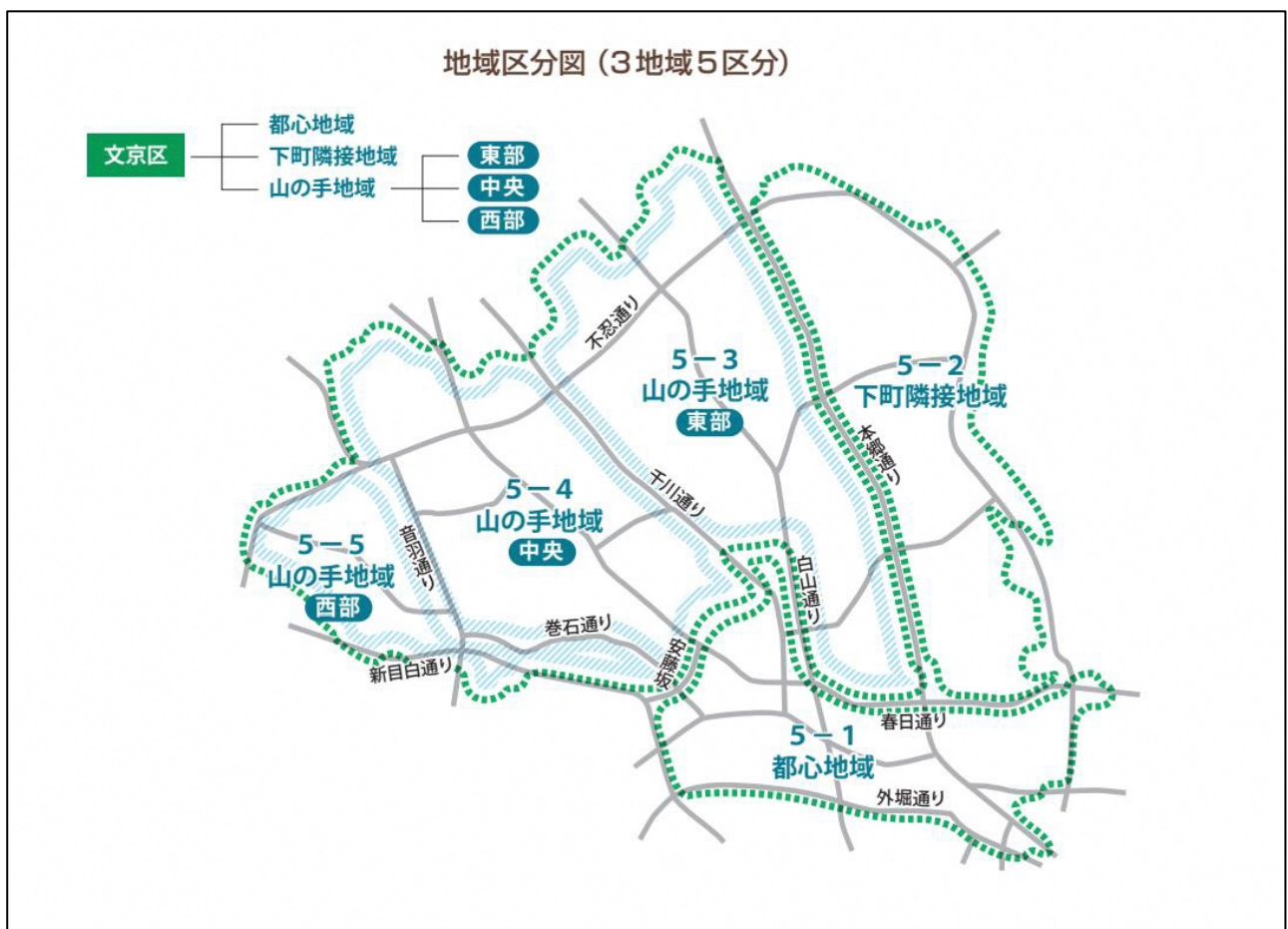
次ページ以降よりアンケート結果を掲載する。今回は、アンケート結果から地域的傾向を明らかにするために、問2、問3は現行都市マスタープランの地域区分により集計を行った。

■回答概要

回答方法	郵送回収	WEB回答
回答数	477件 (2500件の内19.1%)	256件 (2500件の内10.2%)
	合計 733件 (回収率：29.0%)	

※本調査では、信頼水準を一般的な95%とした場合、許容誤差の水準を3%程度にするために、1,000件程度の回答を見込んだが、アンケートをより意味のあるものとするために設問数等がやや多くなった等の理由から、回答数が1,000件に満たなかった。一方で、回答数が400件以上あり、信頼水準を一般的な95%とした場合、許容誤差は5%未満となるため、区の平均値から5%以上差があるものに対して優位性があると考えればよく、分析に問題はない。

■現行都市マスタープランの地域区分



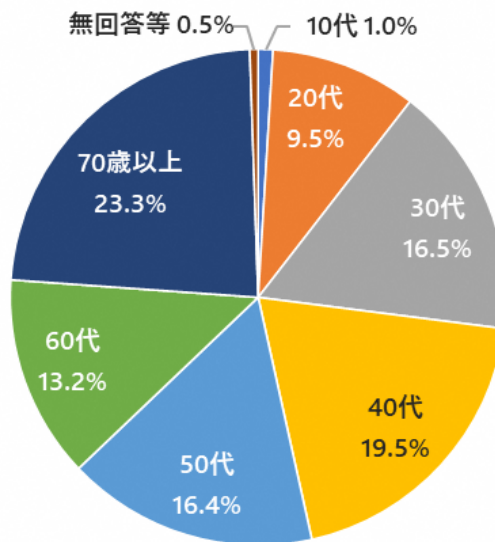
(1) 問1 個人属性

① 年齢

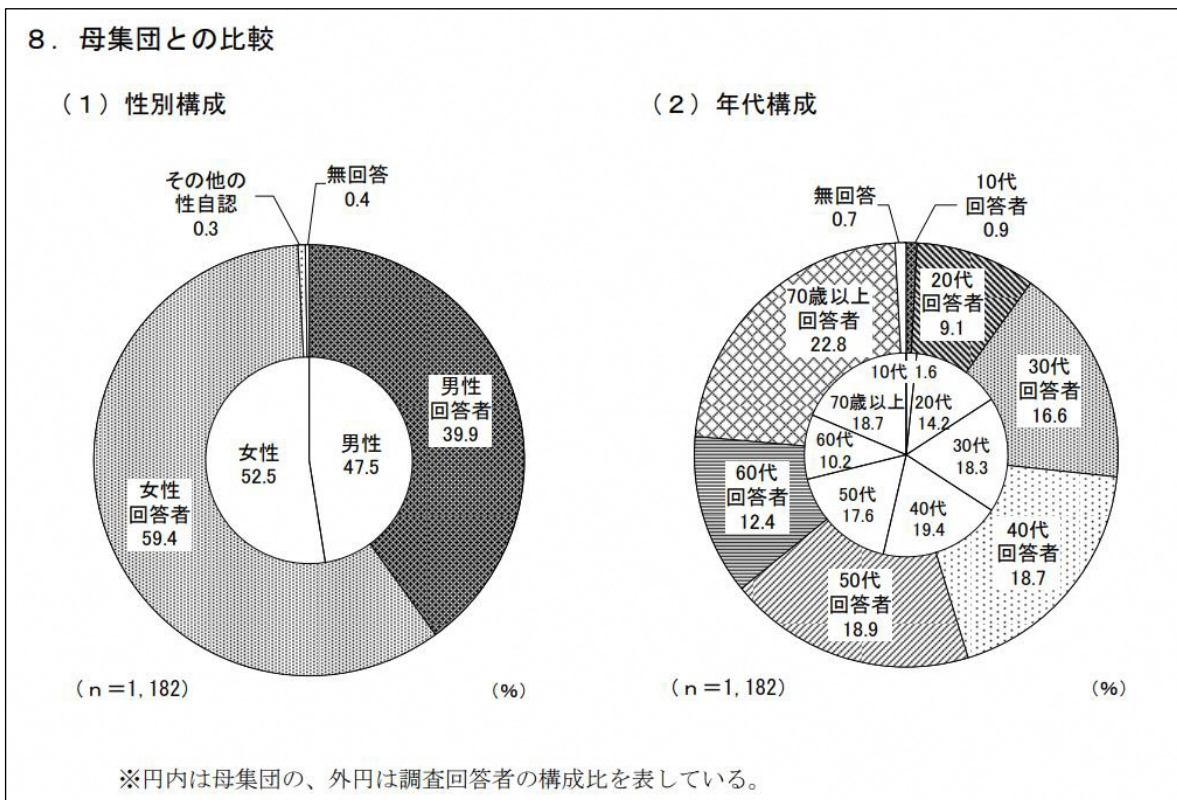
- ・70歳以上の回答者（全体の23.3%）が最も多く、次いで、40代の回答者（全体の19.5%）、30代の回答者（全体の16.5%）と続く。
- ・第25回文京区政に関する世論調査の年代構成と比較すると、それほど大きな差異は見られない。

■回答者の年齢

番号	選択肢	回答者数	割合
1	10代	7	1.0%
2	20代	70	9.5%
3	30代	121	16.5%
4	40代	143	19.5%
5	50代	120	16.4%
6	60代	97	13.2%
7	70歳以上	171	23.3%
99	無回答等	4	0.5%
合計		733	100.0%



(参考) 第25回文京区政に関する世論調査報告書における年代構成



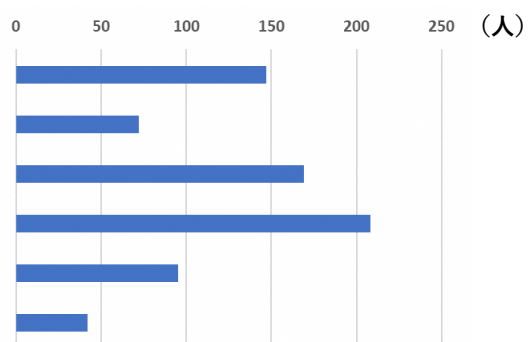
出典：「第25回文京区政に関する世論調査報告書」

② 居住地

- ・居住地を、都市マスタープランにおける3地域、5区分に分類した。

■回答者の居住地（3地域、5区分）

3地域5区分	回答者数
下町隣接地域	147
山の手地域西部	72
山の手地域中央	169
山の手地域東部	208
都心地域	95
不明	42
合計	733

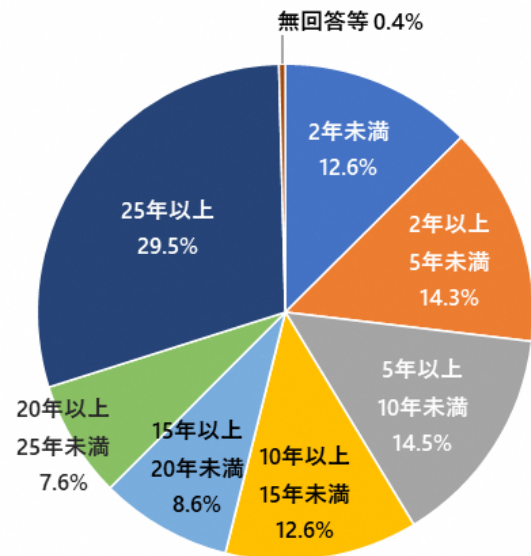


③ 居住年数

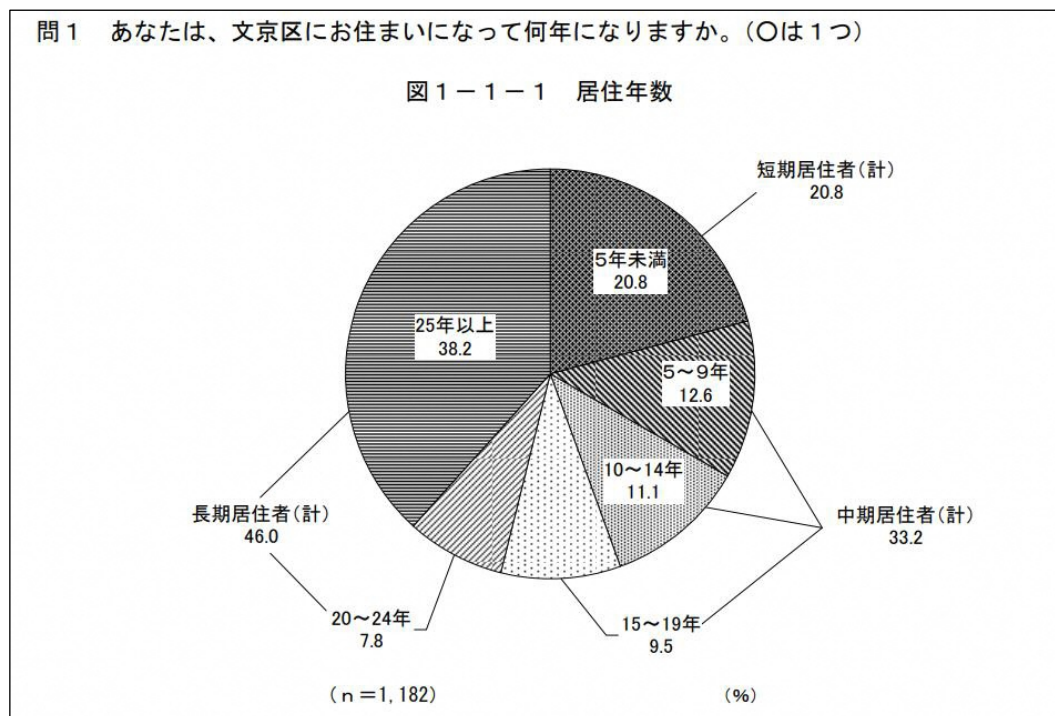
- ・ 25年以上の回答者（全体の29.5%）が最も多く、次いで、5年以上10年未満の回答者（全体の14.5%）、2年以上5年未満の回答者（全体の14.3%）と続く。
- ・ 第25回文京区政に関する世論調査の居住年数と比較すると、本調査では25年以上の回答者の割合が少なく、5年未満（2年未満と2年以上5年未満を足したもの）の回答者の割合が多い。
- ・ 第25回文京区政に関する世論調査の年代構成と比較すると、それほど大きな差異は見られない。

■回答者の居住年数

番号	選択肢	回答者数	割合
1	2年未満	92	12.6%
2	2年以上5年未満	105	14.3%
3	5年以上10年未満	106	14.5%
4	10年以上15年未満	92	12.6%
5	15年以上20年未満	63	8.6%
6	20年以上25年未満	56	7.6%
7	25年以上	216	29.5%
99	無回答等	3	0.4%
合計		733	100.0%



（参考）第25回文京区政に関する世論調査報告書における居住年数



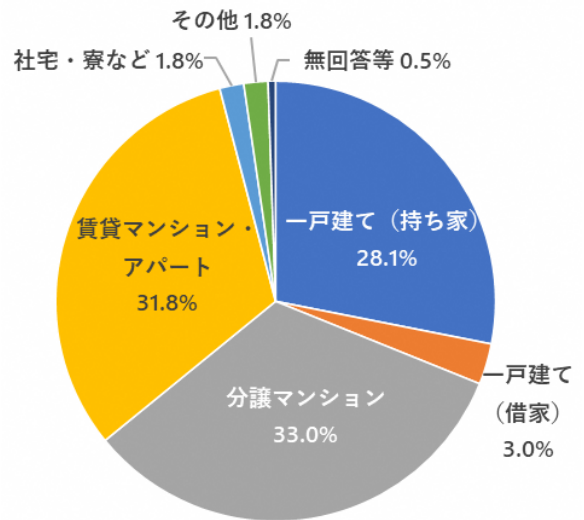
出典：「第25回文京区政に関する世論調査報告書」

④ 住居

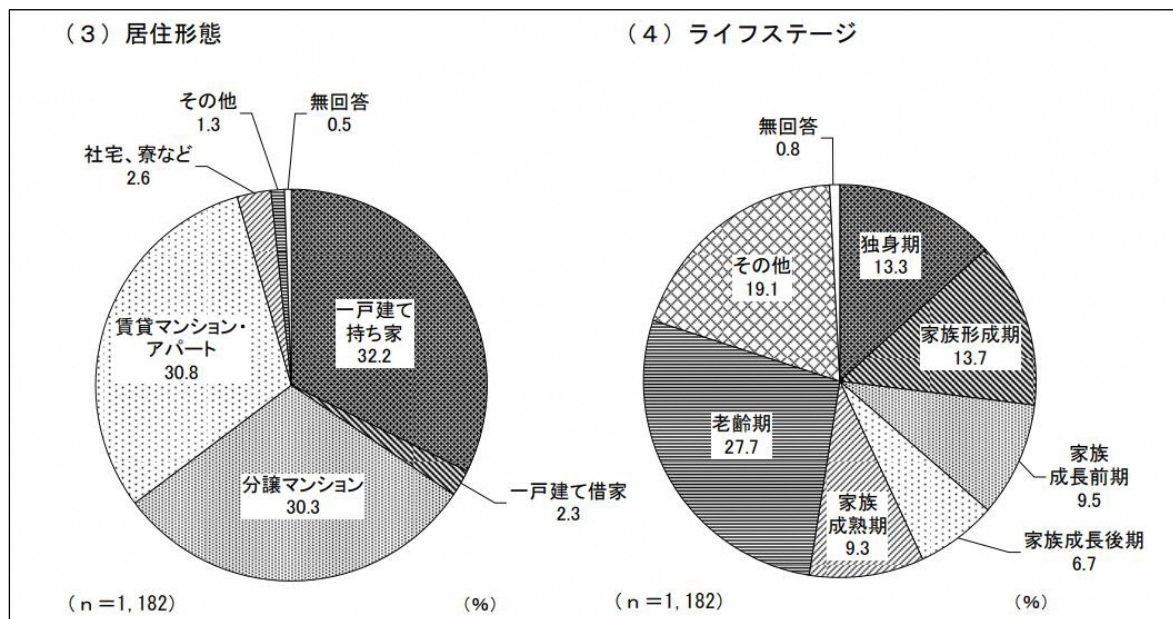
- ・分譲マンションの回答者（全体の 33.0%）が最も多く、次いで、賃貸マンション・アパートの回答者（全体の 31.8%）、一戸建て（持ち家）の回答者（全体の 28.1%）と続く。
- ・第 25 回文京区政に関する世論調査の居住形態と比較すると、それほど大きな差異は見られない。

■回答者の住居

番号	選択肢	回答者数	割合
1	一戸建て（持ち家）	206	28.1%
2	一戸建て（借家）	22	3.0%
3	分譲マンション	242	33.0%
4	賃貸マンション・アパート	233	31.8%
5	社宅・寮など	13	1.8%
6	その他	13	1.8%
99	無回答等	4	0.5%
合計		733	100.0%



（参考）第 25 回文京区政に関する世論調査報告書における居住形態



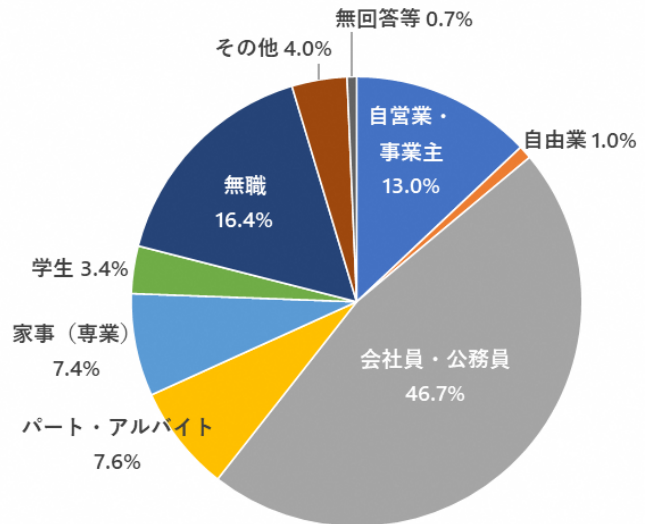
出典：「第 25 回文京区政に関する世論調査報告書」

⑤ 職業

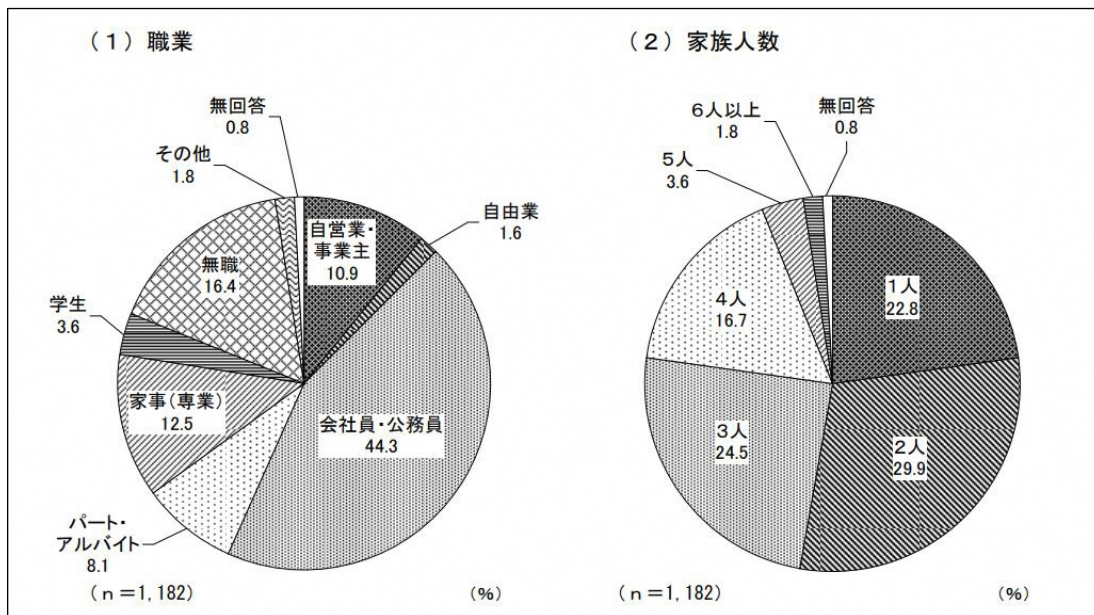
- ・会社員・公務員の回答者（全体の 46.7%）が最も多く、次いで、無職の回答者（全体の 16.4%）、自営業・事業主の回答者（全体の 13.0%）と続く。
- ・第 25 回文京区政に関する世論調査の居住形態と比較すると、それほど大きな差異は見られない。

■回答者の職業

番号	選択肢	回答者数	割合
1	自営業・事業主	95	13.0%
2	自由業	7	1.0%
3	会社員・公務員	342	46.7%
4	パート・アルバイト	56	7.6%
5	家事（専業）	54	7.4%
6	学生	25	3.4%
7	無職	120	16.4%
8	その他	29	4.0%
99	無回答等	5	0.7%
	合計	733	100.0%



（参考）第 25 回文京区政に関する世論調査報告書における居住形態

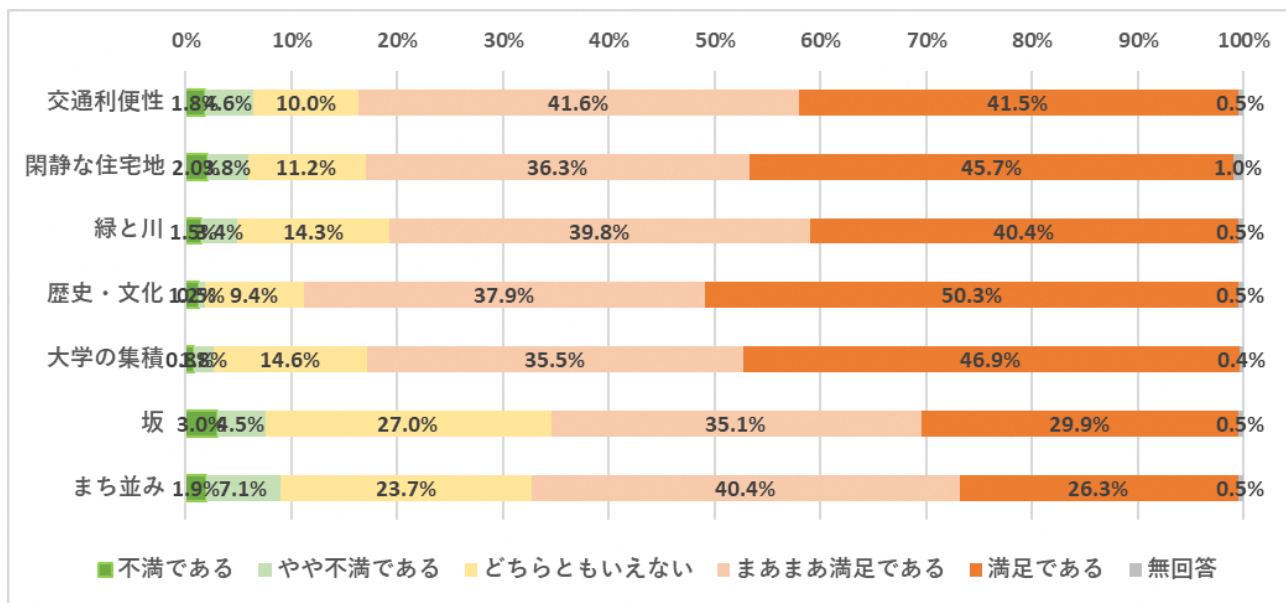


出典：「第 25 回文京区政に関する世論調査報告書」

(2) 問2 区の魅力に関する区民の満足度・期待度

- ・区の魅力の各項目に対する区民の満足度では、「満足である」と「まあまあ満足である」を足した場合、歴史・文化が最も高い。次いで、交通利便性、閑静な住宅地が続く。
- ・反対に、「不満である」と「やや不満である」を足した場合、まち並みが最も高い。次いで、坂、交通利便性が続く。

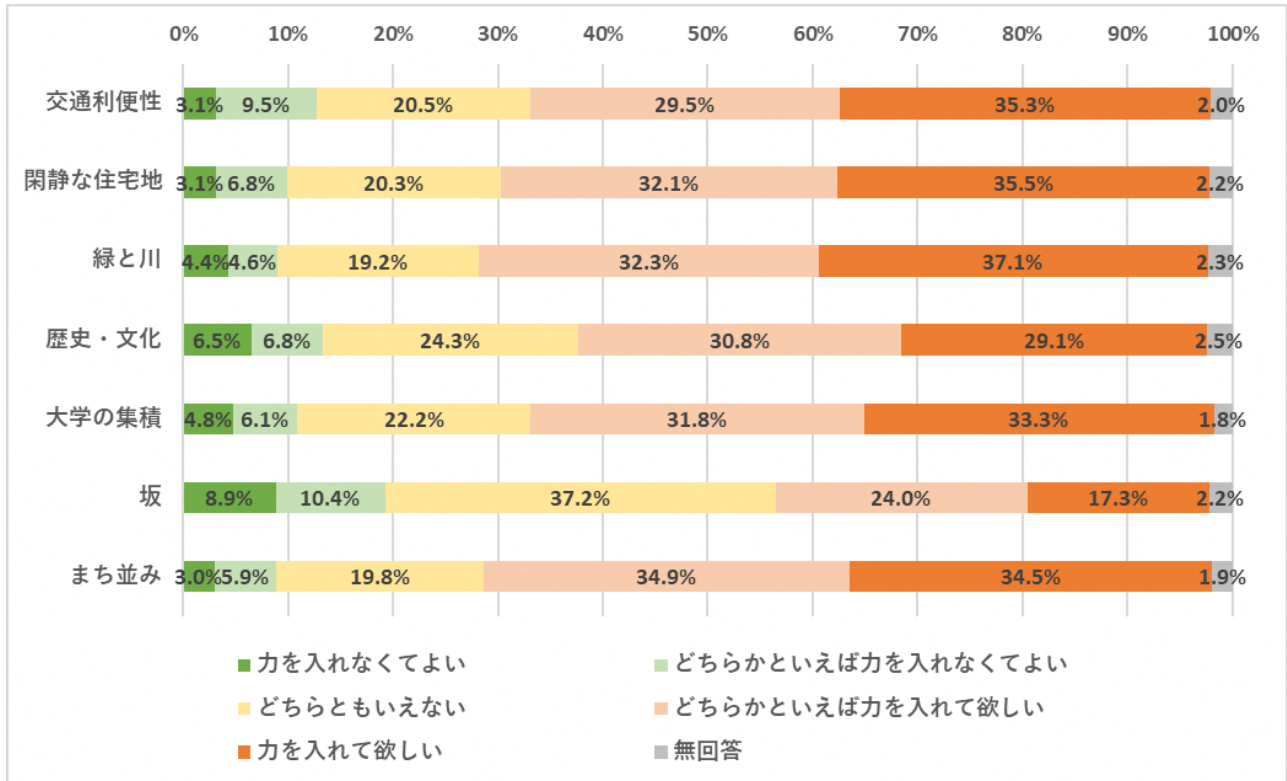
■区の魅力の各項目に対する区民の満足度



区の魅力の項目	満足度						合計	プラス評価
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあまあ満足である	満足である	無回答		
交通利便性	13 1.8%	34 4.6%	73 10.0%	305 41.6%	304 41.5%	4 0.5%	733 100.0%	83.1%
閑静な住宅地	15 2.0%	28 3.8%	82 11.2%	266 36.3%	335 45.7%	7 1.0%	733 100.0%	82.0%
緑と川	11 1.5%	25 3.4%	105 14.3%	292 39.8%	296 40.4%	4 0.5%	733 100.0%	80.2%
歴史・文化	9 1.2%	4 0.5%	69 9.4%	278 37.9%	369 50.3%	4 0.5%	733 100.0%	88.3%
大学の集積	6 0.8%	13 1.8%	107 14.6%	260 35.5%	344 46.9%	3 0.4%	733 100.0%	82.4%
坂	22 3.0%	33 4.5%	198 27.0%	257 35.1%	219 29.9%	4 0.5%	733 100.0%	64.9%
まち並み	14 1.9%	52 7.1%	174 23.7%	296 40.4%	193 26.3%	4 0.5%	733 100.0%	66.7%

- ・区の魅力の各項目に対する区民の期待度では、「力を入れて欲しい」と「どちらかといえば力を入れて欲しい」を足した場合、緑と川が最も高い。次いで、まち並み、閑静な住宅地が続く。
- ・反対に、「力を入れなくてよい」と「どちらかといえば力を入れなくてよい」を足した場合、坂が最も高い。次いで、歴史・文化と交通利便性が続く。

■区の魅力の各項目に対する区民の期待度

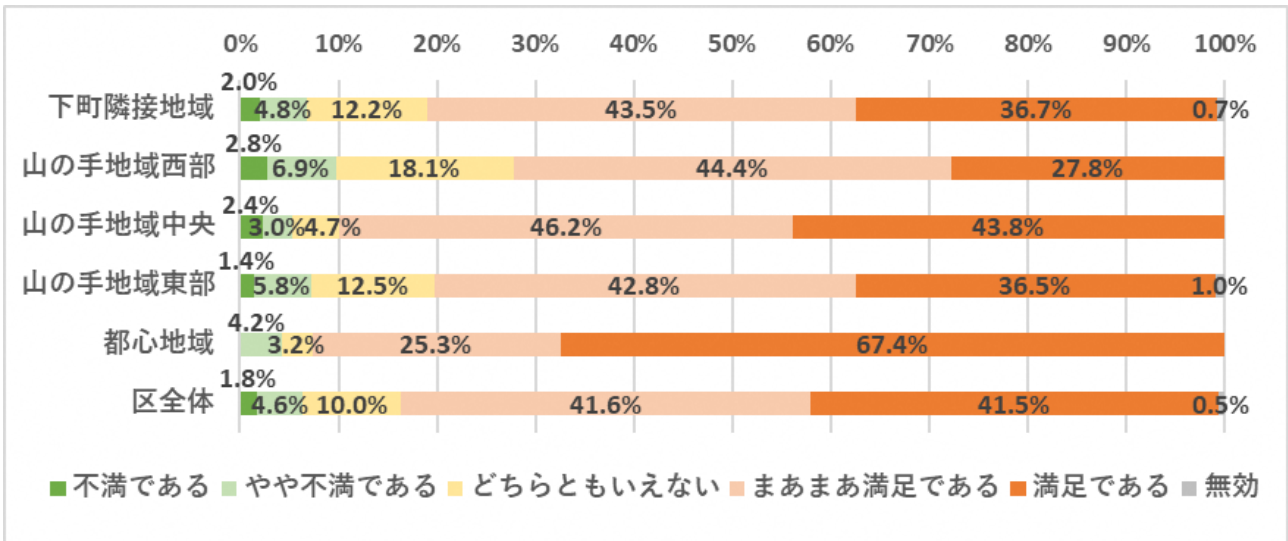


区の魅力の項目	期待度						合計	プラス評価
	力を入れなくてよい	どちらかといえば力を入れなくてよい	どちらともいえない	どちらかといえば力を入れて欲しい	力を入れて欲しい	無回答		
交通利便性	23 3.1%	70 9.5%	150 20.5%	216 29.5%	259 35.3%	15 2.0%	733 100.0%	64.8%
閑静な住宅地	23 3.1%	50 6.8%	149 20.3%	235 32.1%	260 35.5%	16 2.2%	733 100.0%	67.5%
緑と川	32 4.4%	34 4.6%	141 19.2%	237 32.3%	272 37.1%	17 2.3%	733 100.0%	69.4%
歴史・文化	48 6.5%	50 6.8%	178 24.3%	226 30.8%	213 29.1%	18 2.5%	733 100.0%	59.9%
大学の集積	35 4.8%	45 6.1%	163 22.2%	233 31.8%	244 33.3%	13 1.8%	733 100.0%	65.1%
坂	65 8.9%	76 10.4%	273 37.2%	176 24.0%	127 17.3%	16 2.2%	733 100.0%	41.3%
まち並み	22 3.0%	43 5.9%	145 19.8%	256 34.9%	253 34.5%	14 1.9%	733 100.0%	69.4%

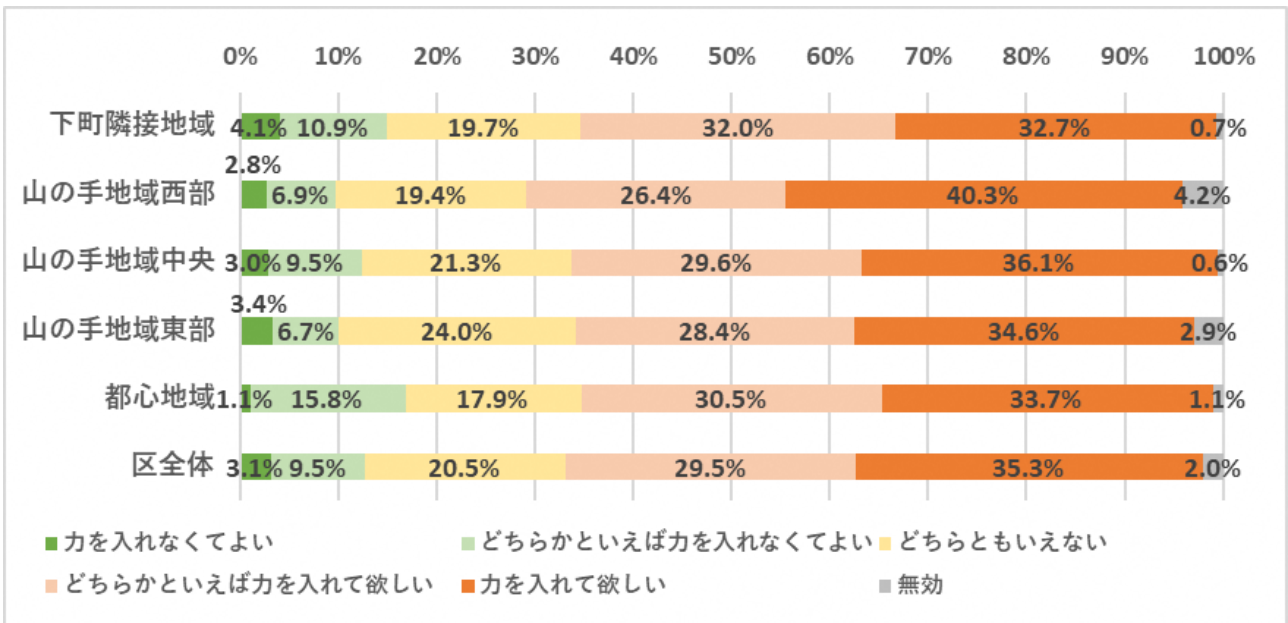
次ページ以降の①～⑦に区の魅力の各項目について、現行都市マスタープランの地域区分により集計を行ったものを掲載する。

① 交通利便性

■交通利便性の魅力に対する満足度

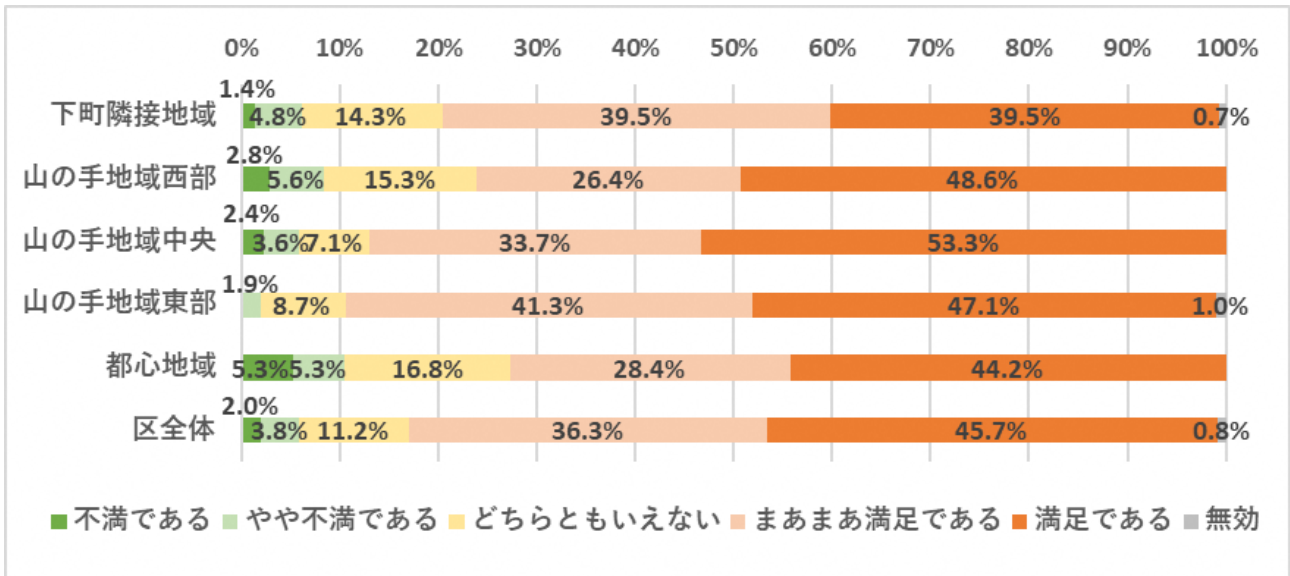


■交通利便性の魅力に対する期待度

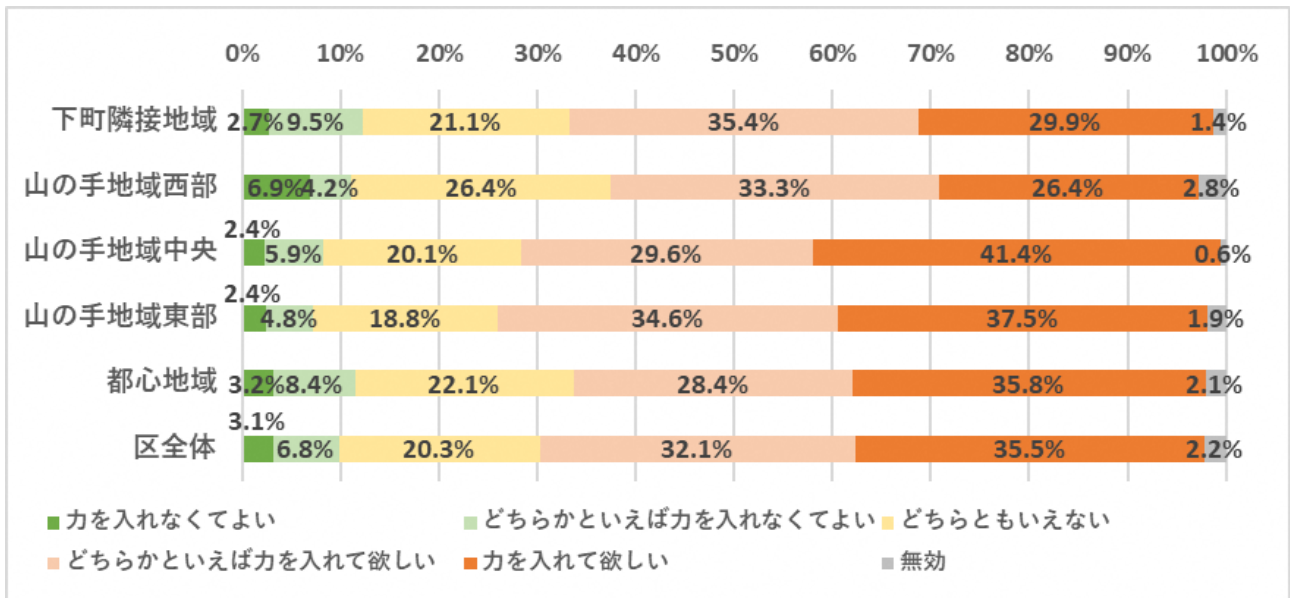


② 閑静な住宅地

■閑静な住宅地の魅力に対する満足度

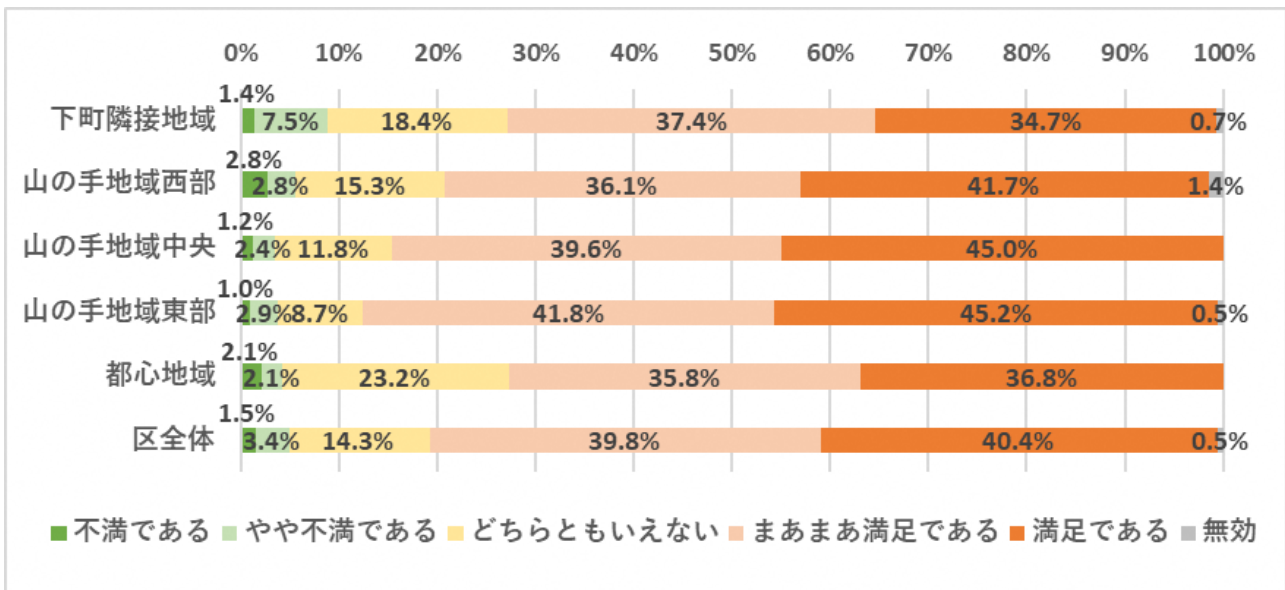


■閑静な住宅地の魅力に対する期待度

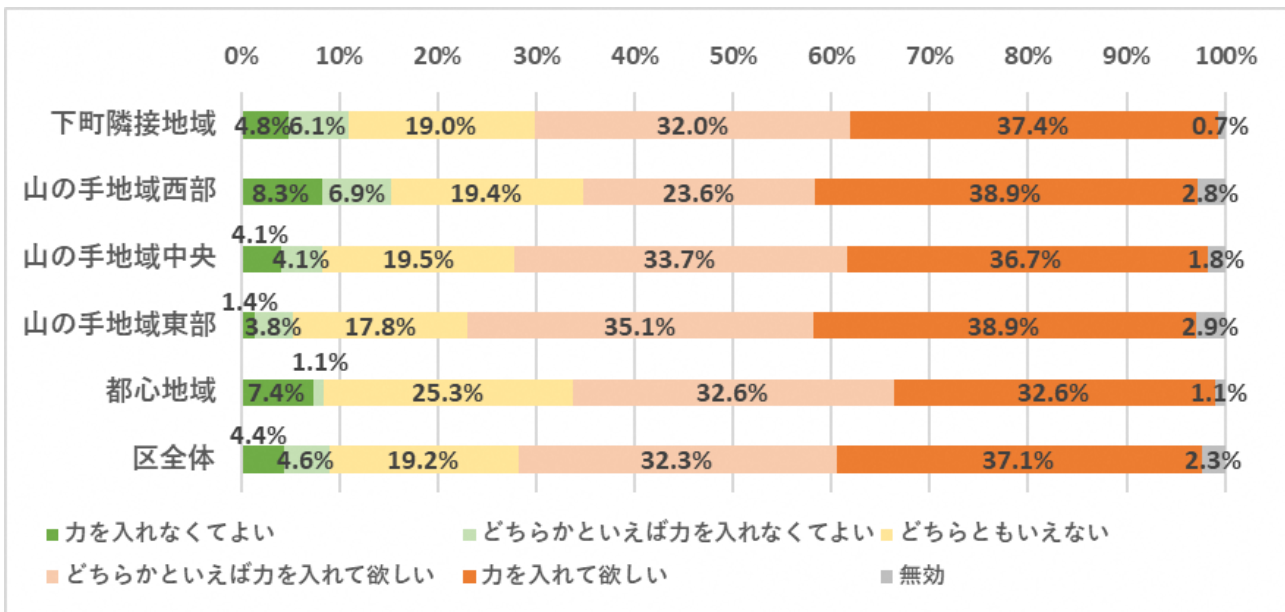


③ 緑と川

■緑と川の魅力に対する満足度

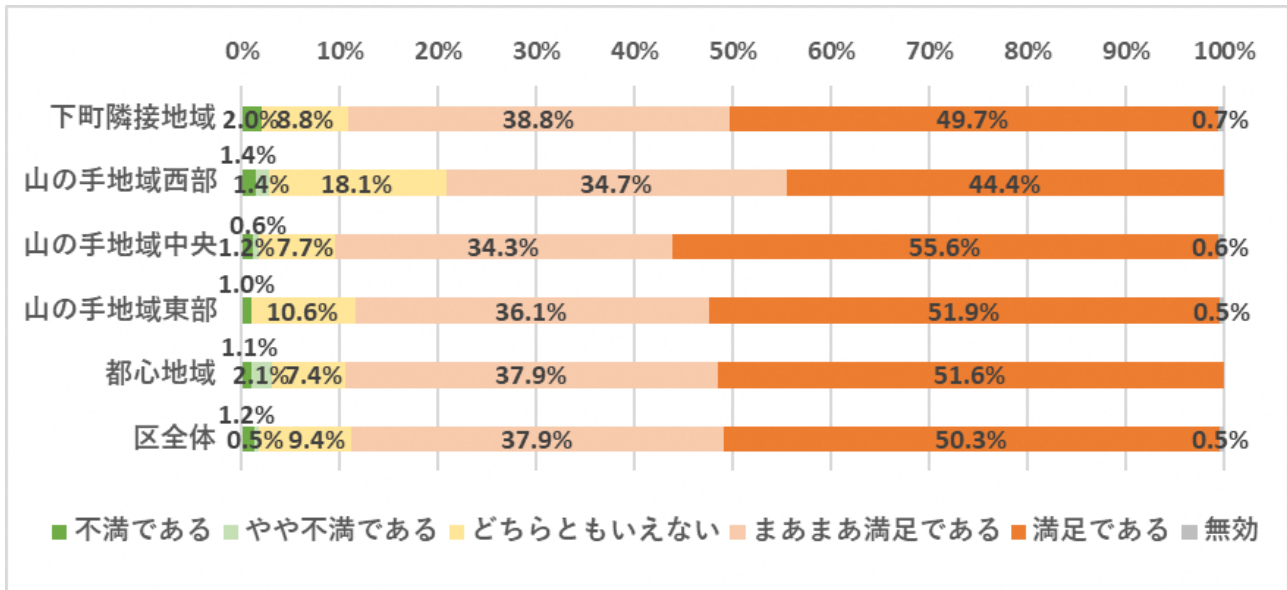


■緑と川の魅力に対する期待度

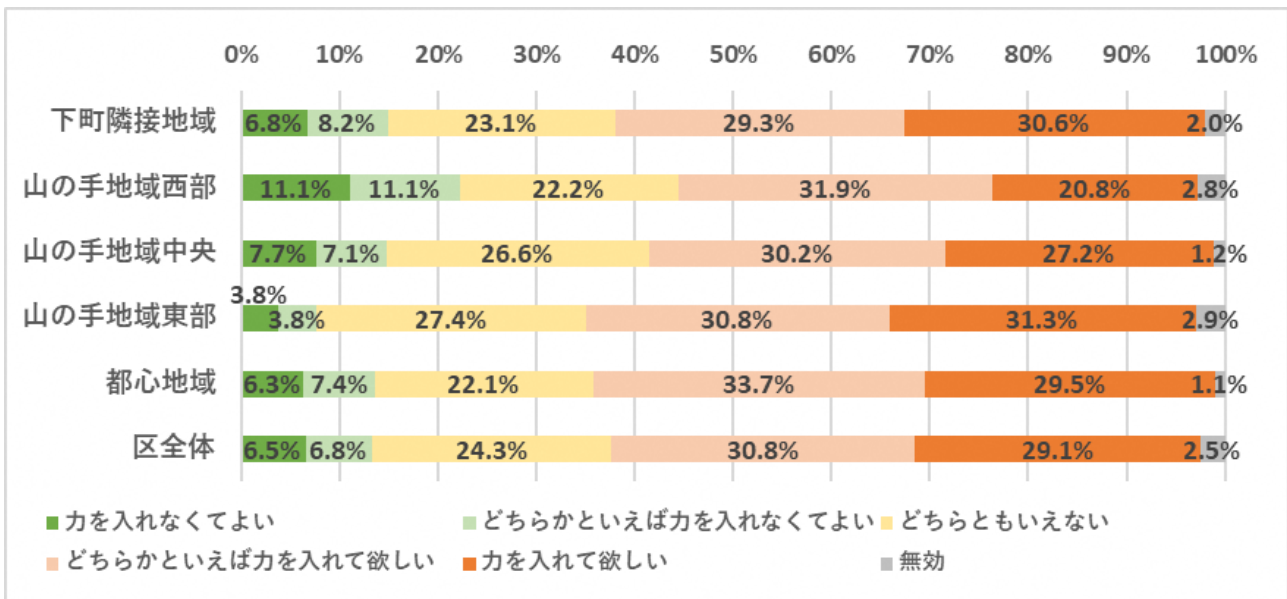


④ 歴史・文化

■歴史・文化の魅力に対する満足度

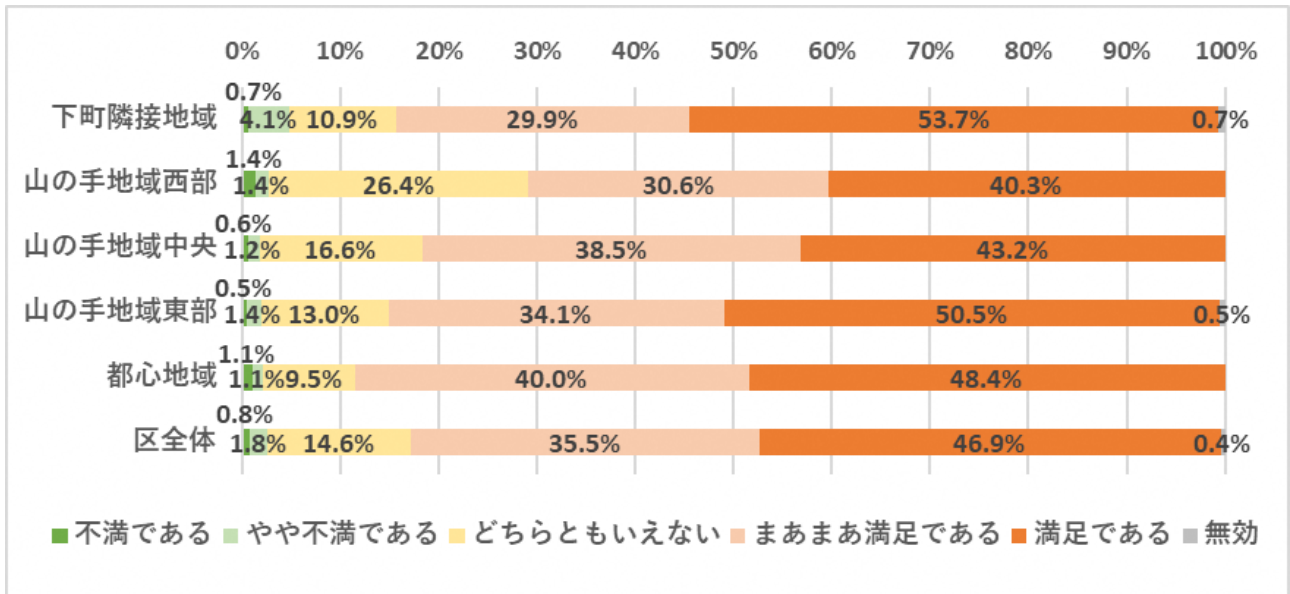


■歴史・文化の魅力に対する期待度

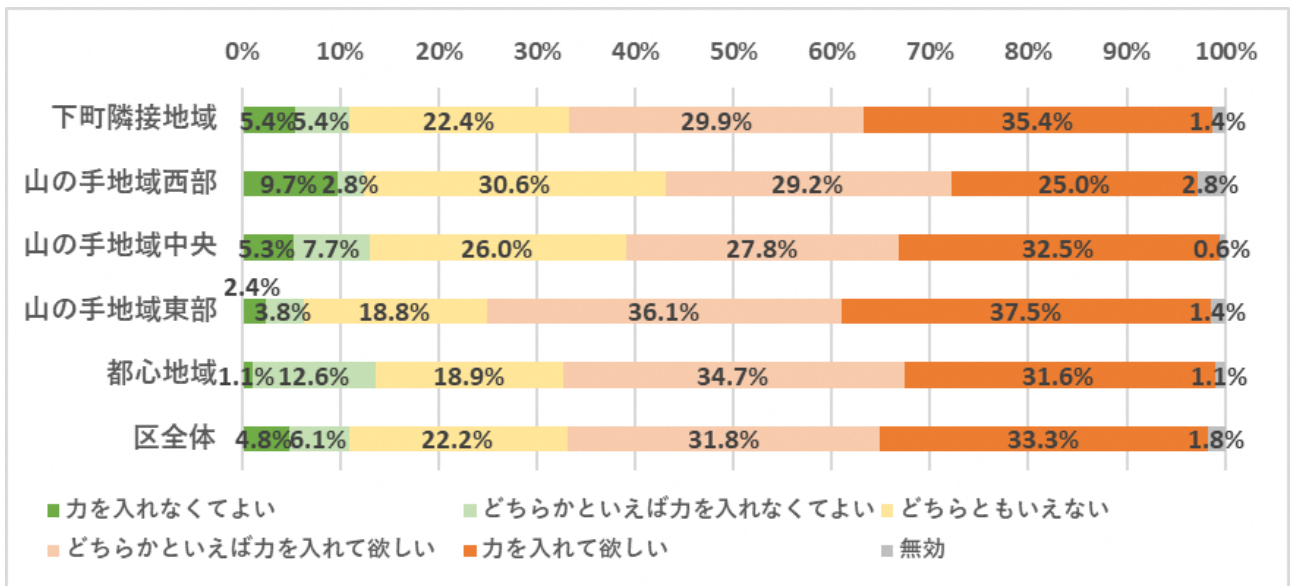


⑤ 大学等の集積

■大学等の集積の魅力に対する満足度

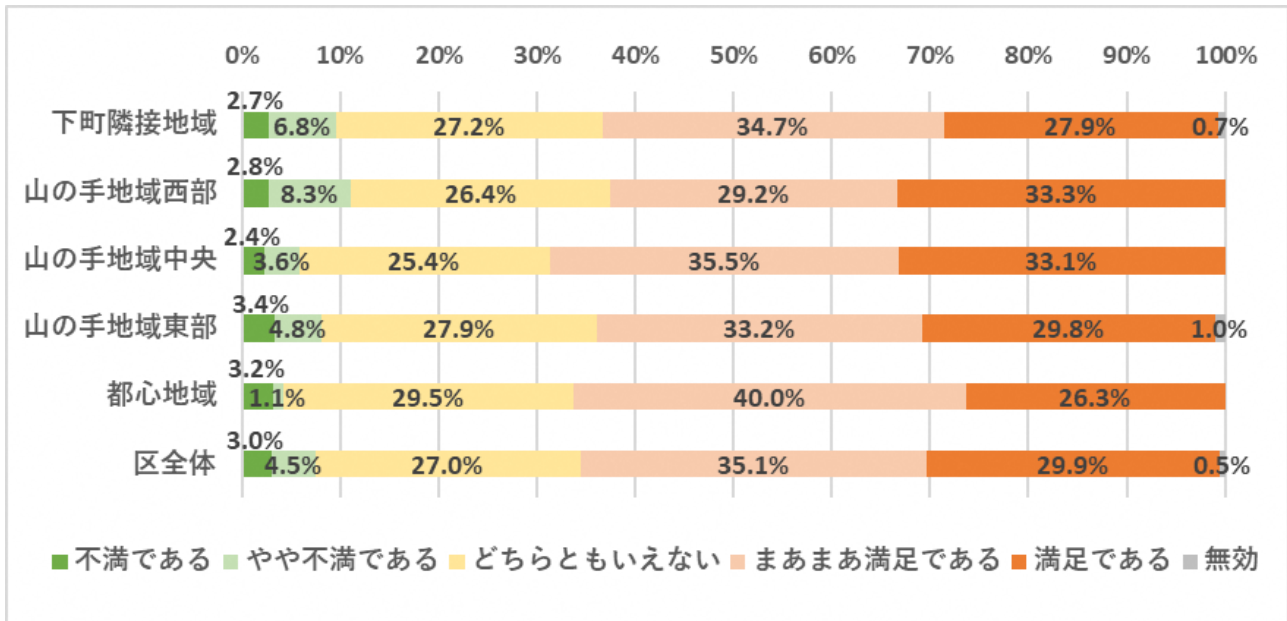


■大学等の集積の魅力に対する期待度

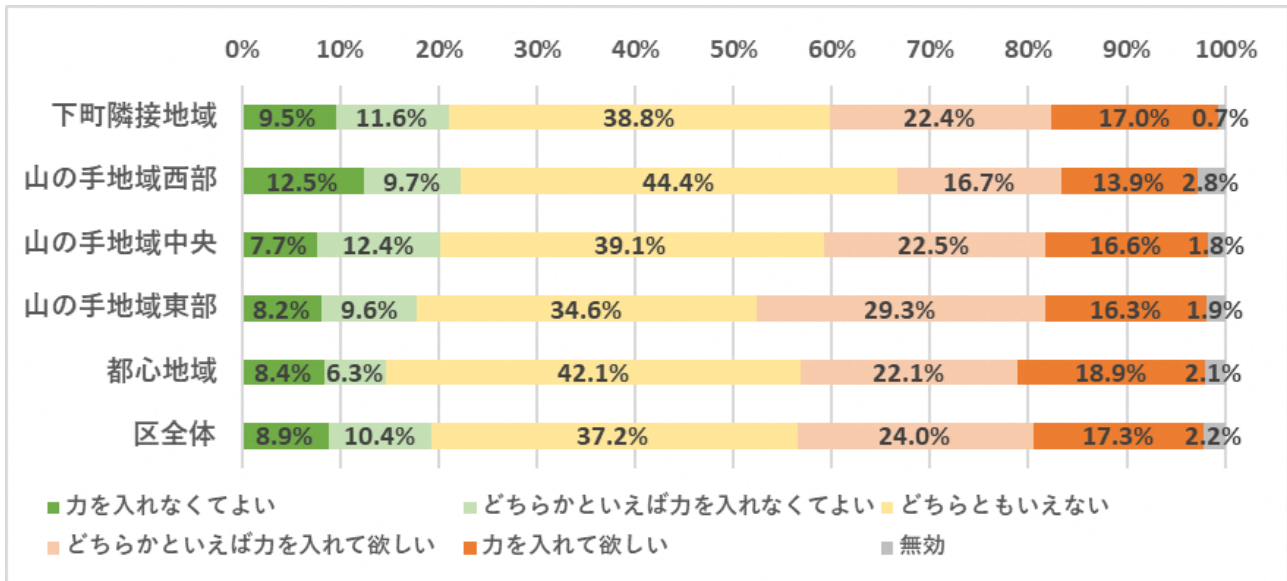


⑥ 坂

■坂の魅力に対する満足度

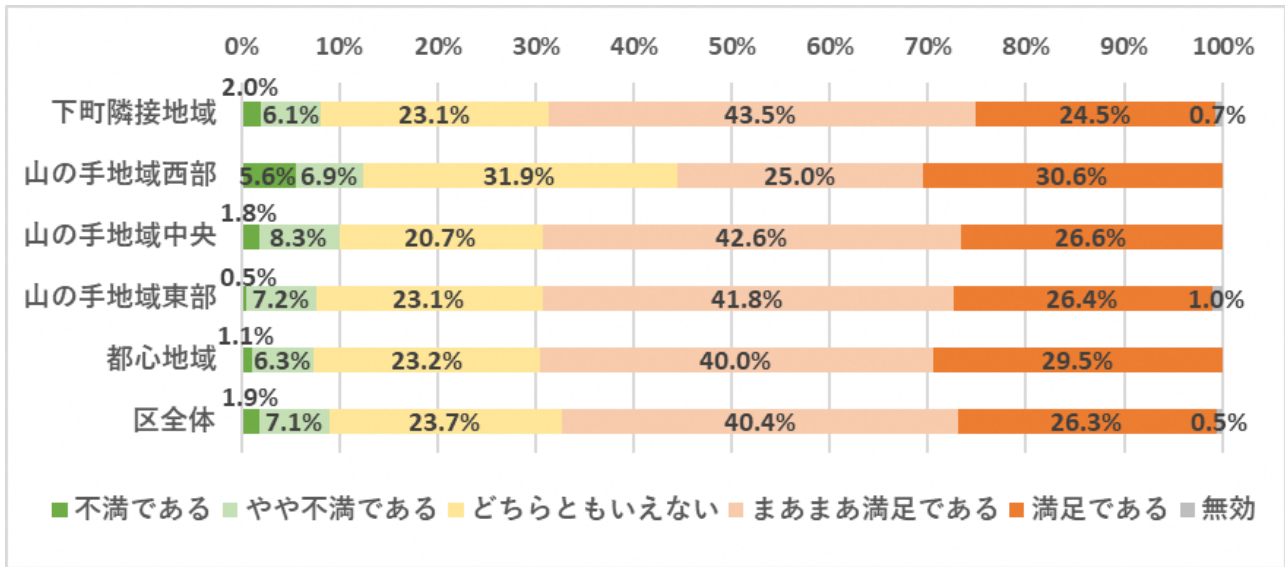


■坂の魅力に対する期待度

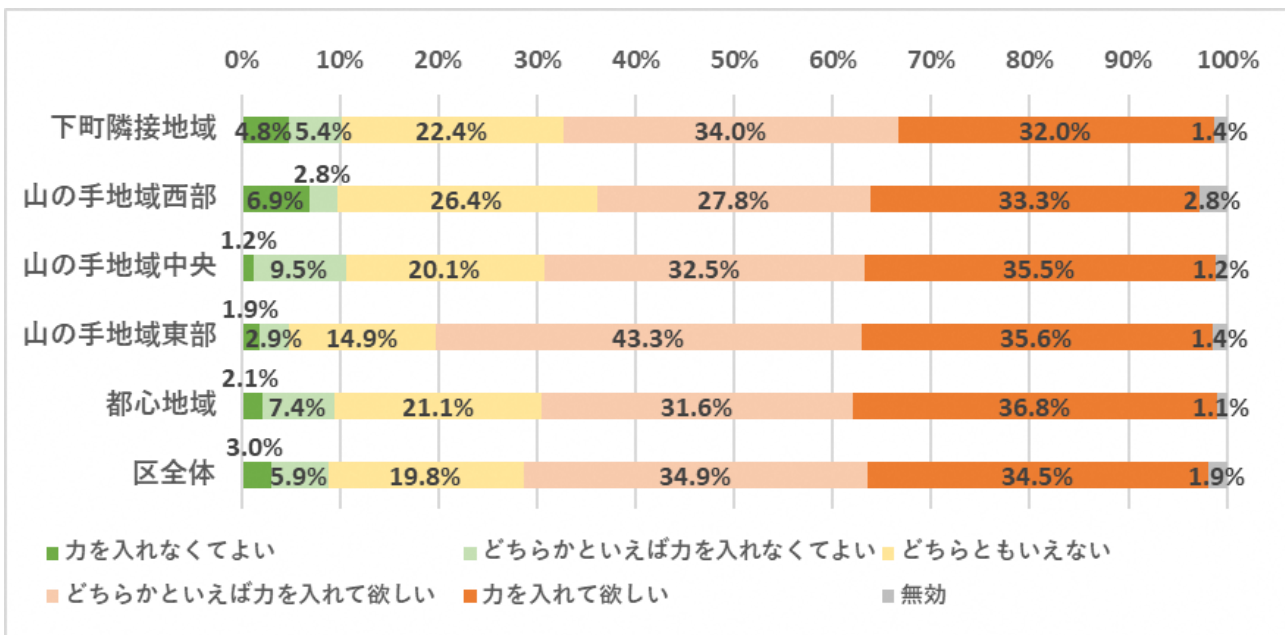


⑦ まち並み

■まち並みの魅力に対する満足度



■まち並みの魅力に対する期待度



⑧ 特に不満を感じる項目（区の魅力7項目で特に不満を感じる項目があれば番号で記載）

・特に不満を感じる項目は交通利便性が最も多い。次いで、まち並み、閑静な住宅地が続く。

■特に不満を感じる項目

番号	選択肢	回答者数	割合
1	1 交通利便性	119	16.2%
2	2 閑静な住宅地	50	6.8%
3	3 緑と川	30	4.1%
4	4 歴史・文化	6	0.8%
5	5 大学の集積・教育機関、医療機関	24	3.3%
6	6 坂	35	4.8%
7	7 まち並み	71	9.7%
99	無回答等	398	54.3%
合計		733	100.0%

⑨ 特に力を入れてほしい項目（区の魅力7項目で特に力を入れてほしい項目があれば番号で記載）

・特に力を入れてほしい項目は閑静な住宅地が最も多い。次いで、まち並み、緑と川が続く。

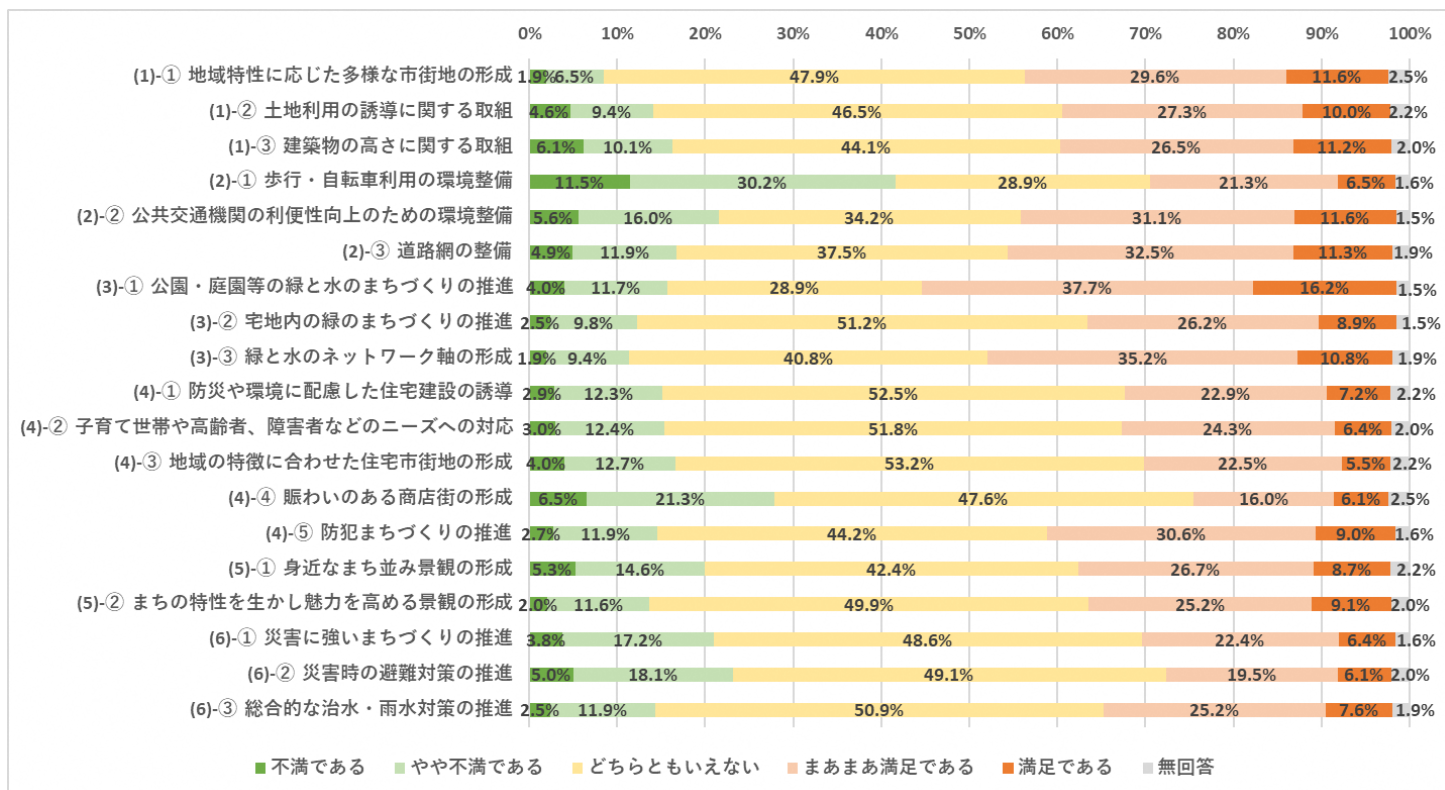
■特に力を入れてほしい項目

番号	選択肢	回答者数	割合
1	1 交通利便性	45	6.1%
2	2 閑静な住宅地	93	12.7%
3	3 緑と川	51	7.0%
4	4 歴史・文化	22	3.0%
5	5 大学の集積・教育機関、医療機関	38	5.2%
6	6 坂	5	0.7%
7	7 まち並み	76	10.4%
99	無回答等	403	55.0%
合計		733	100.0%

(3) 問3 区の実施に関する区民の満足度・期待度

- ・区の実施の各項目に対する区民の満足度では、「満足である」と「まあまあ満足である」を足した場合、公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進が最も高い。次いで、緑と水のネットワーク軸の形成、道路網の整備が続く。
- ・反対に、「不満である」と「やや不満である」を足した場合、歩行・自転車利用の環境整備が最も高い。次いで、賑わいのある商店街の形成、災害時の避難対策の推進が続く。

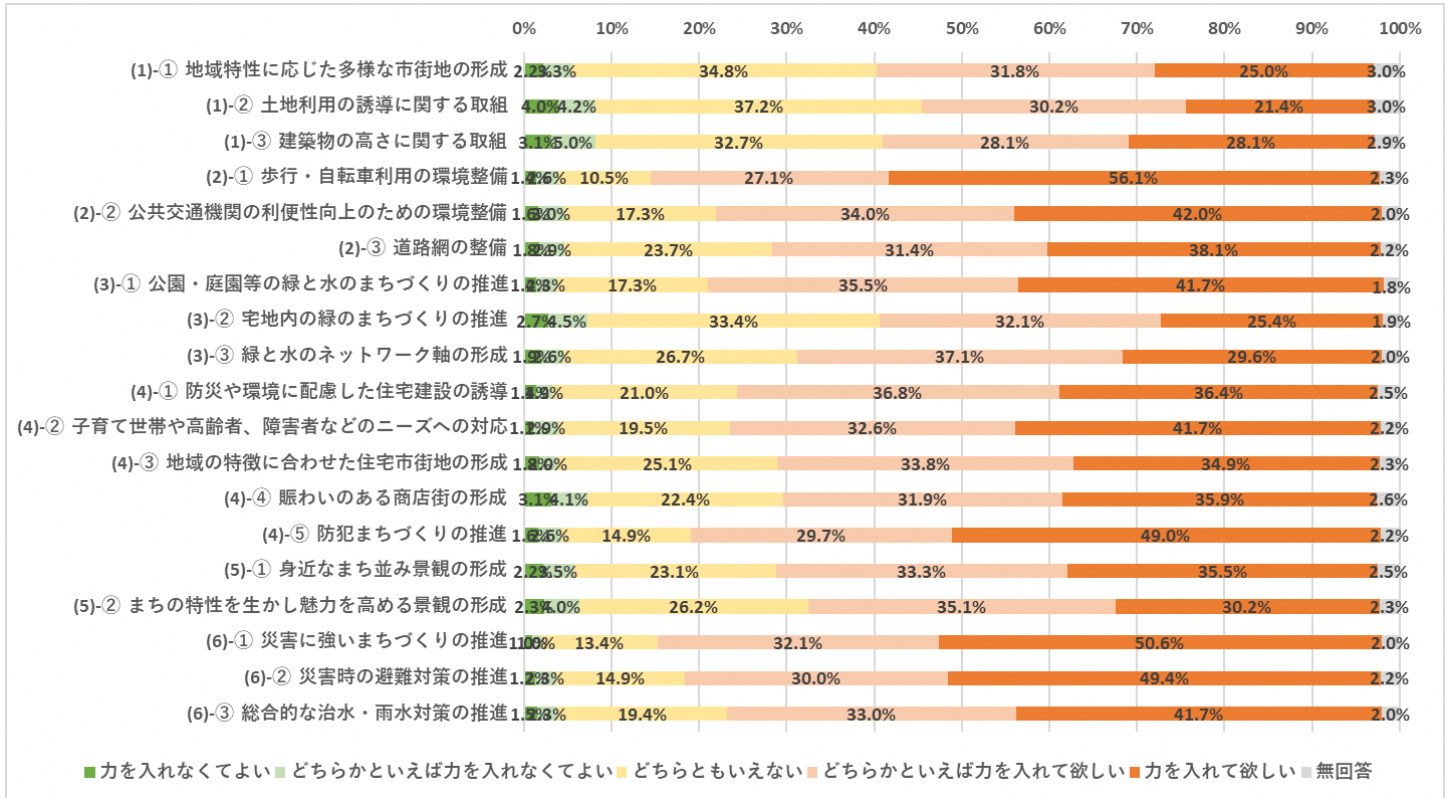
■区の実施の各項目に対する区民の満足度



区の取組の項目	満足度							合計	プラス評価
	不満である	やや不満である	どちらともいえない	まあまあ満足である	満足である	無回答			
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	14	48	351	217	85	18	733		
	1.9%	6.5%	47.9%	29.6%	11.6%	2.5%	100.0%	41.2%	
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	34	69	341	200	73	16	733		
	4.6%	9.4%	46.5%	27.3%	10.0%	2.2%	100.0%	37.2%	
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	45	74	323	194	82	15	733		
	6.1%	10.1%	44.1%	26.5%	11.2%	2.0%	100.0%	37.7%	
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	84	221	212	156	48	12	733		
	11.5%	30.2%	28.9%	21.3%	6.5%	1.6%	100.0%	27.8%	
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	41	117	251	228	85	11	733		
	5.6%	16.0%	34.2%	31.1%	11.6%	1.5%	100.0%	42.7%	
(2)-③ 道路網の整備	36	87	275	238	83	14	733		
	4.9%	11.9%	37.5%	32.5%	11.3%	1.9%	100.0%	43.8%	
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	29	86	212	276	119	11	733		
	4.0%	11.7%	28.9%	37.7%	16.2%	1.5%	100.0%	53.9%	
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	18	72	375	192	65	11	733		
	2.5%	9.8%	51.2%	26.2%	8.9%	1.5%	100.0%	35.1%	
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	14	69	299	258	79	14	733		
	1.9%	9.4%	40.8%	35.2%	10.8%	1.9%	100.0%	46.0%	
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	21	90	385	168	53	16	733		
	2.9%	12.3%	52.5%	22.9%	7.2%	2.2%	100.0%	30.2%	
(4)-② 子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応	22	91	380	178	47	15	733		
	3.0%	12.4%	51.8%	24.3%	6.4%	2.0%	100.0%	30.7%	
(4)-③ 地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成	29	93	390	165	40	16	733		
	4.0%	12.7%	53.2%	22.5%	5.5%	2.2%	100.0%	28.0%	
(4)-④ 賑わいのある商店街の形成	48	156	349	117	45	18	733		
	6.5%	21.3%	47.6%	16.0%	6.1%	2.5%	100.0%	22.1%	
(4)-⑤ 防犯まちづくりの推進	20	87	324	224	66	12	733		
	2.7%	11.9%	44.2%	30.6%	9.0%	1.6%	100.0%	39.6%	
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	39	107	311	196	64	16	733		
	5.3%	14.6%	42.4%	26.7%	8.7%	2.2%	100.0%	35.5%	
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	15	85	366	185	67	15	733		
	2.0%	11.6%	49.9%	25.2%	9.1%	2.0%	100.0%	34.4%	
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	28	126	356	164	47	12	733		
	3.8%	17.2%	48.6%	22.4%	6.4%	1.6%	100.0%	28.8%	
(6)-② 災害時の避難対策の推進	37	133	360	143	45	15	733		
	5.0%	18.1%	49.1%	19.5%	6.1%	2.0%	100.0%	25.6%	
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	18	87	373	185	56	14	733		
	2.5%	11.9%	50.9%	25.2%	7.6%	1.9%	100.0%	32.9%	

- ・区の実組の各項目に対する区民の期待度では、「力を入れて欲しい」と「どちらかといえば力を入れて欲しい」を足した場合、歩行・自転車利用の環境整備が最も高い。次いで、災害に強いまちづくりの推進、災害時の避難対策の推進が続く。
- ・反対に、「力を入れなくてよい」と「どちらかといえば力を入れなくてよい」を足した場合、土地利用の誘導に関する取組が最も高い。次いで、建築物の高さに関する取組等が続く。

■区の実組の各項目に対する区民の期待度

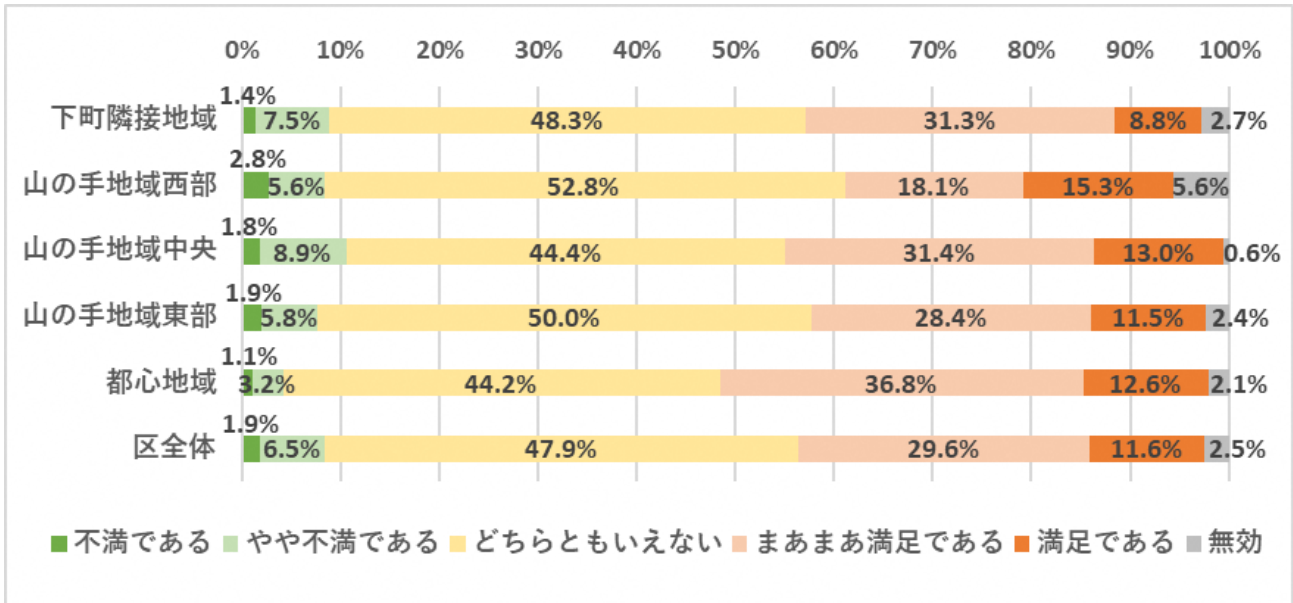


区の取組の項目	期待度							合計	プラス評価
	力を入れなくてよい	どちらかといえば力を入れなくてよい	どちらともいえない	どちらかといえば力を入れて欲しい	力を入れて欲しい	無回答			
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	16	24	255	233	183	22	733	56.8%	
	2.2%	3.3%	34.8%	31.8%	25.0%	3.0%	100.0%		
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	29	31	273	221	157	22	733	51.6%	
	4.0%	4.2%	37.2%	30.2%	21.4%	3.0%	100.0%		
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	23	37	240	206	206	21	733	56.2%	
	3.1%	5.0%	32.7%	28.1%	28.1%	2.9%	100.0%		
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	10	19	77	199	411	17	733	83.2%	
	1.4%	2.6%	10.5%	27.1%	56.1%	2.3%	100.0%		
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	12	22	127	249	308	15	733	76.0%	
	1.6%	3.0%	17.3%	34.0%	42.0%	2.0%	100.0%		
(2)-③ 道路網の整備	13	21	174	230	279	16	733	69.4%	
	1.8%	2.9%	23.7%	31.4%	38.1%	2.2%	100.0%		
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	10	17	127	260	306	13	733	77.2%	
	1.4%	2.3%	17.3%	35.5%	41.7%	1.8%	100.0%		
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	20	33	245	235	186	14	733	57.4%	
	2.7%	4.5%	33.4%	32.1%	25.4%	1.9%	100.0%		
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	14	19	196	272	217	15	733	66.7%	
	1.9%	2.6%	26.7%	37.1%	29.6%	2.0%	100.0%		
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	10	14	154	270	267	18	733	73.3%	
	1.4%	1.9%	21.0%	36.8%	36.4%	2.5%	100.0%		
(4)-② 子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応	8	21	143	239	306	16	733	74.4%	
	1.1%	2.9%	19.5%	32.6%	41.7%	2.2%	100.0%		
(4)-③ 地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成	13	15	184	248	256	17	733	68.8%	
	1.8%	2.0%	25.1%	33.8%	34.9%	2.3%	100.0%		
(4)-④ 賑わいのある商店街の形成	23	30	164	234	263	19	733	67.8%	
	3.1%	4.1%	22.4%	31.9%	35.9%	2.6%	100.0%		
(4)-⑤ 防犯まちづくりの推進	12	19	109	218	359	16	733	78.7%	
	1.6%	2.6%	14.9%	29.7%	49.0%	2.2%	100.0%		
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	16	26	169	244	260	18	733	68.8%	
	2.2%	3.5%	23.1%	33.3%	35.5%	2.5%	100.0%		
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	17	29	192	257	221	17	733	65.2%	
	2.3%	4.0%	26.2%	35.1%	30.2%	2.3%	100.0%		
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	7	7	98	235	371	15	733	82.7%	
	1.0%	1.0%	13.4%	32.1%	50.6%	2.0%	100.0%		
(6)-② 災害時の避難対策の推進	9	17	109	220	362	16	733	79.4%	
	1.2%	2.3%	14.9%	30.0%	49.4%	2.2%	100.0%		
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	11	17	142	242	306	15	733	74.8%	
	1.5%	2.3%	19.4%	33.0%	41.7%	2.0%	100.0%		

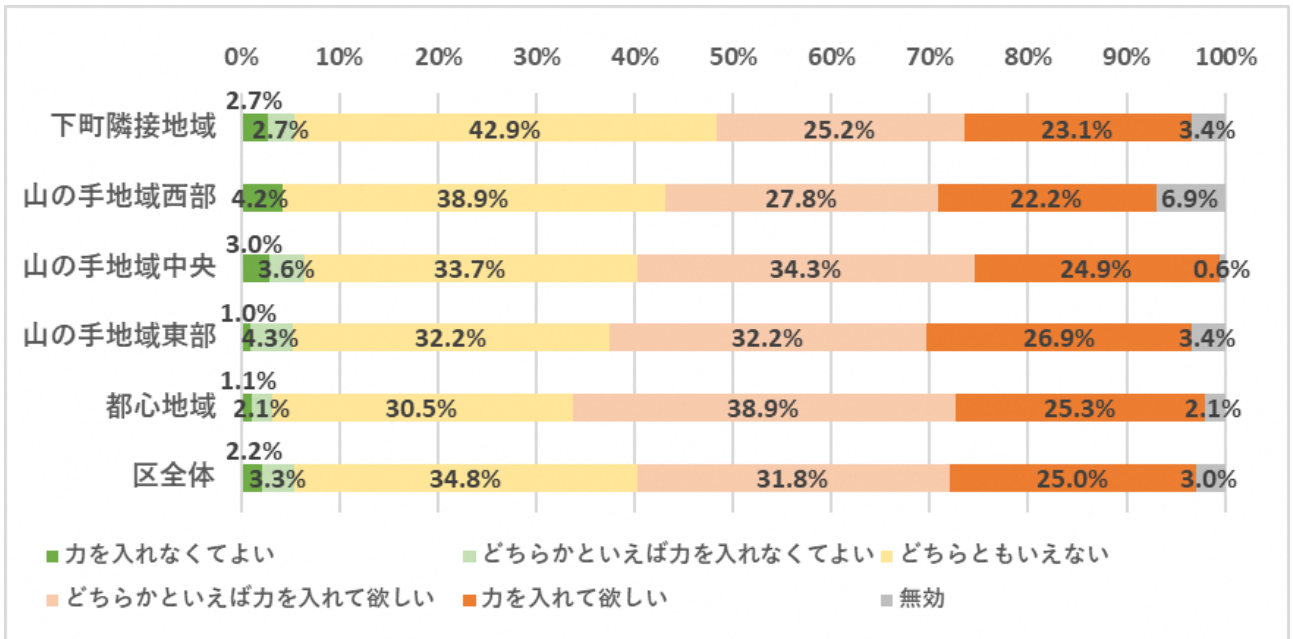
次ページ以降の①～⑱に区の取組の各項目について、現行都市マスタープランの地域区分により集計を行ったものを掲載する。

① (1) 土地利用① (地域特性に応じた多様な市街地の形成)

■地域特性に応じた多様な市街地の形成に対する満足度

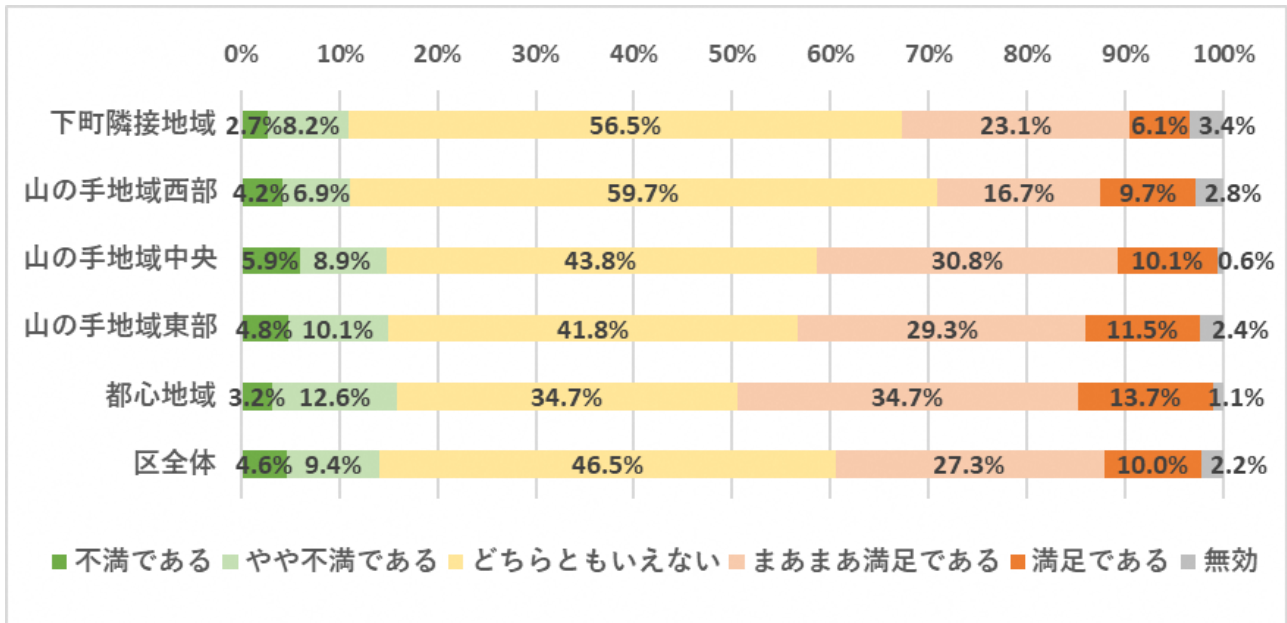


■地域特性に応じた多様な市街地の形成に対する期待度

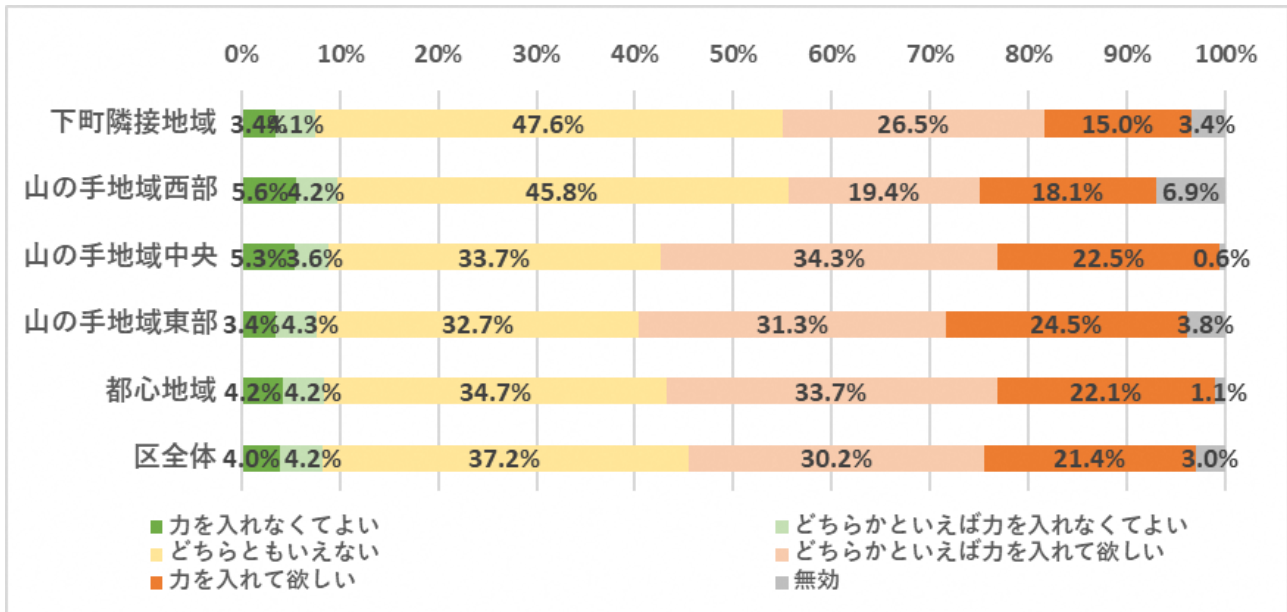


② (1) 土地利用② (土地利用の誘導に関する取組)

■土地利用の誘導に関する取組に対する満足度

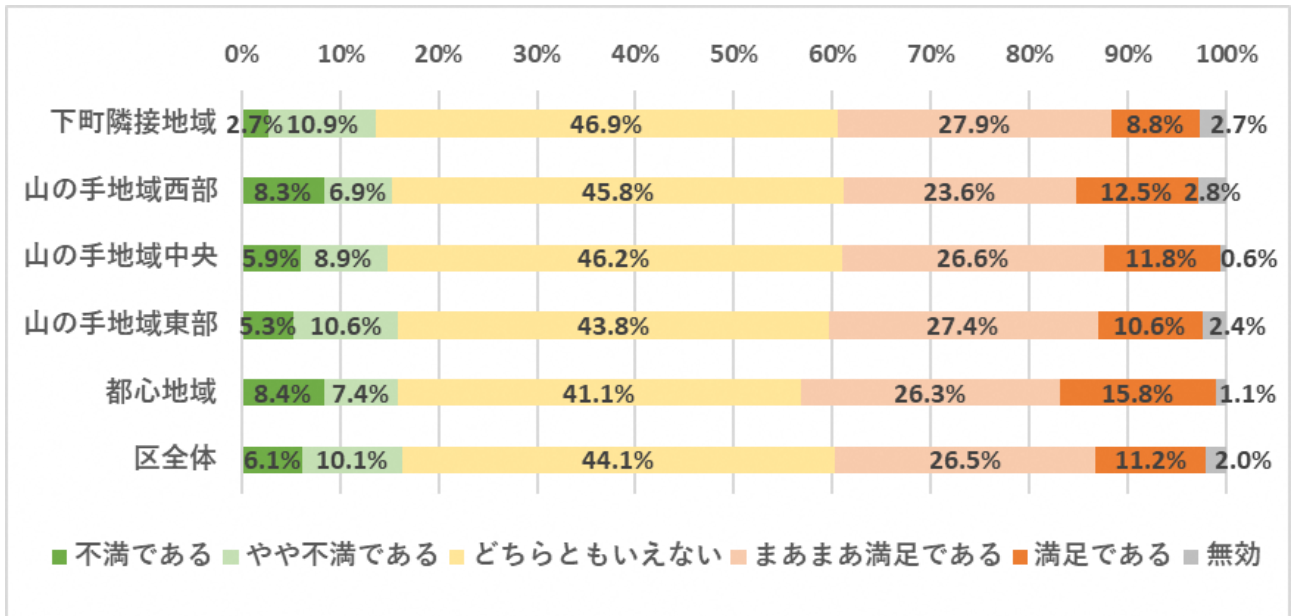


■土地利用の誘導に関する取組に対する期待度

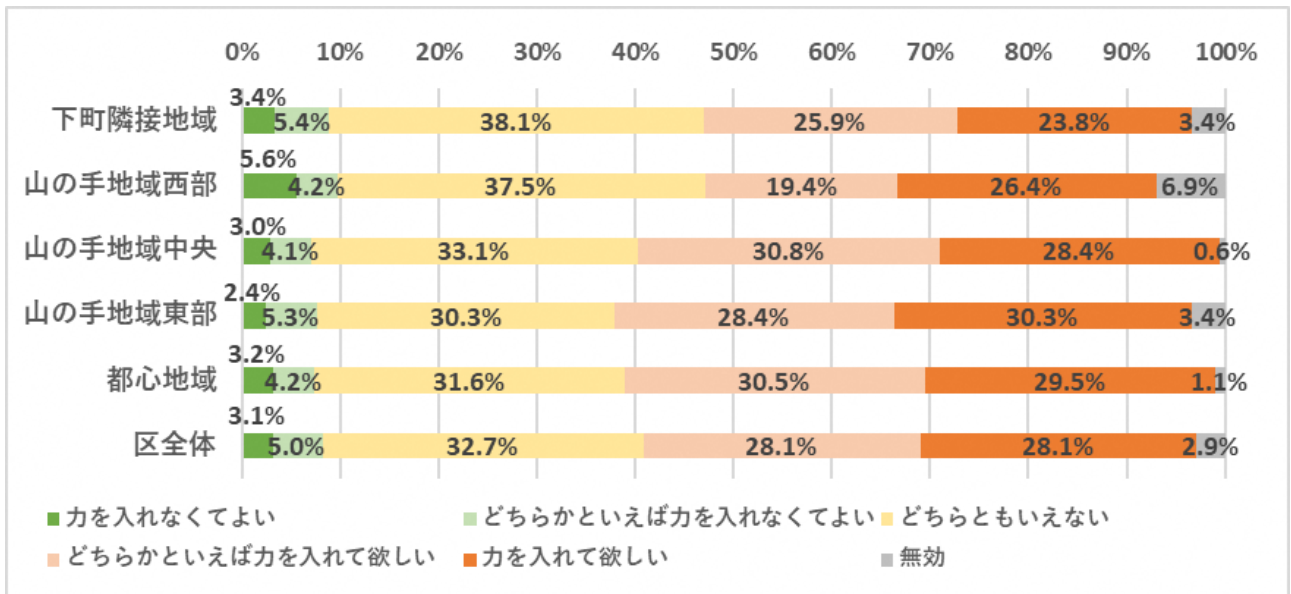


③ (1) 土地利用③ (建築物の高さに関する取組)

■建築物の高さに関する取組に対する満足度

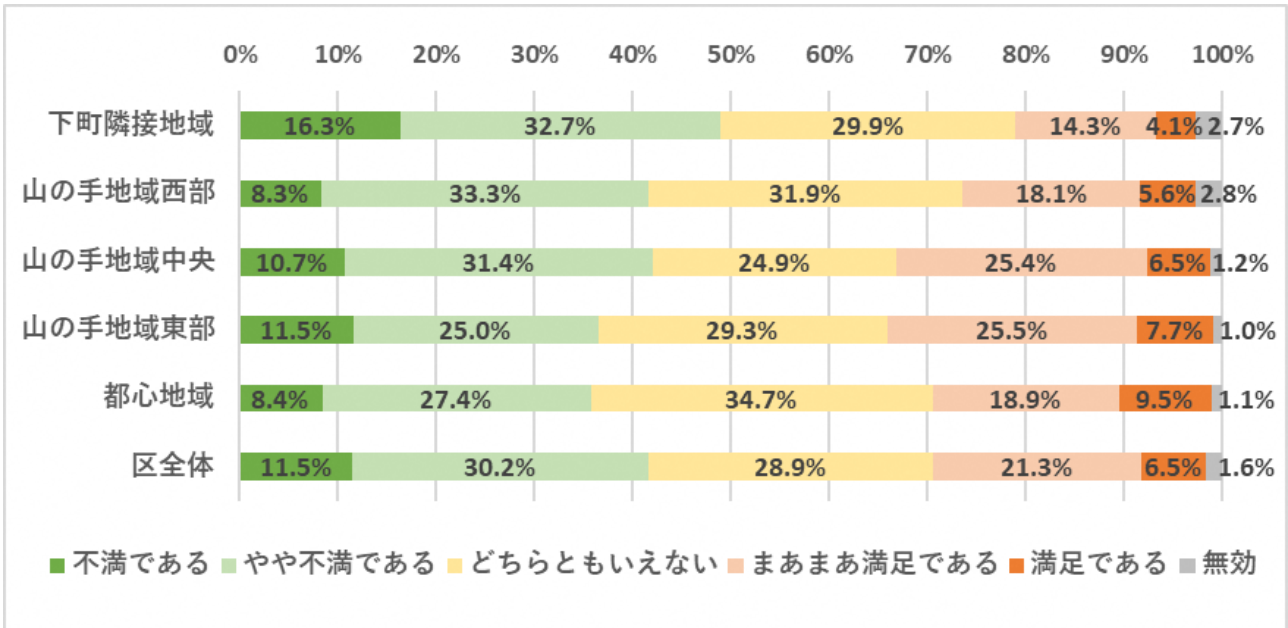


■建築物の高さに関する取組に対する期待度

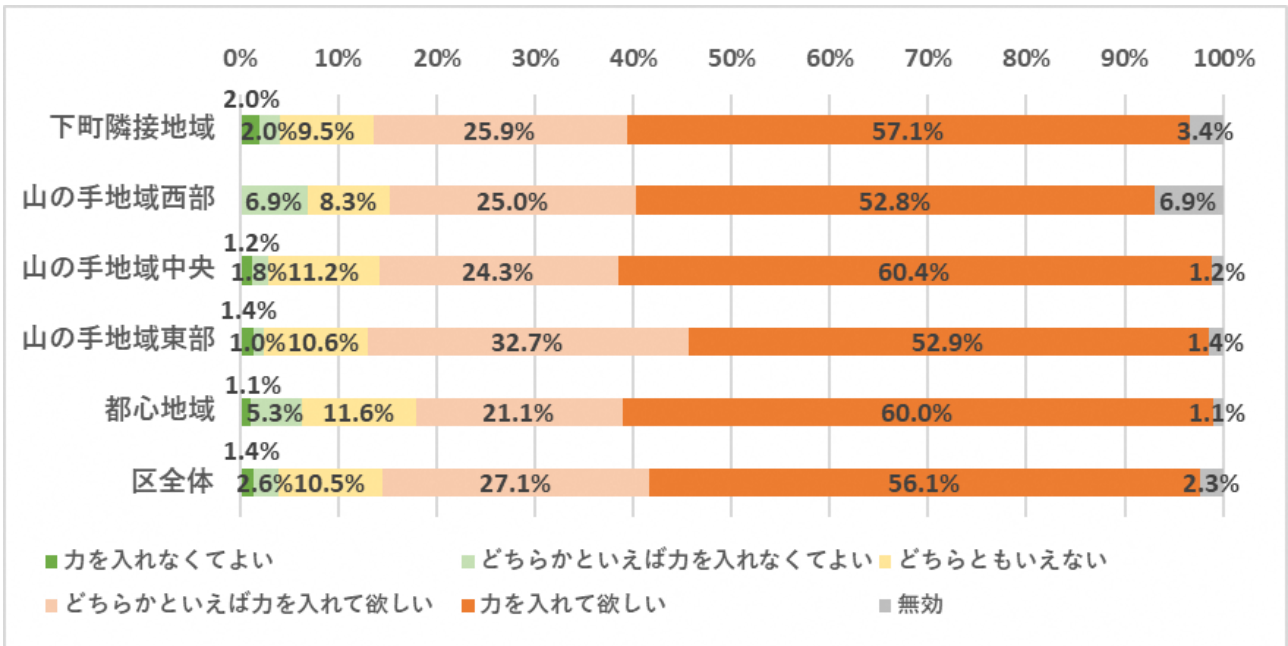


④ (2) 道路・交通① (歩行・自転車利用の環境整備)

■歩行・自転車利用の環境整備に対する満足度

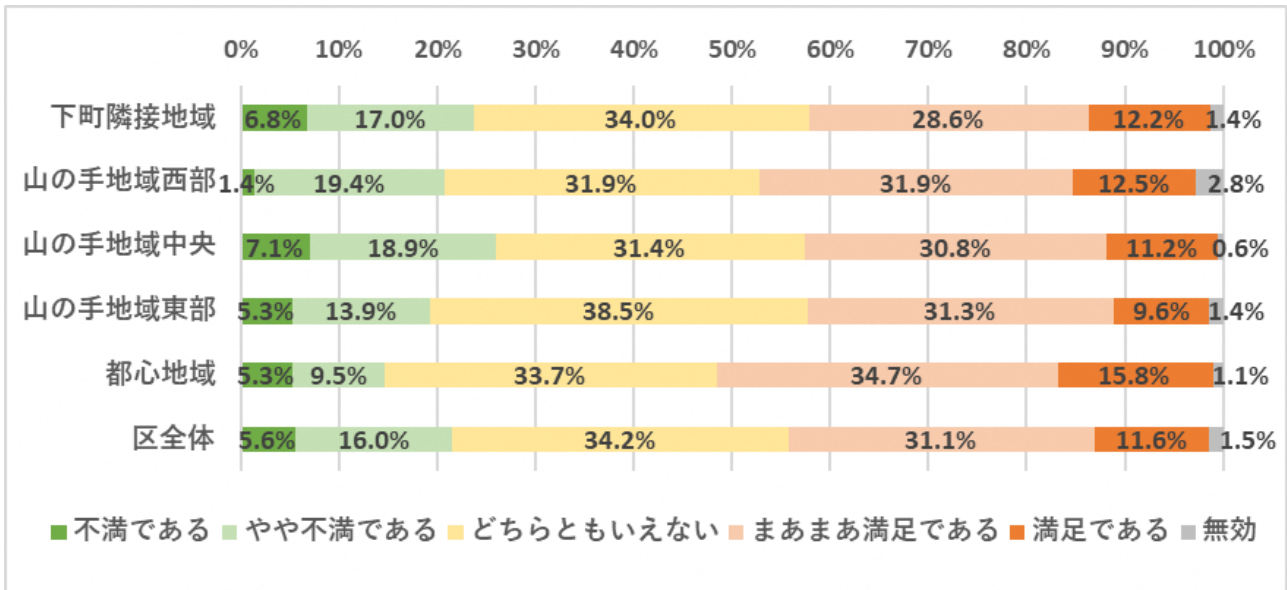


■歩行・自転車利用の環境整備に対する期待度

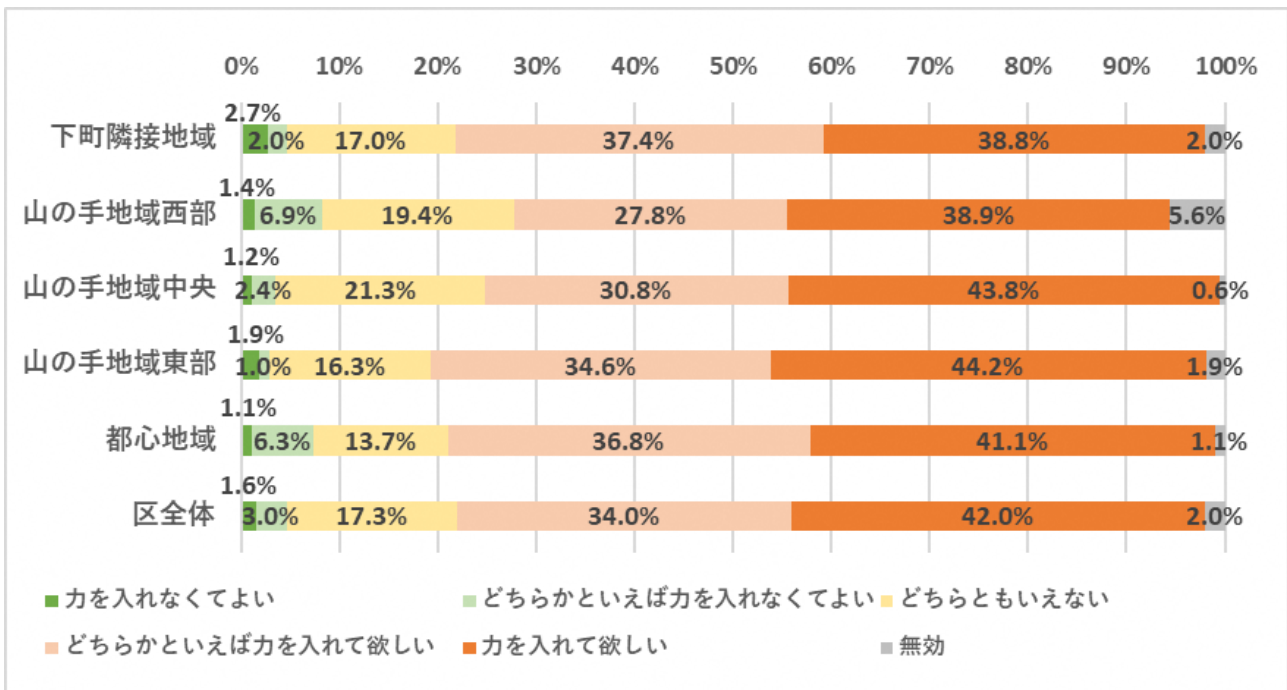


⑤ (2) 道路・交通② (公共交通機関の利便性向上のための環境整備)

■公共交通機関の利便性向上のための環境整備に対する満足度

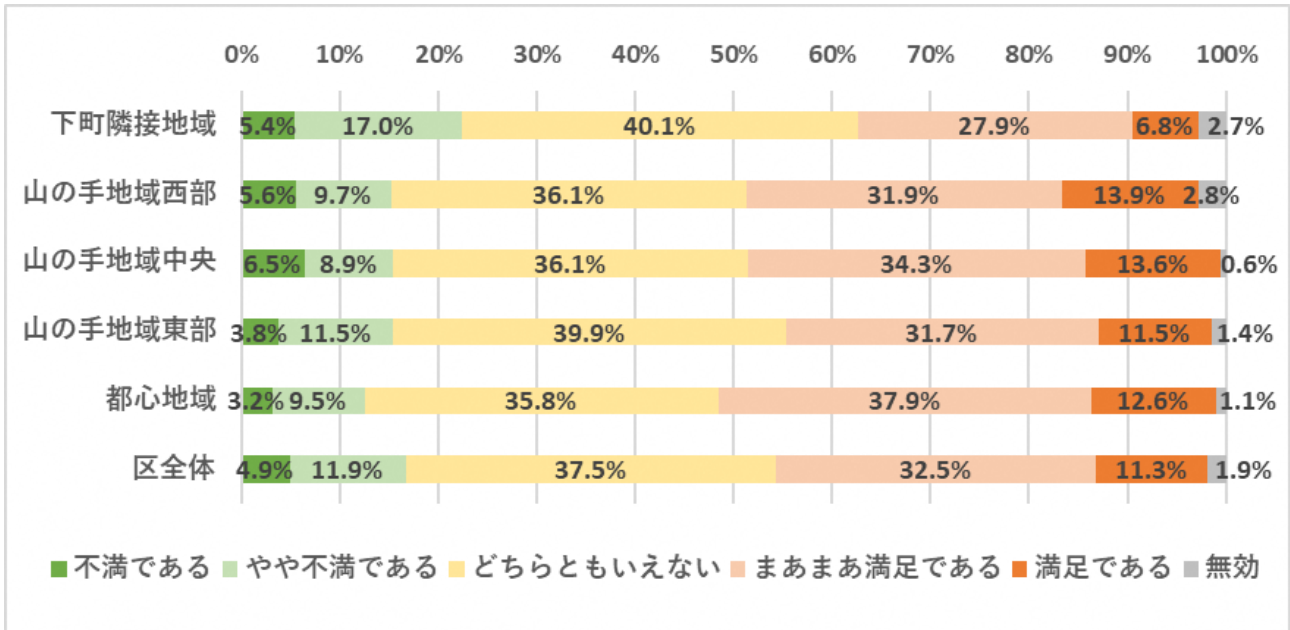


■公共交通機関の利便性向上のための環境整備に対する期待度

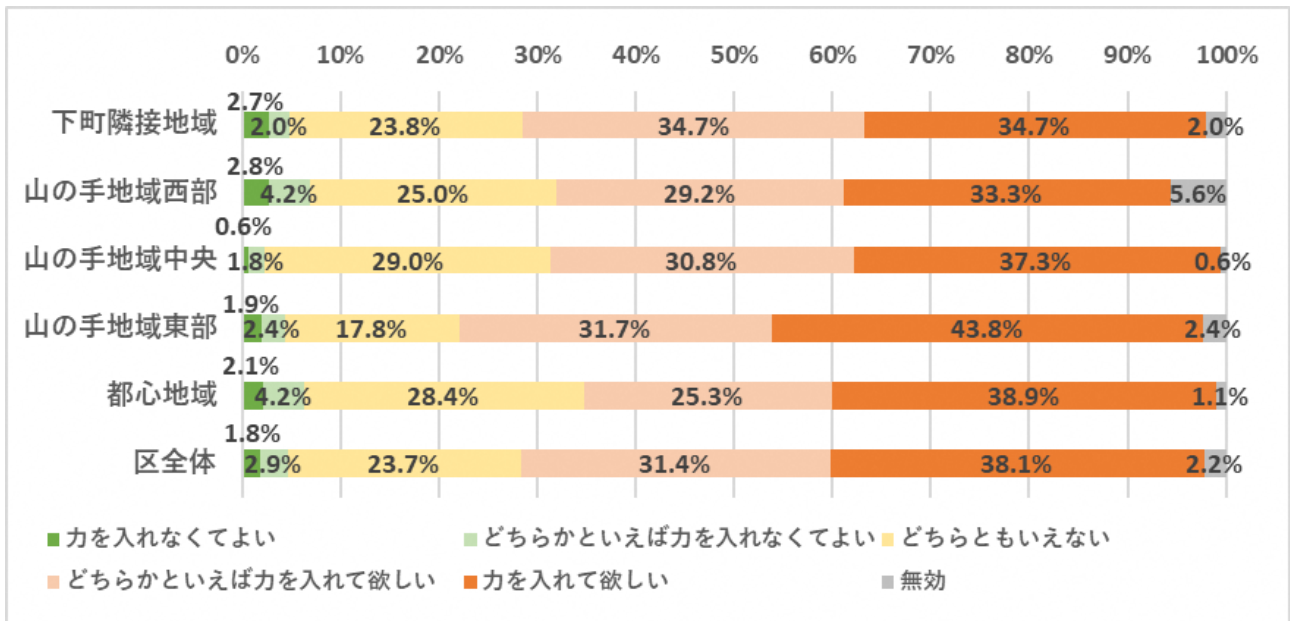


⑥ (2) 道路・交通③ (道路網の整備)

■道路網の整備に対する満足度

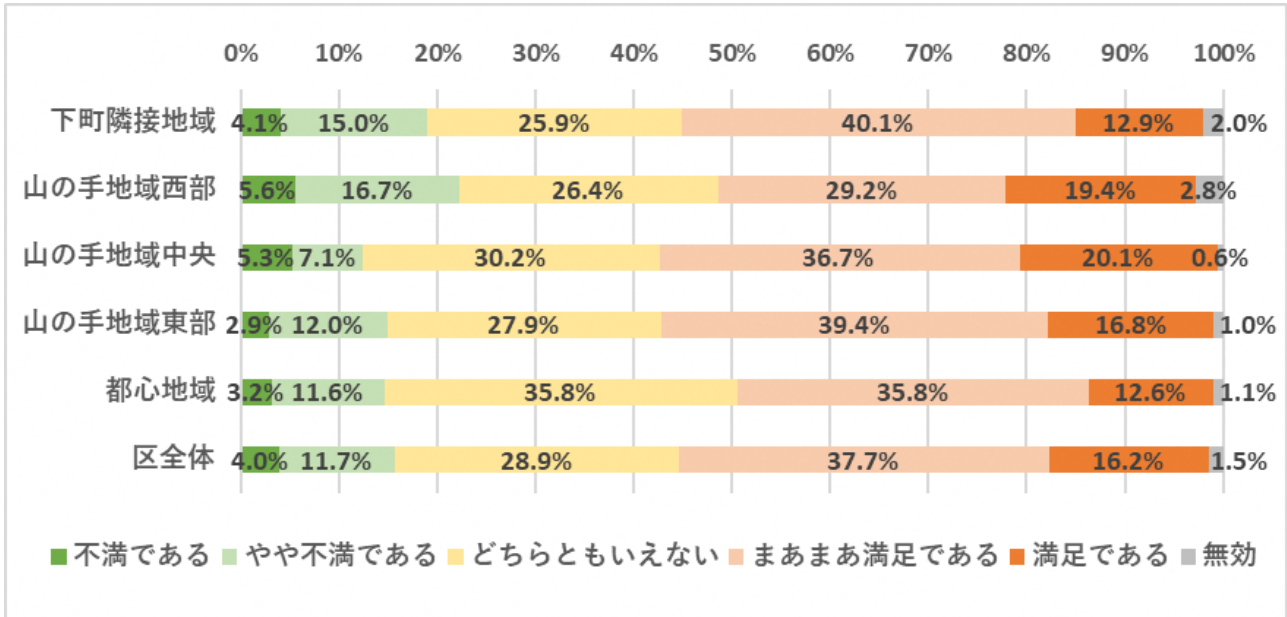


■道路網の整備に対する期待度

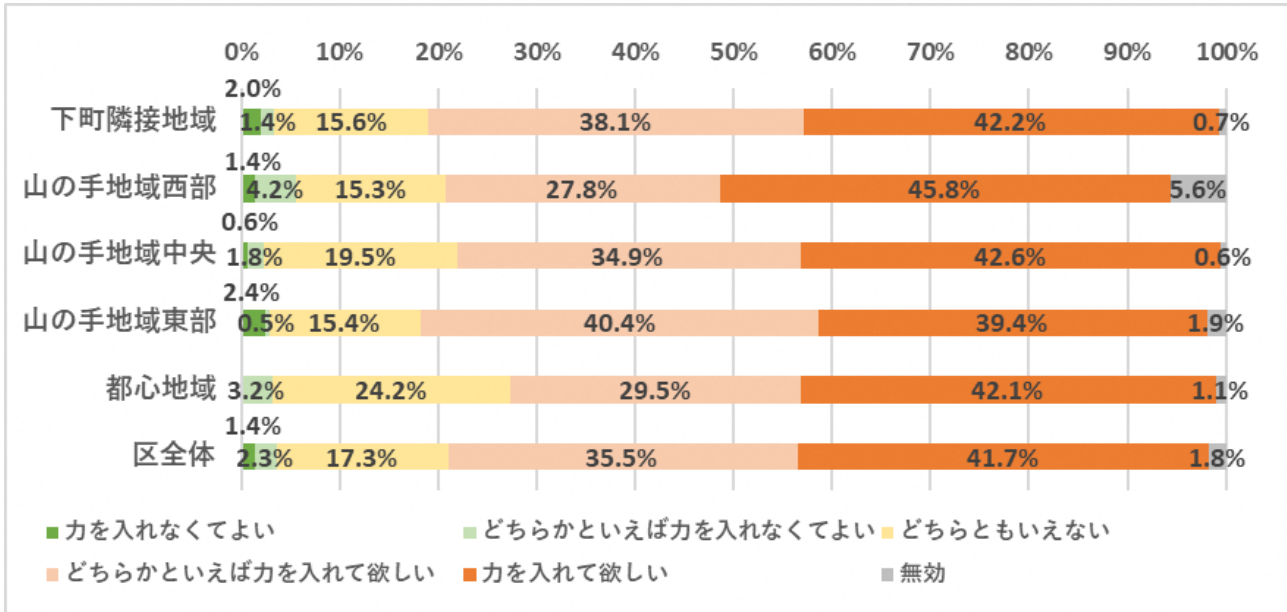


⑦ (3) 緑と水① (公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進)

■公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進に対する満足度

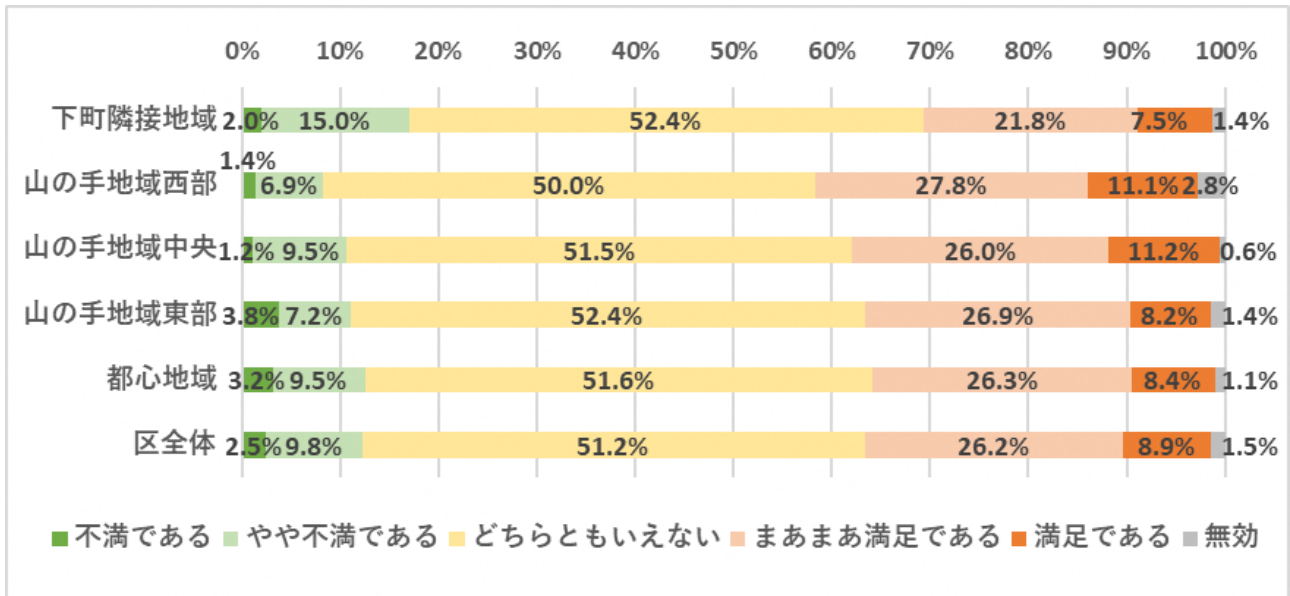


■公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進に対する期待度

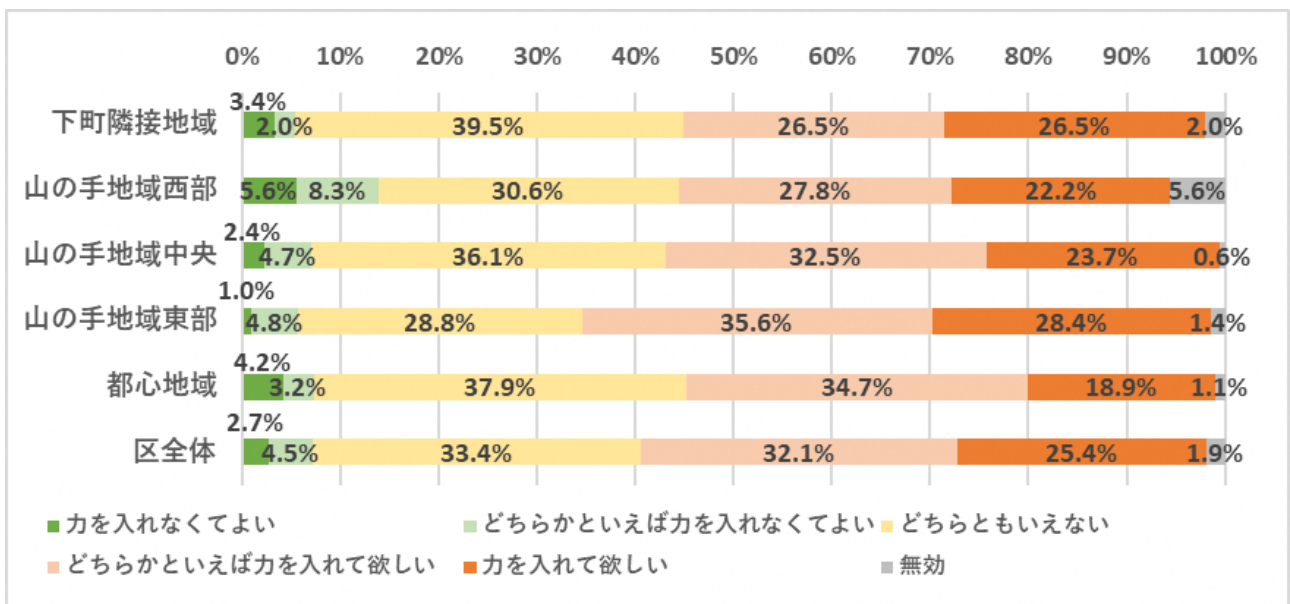


⑧ (3) 緑と水② (宅地内の緑のまちづくりの推進)

■宅地内の緑のまちづくりの推進に対する満足度

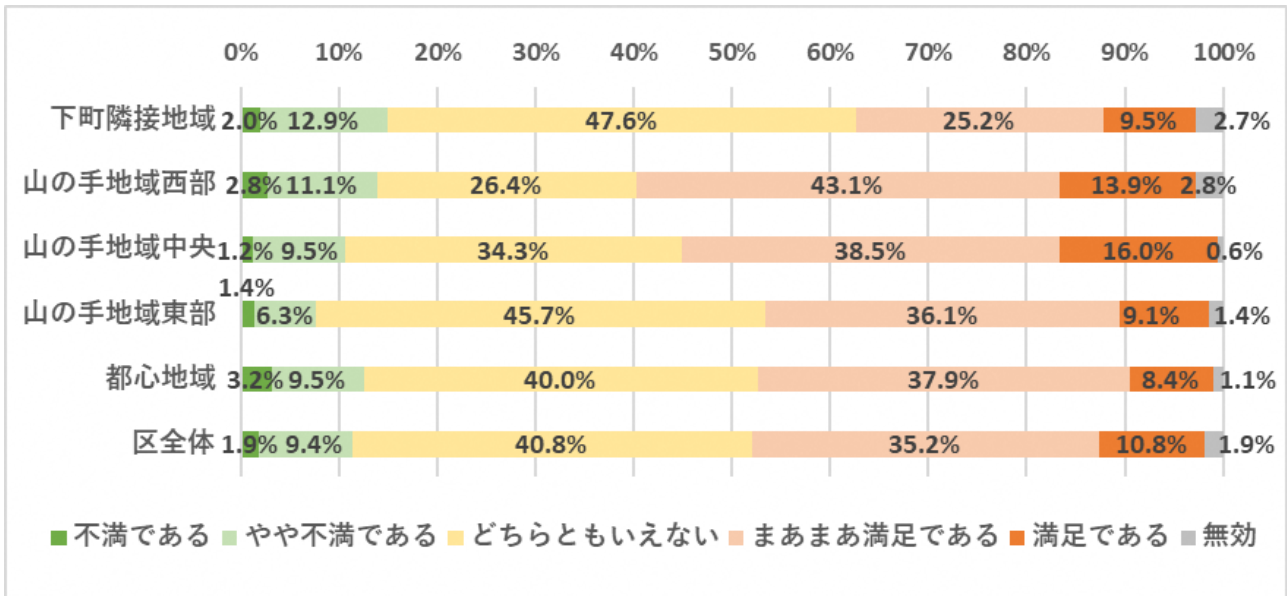


■宅地内の緑のまちづくりの推進に対する期待度

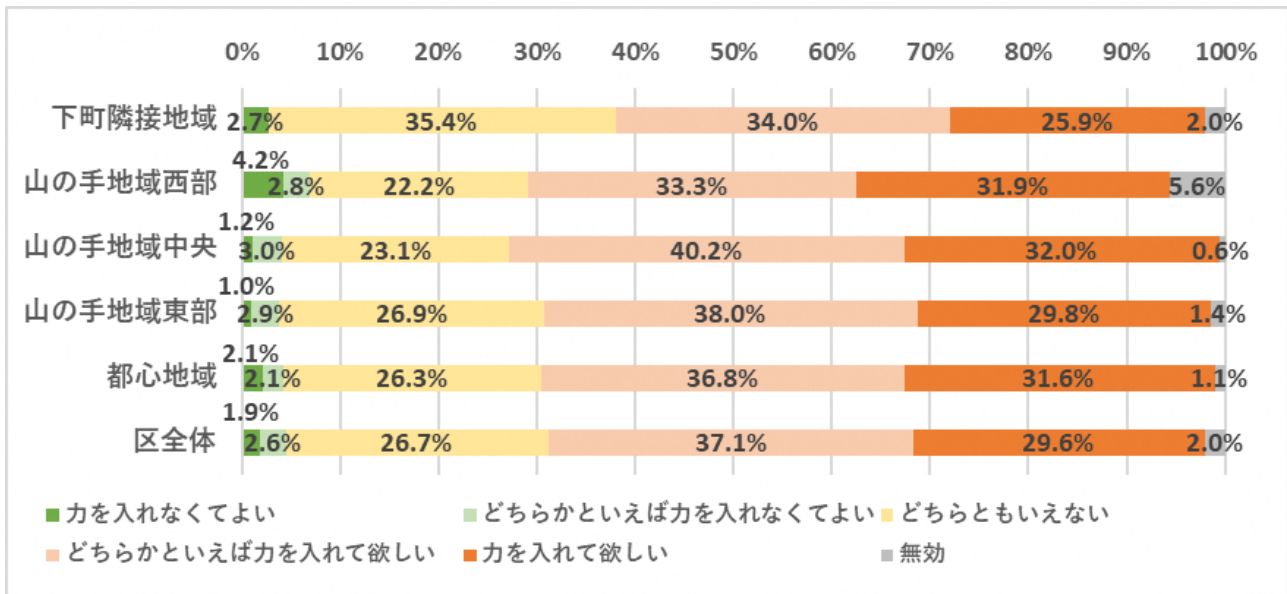


⑨ (3) 緑と水③ (緑と水のネットワーク軸の形成)

■緑と水のネットワーク軸の形成に対する満足度

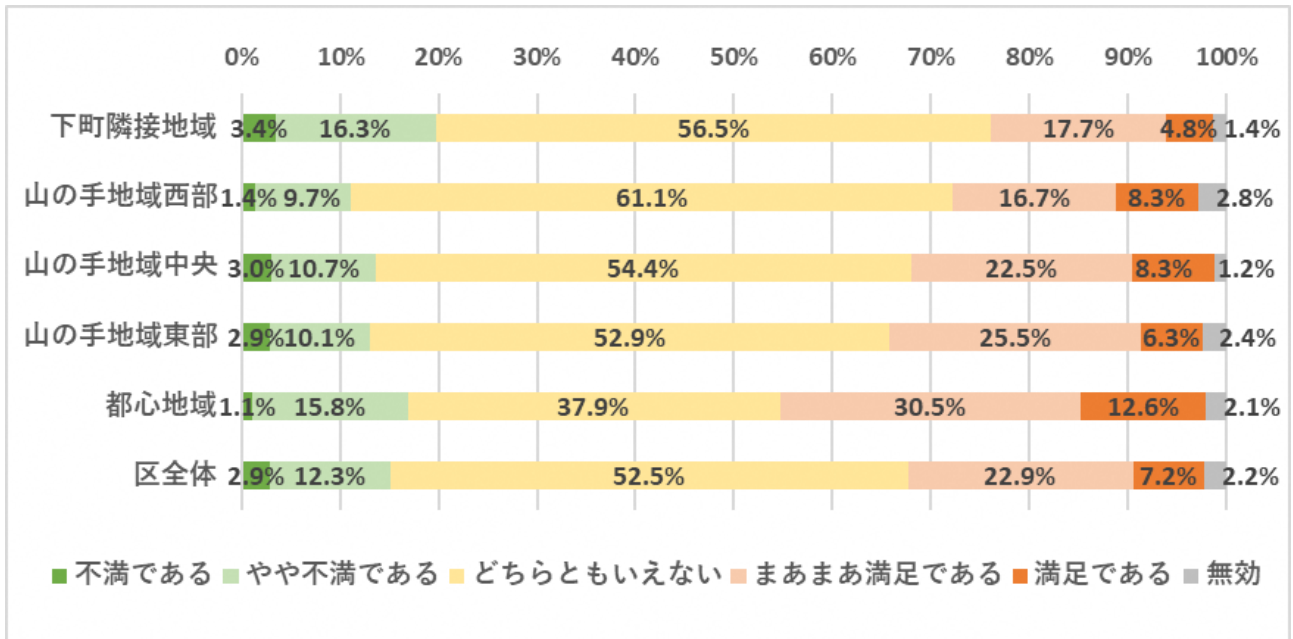


■緑と水のネットワーク軸の形成に対する期待度

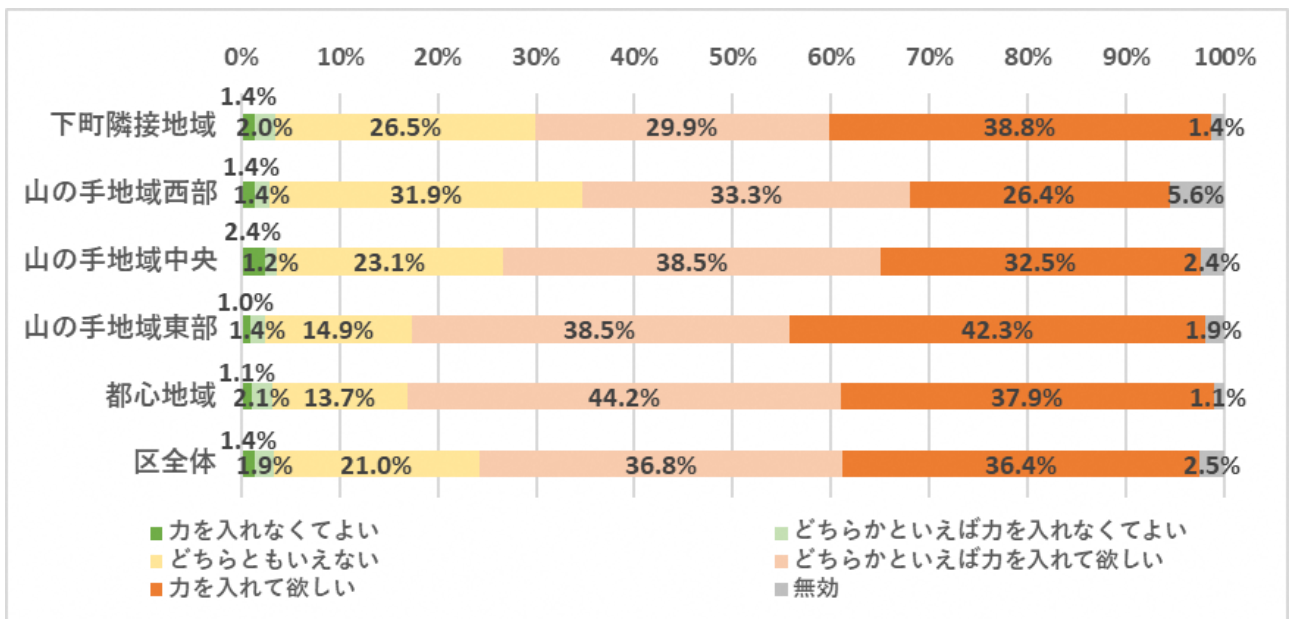


⑩ (4) 住宅・住環境① (防災や環境に配慮した住宅建設の誘導)

■ 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導に対する満足度

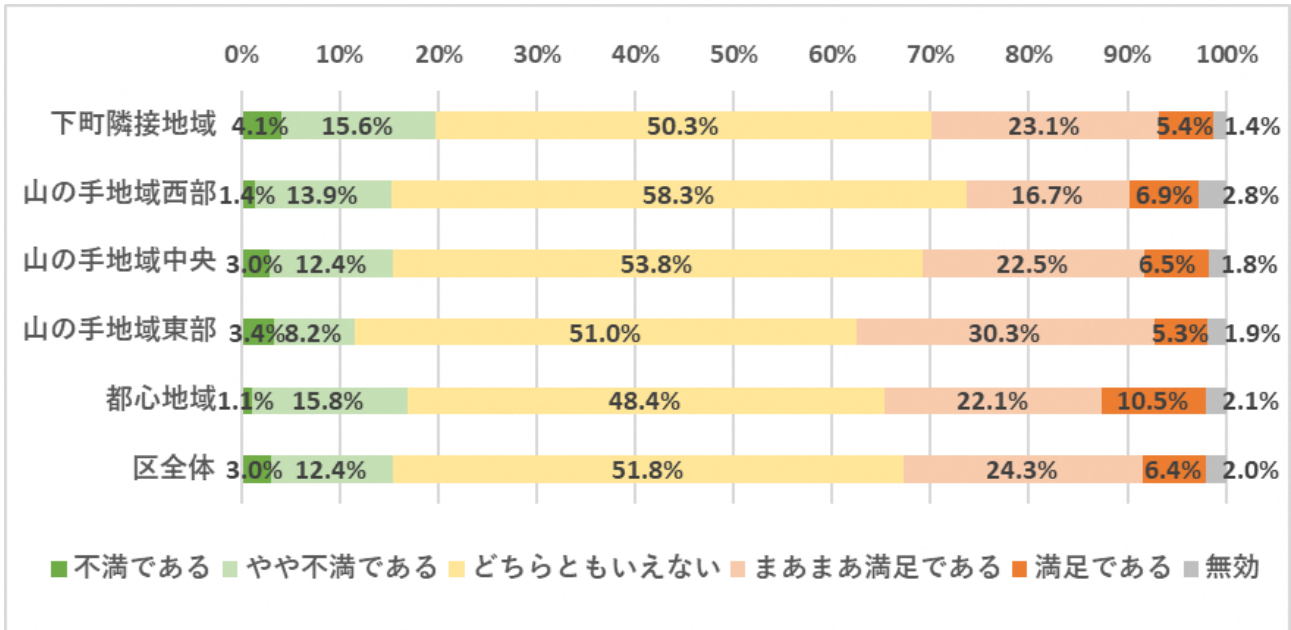


■ 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導に対する期待度

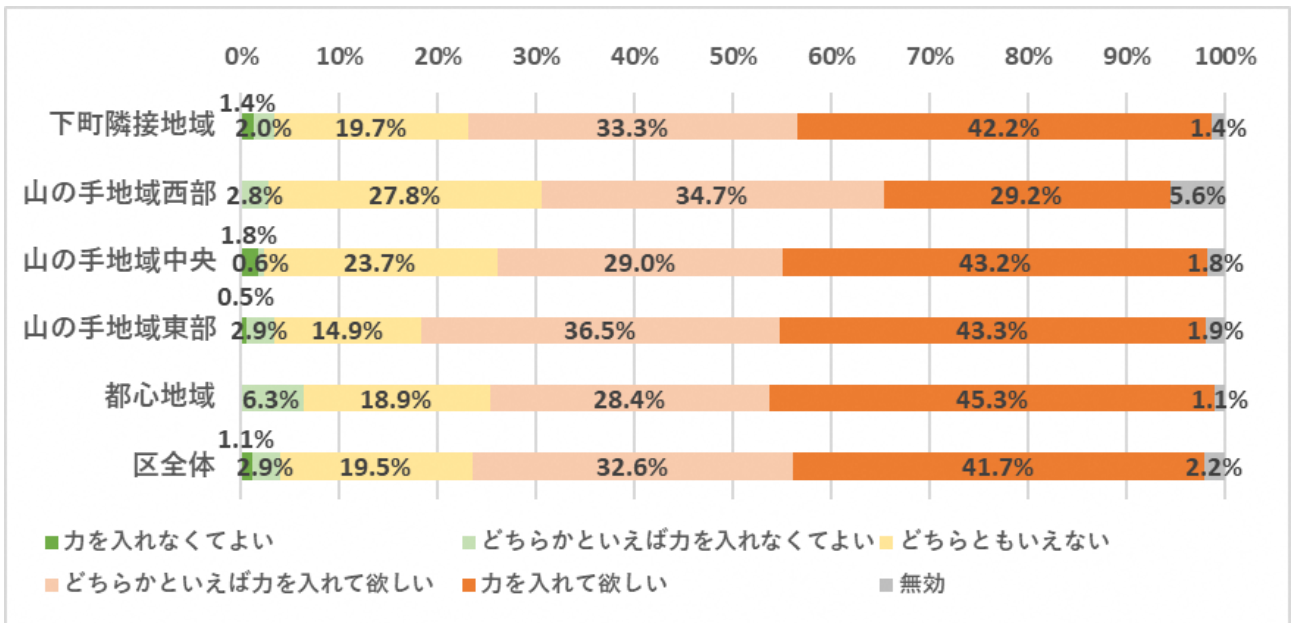


⑪ (4) 住宅・住環境② (子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応)

■子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応に対する満足度

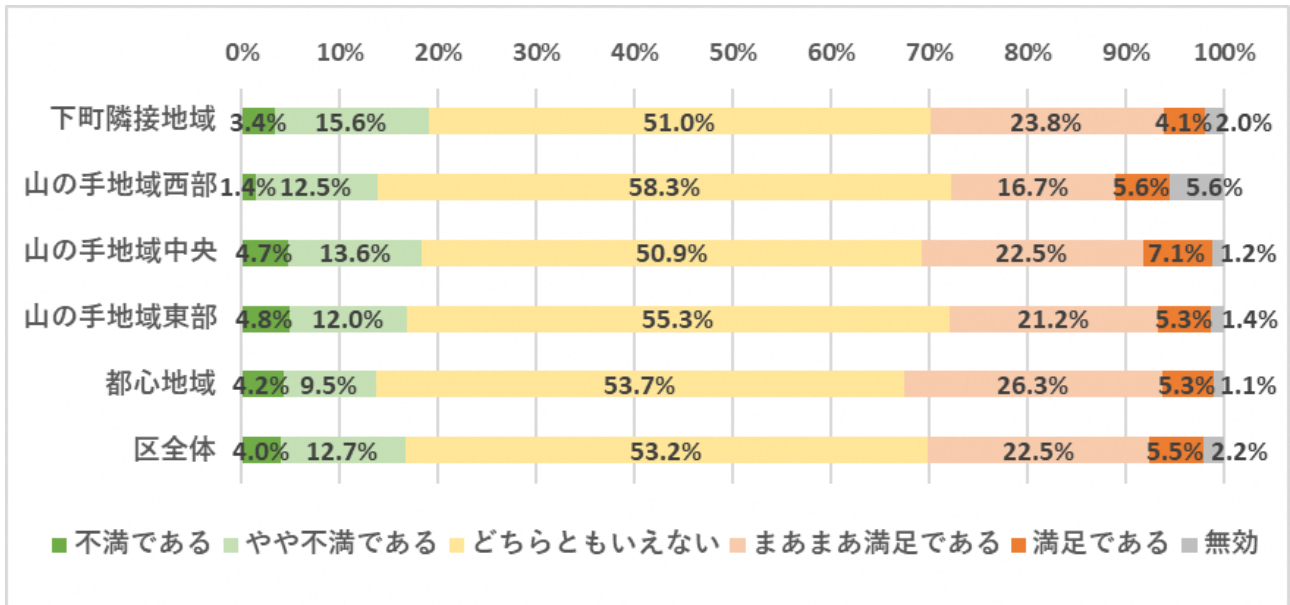


■子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応に対する期待度

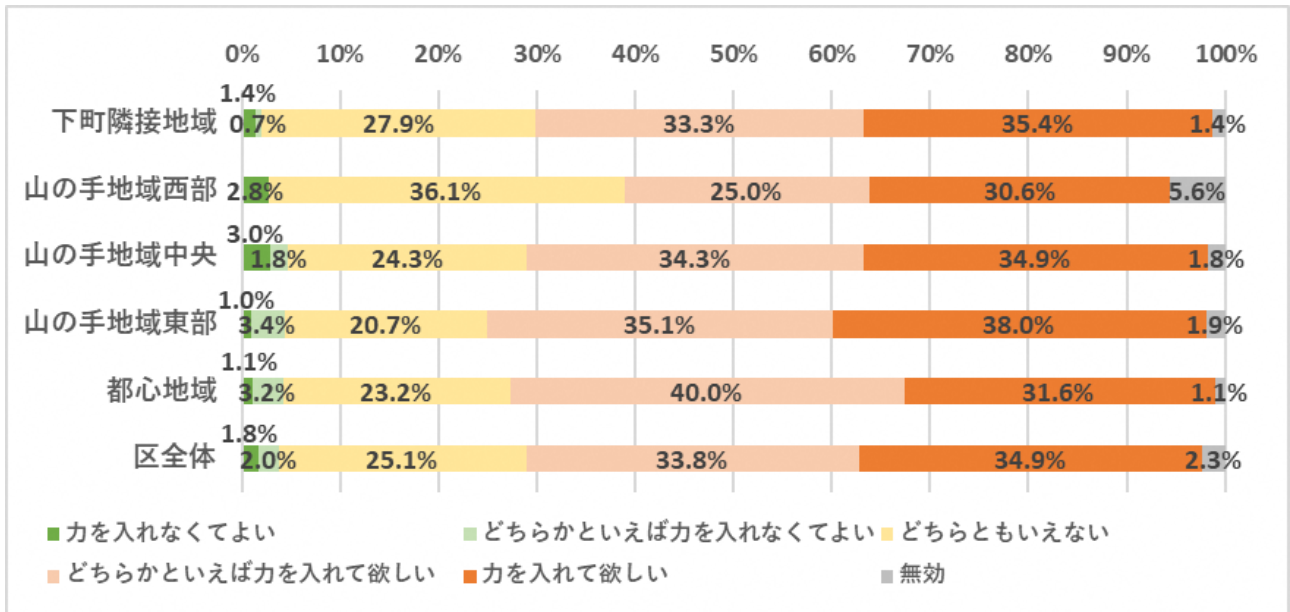


⑫ (4) 住宅・住環境③ (地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成)

■地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成に対する満足度

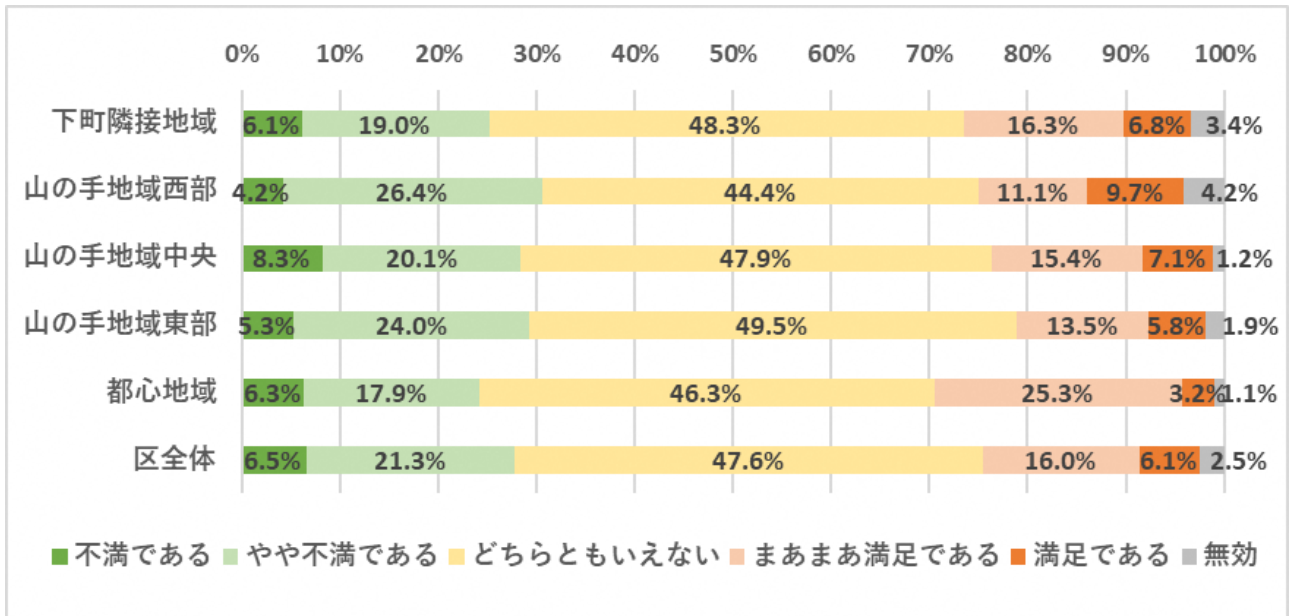


■地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成に対する期待度

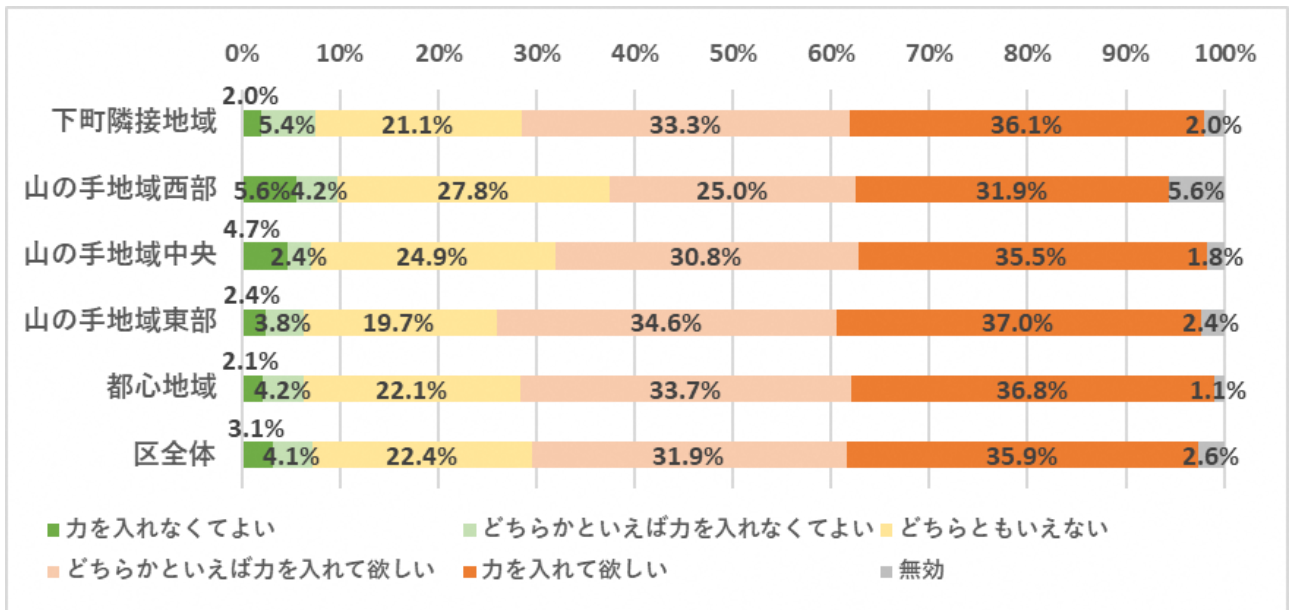


⑬ (4) 住宅・住環境④ (賑わいのある商店街の形成)

■賑わいのある商店街の形成に対する満足度

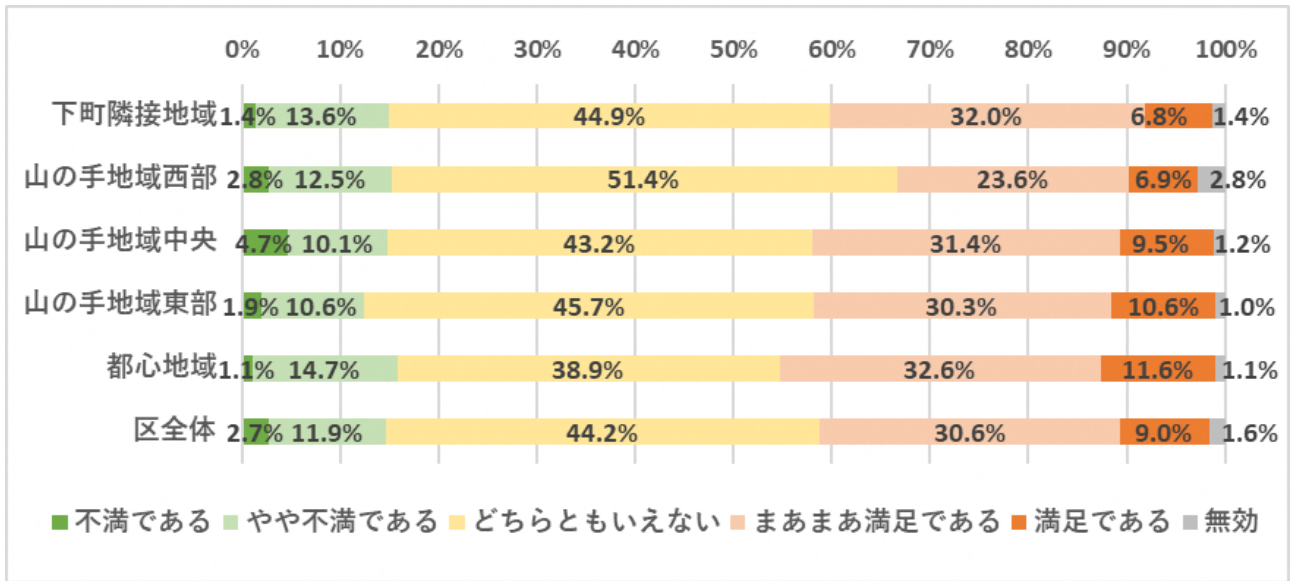


■賑わいのある商店街の形成に対する期待度

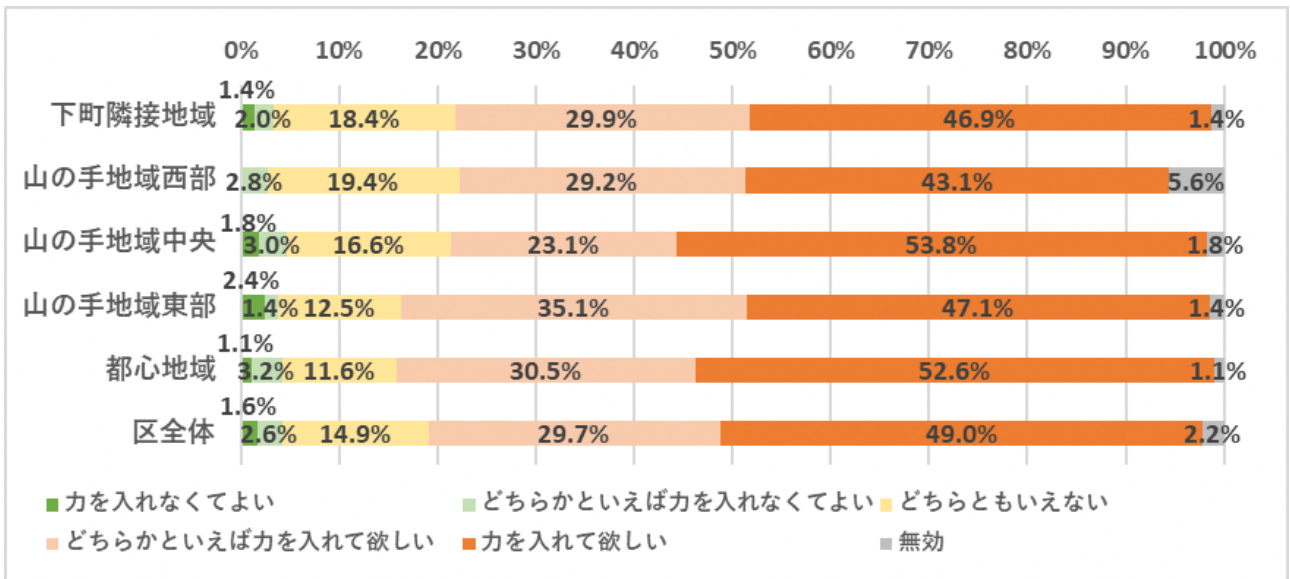


⑭ (4) 住宅・住環境⑤ (防犯まちづくりの推進)

■防犯まちづくりの推進に対する満足度

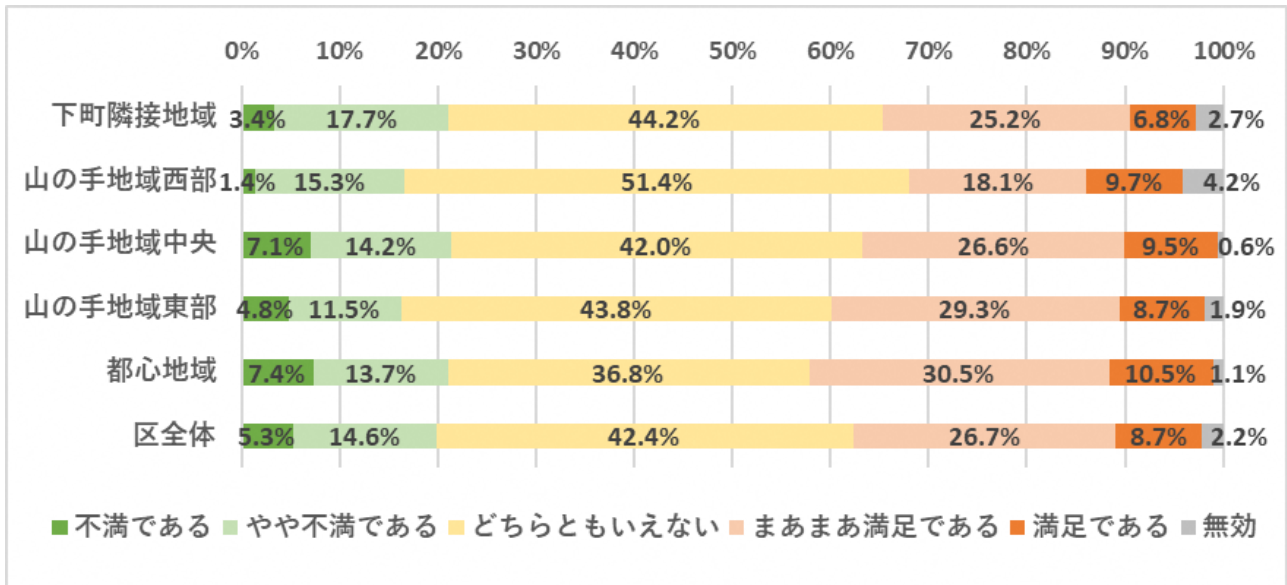


■防犯まちづくりの推進に対する期待度

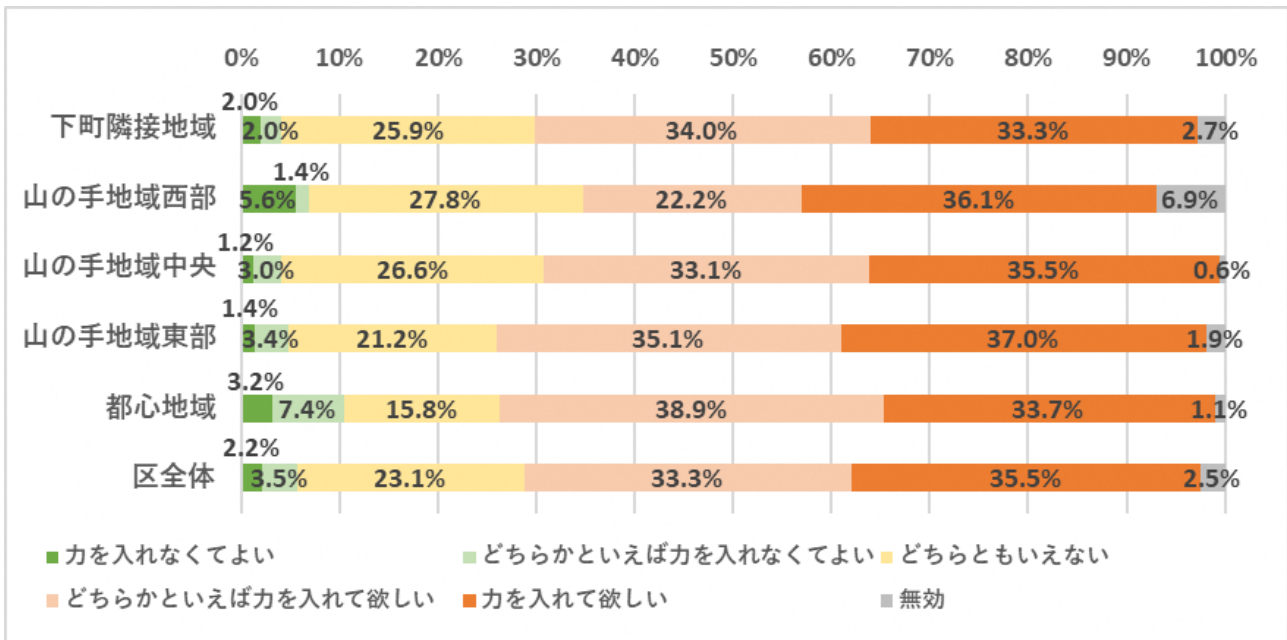


⑮ (5) 景観① (身近なまち並み景観の形成)

■ 身近なまち並み景観の形成に対する満足度

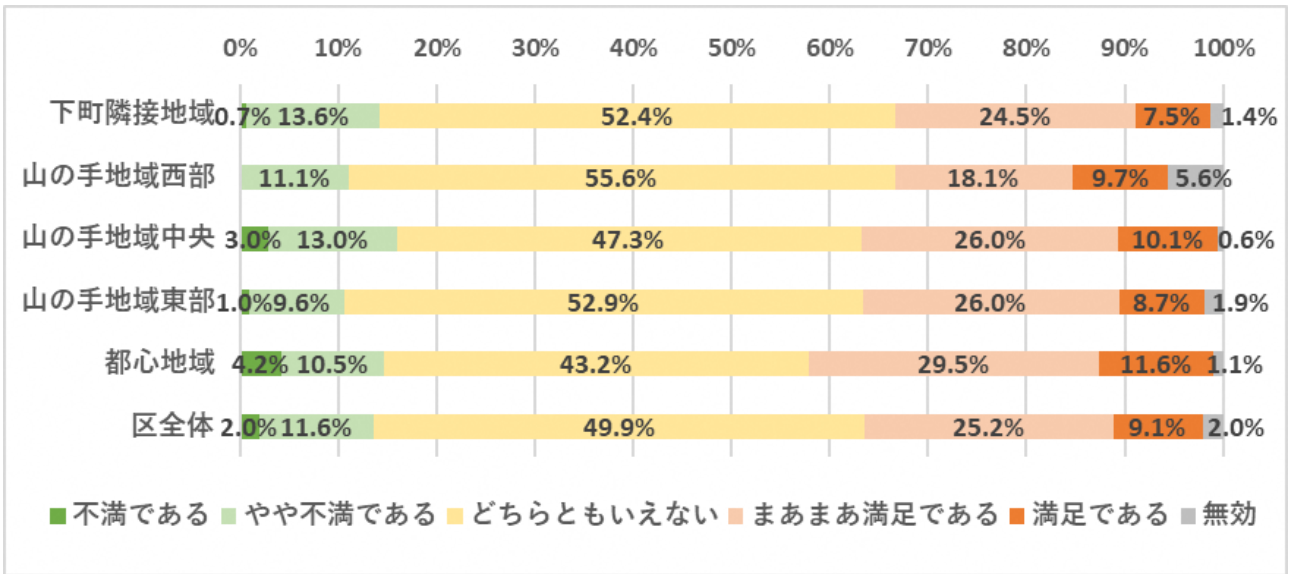


■ 身近なまち並み景観の形成に対する期待度

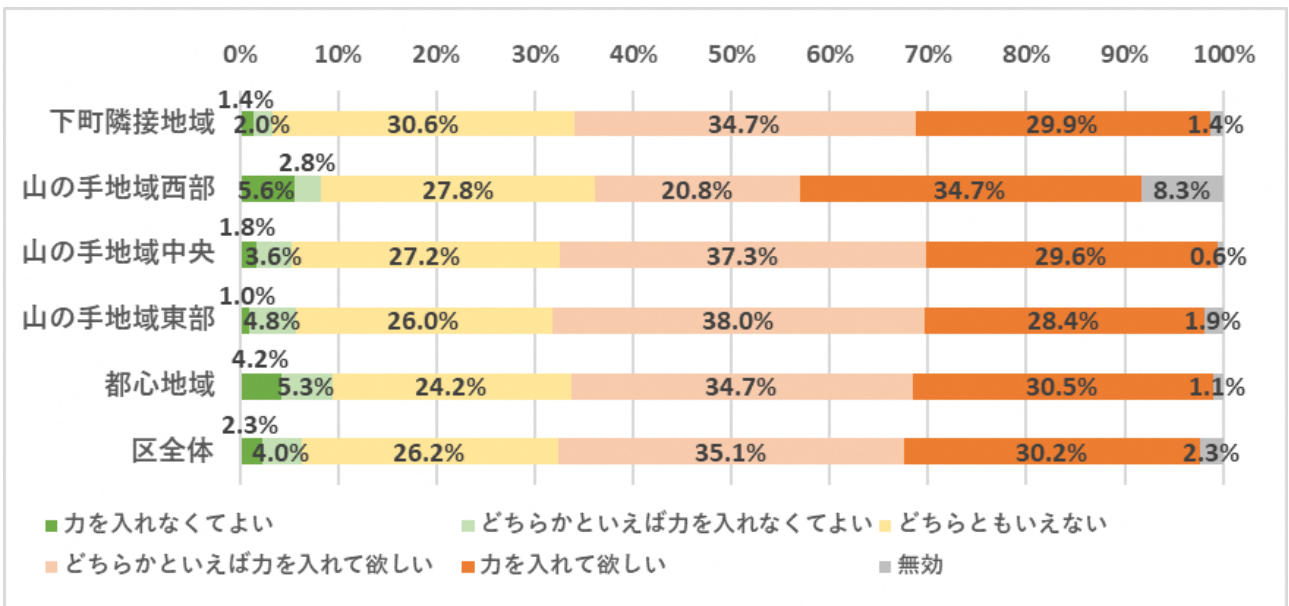


⑩ (5) 景観② (まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成)

■まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成に対する満足度

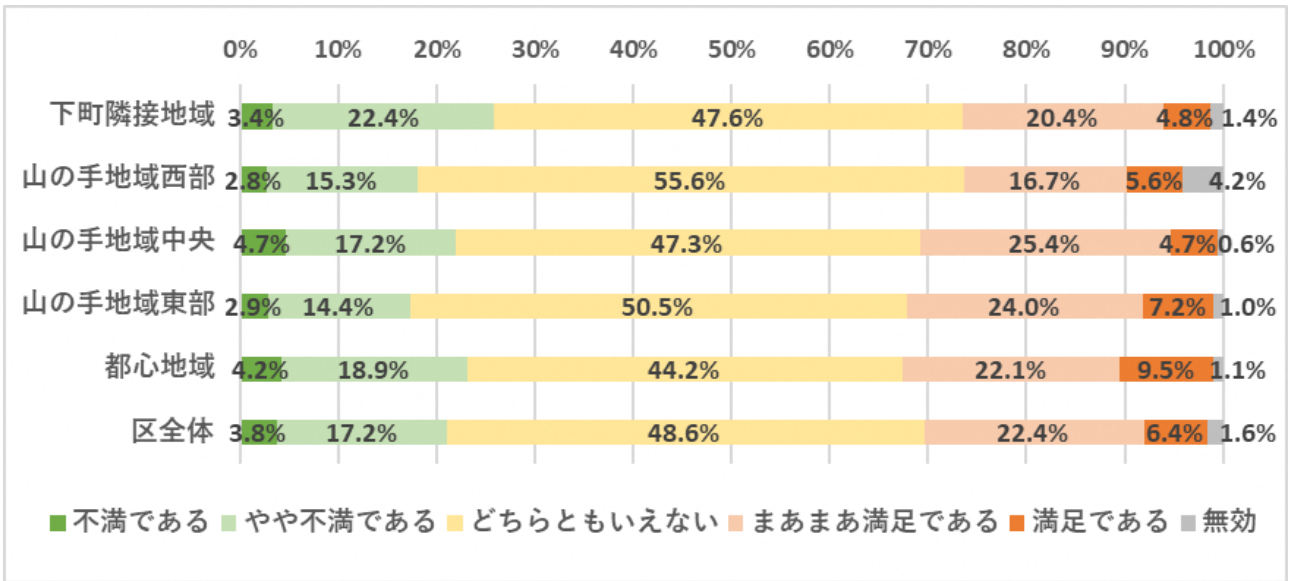


■まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成に対する期待度

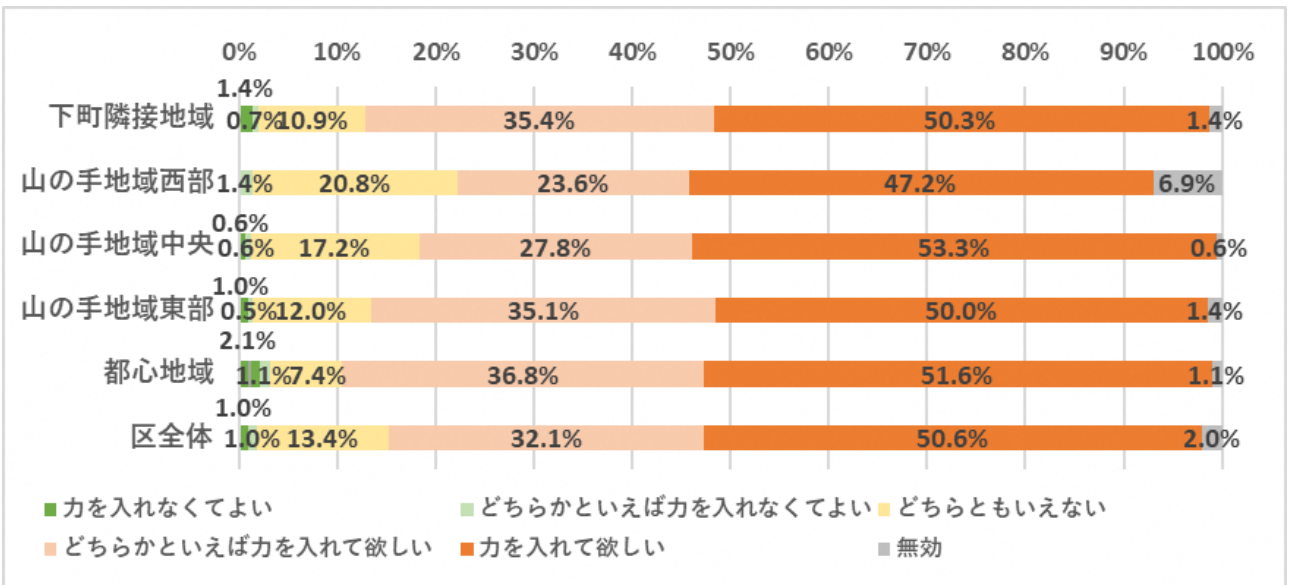


⑰ (6) 防災① (災害に強いまちづくりの推進について)

■災害に強いまちづくりの推進に対する満足度

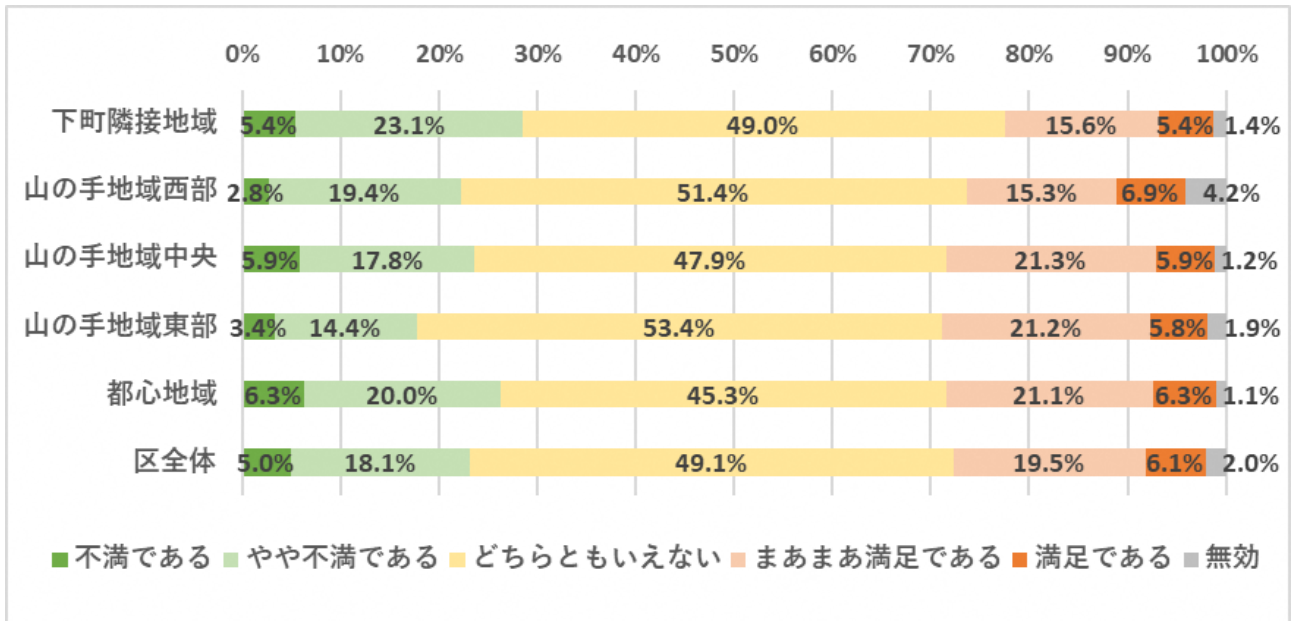


■災害に強いまちづくりの推進に対する期待度

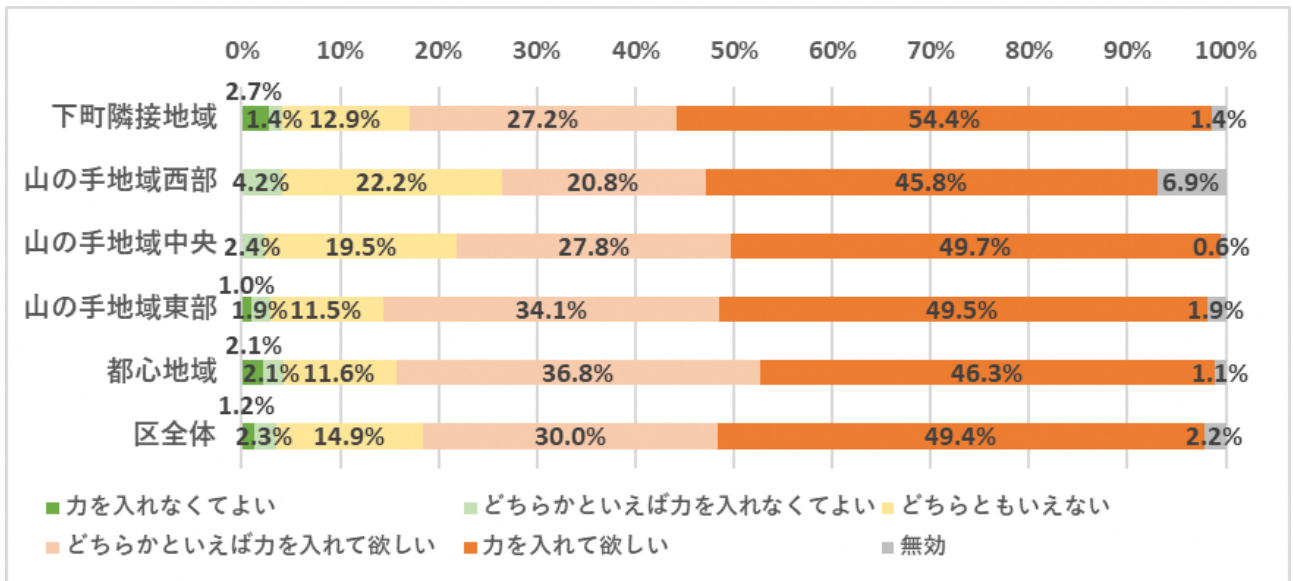


⑱ (6) 防災② (災害時の避難対策の推進について)

■災害時の避難対策の推進に対する満足度

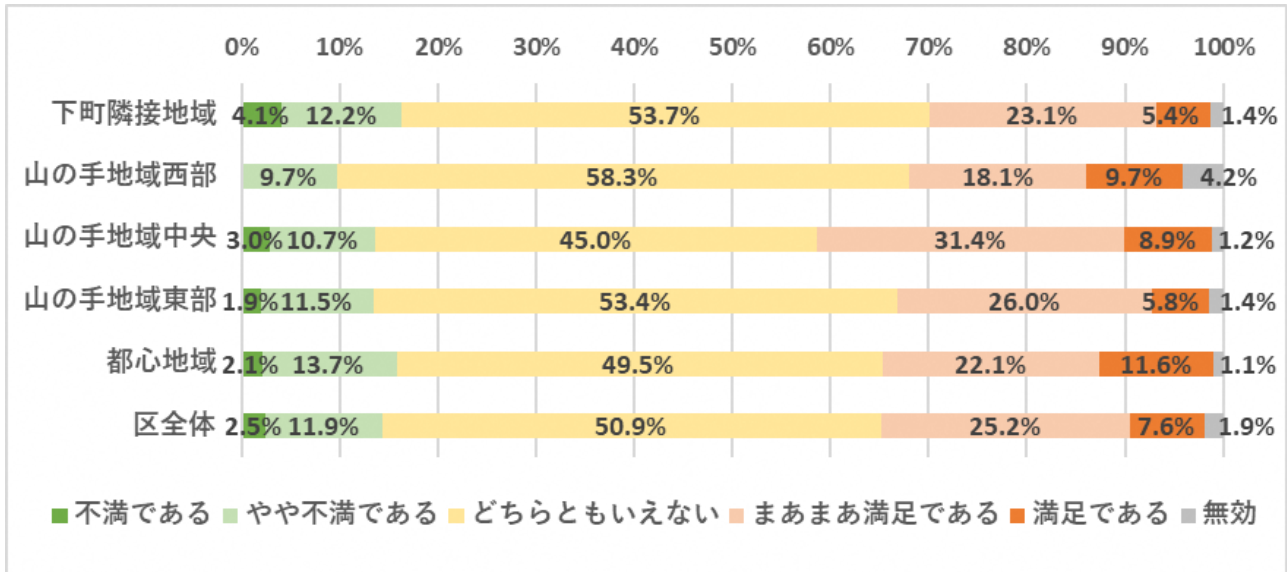


■災害時の避難対策の推進に対する期待度

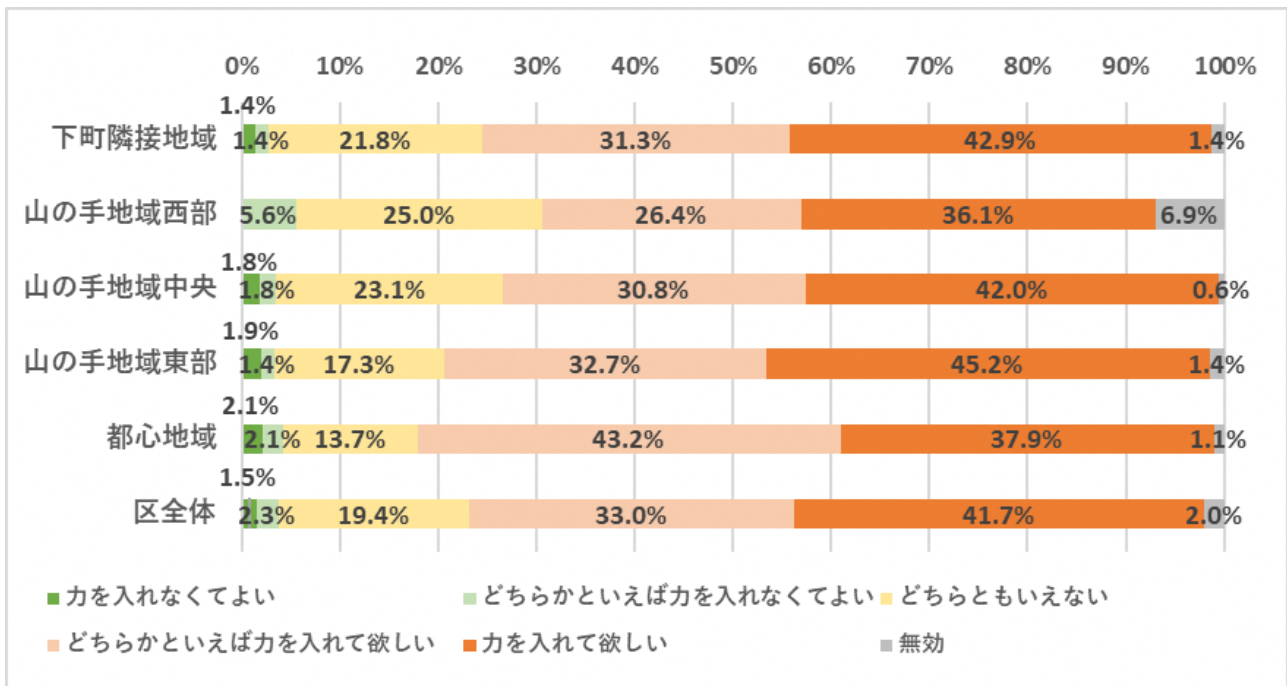


⑱ (6) 防災③ (総合的な治水・雨水対策の推進について)

■総合的な治水・雨水対策の推進に対する満足度



■総合的な治水・雨水対策の推進に対する期待度



⑳ 特に不満を感じる取組（区が取組 19 項目で特に不満を感じる項目があれば番号で記載）

- ・特に不満を感じる取組について、歩行・自転車利用の環境整備が最も多い。次いで、公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進、道路網の整備が続く。

■特に不満を感じる取組

取組の項目	回答者数	割合
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	8	1.1%
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	8	1.1%
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	12	1.6%
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	182	24.8%
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	15	2.0%
(2)-③ 道路網の整備	17	2.3%
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	18	2.5%
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	4	0.5%
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	3	0.4%
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	8	1.1%
(4)-② 子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応	9	1.2%
(4)-③ 地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成	2	0.3%
(4)-④ 賑わいのある商店街の形成	11	1.5%
(4)-⑤ 防犯まちづくりの推進	8	1.1%
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	7	1.0%
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	0	0.0%
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	11	1.5%
(6)-② 災害時の避難対策の推進	8	1.1%
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	1	0.1%
無回答等	401	54.7%
合計	733	100.0%

⑳ 特に力を入れてほしい取組（区取組 19 項目で特に力を入れてほしい項目があれば番号で記載）

・特に力を入れてほしい取組について、歩行・自転車利用の環境整備が最も多い。次いで、災害に強いまちづくりの推進、公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進が続く。

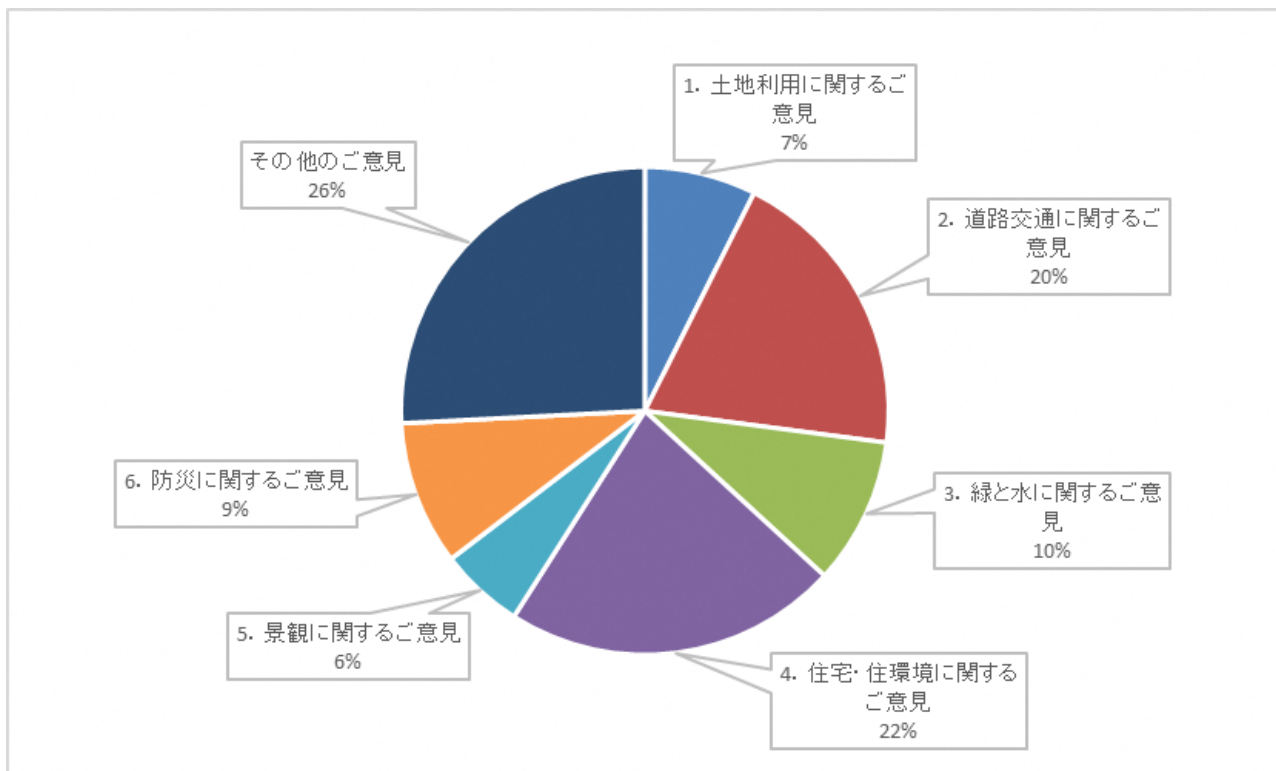
■特に力を入れてほしい取組

取組の項目	回答者数	割合
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	5	0.7%
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	6	0.8%
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	14	1.9%
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	42	5.7%
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	10	1.4%
(2)-③ 道路網の整備	6	0.8%
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	25	3.4%
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	4	0.5%
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	10	1.4%
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	10	1.4%
(4)-② 子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応	9	1.2%
(4)-③ 地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成	13	1.8%
(4)-④ 賑わいのある商店街の形成	13	1.8%
(4)-⑤ 防犯まちづくりの推進	13	1.8%
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	10	1.4%
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	18	2.5%
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	27	3.7%
(6)-② 災害時の避難対策の推進	14	1.9%
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	4	0.5%
無回答等	480	65.5%
合計	733	100.0%

(4) 問4 今後のまちづくりに関するご意見等

自由記述でいただいたご意見を現行都市マスタープランの分野別（1. 土地利用、2. 道路交通、3. 緑と水、4. 住宅・住環境、5. 景観、6. 防災、その他）に整理した。各分野のご意見の中で代表的なものを一部掲載する。

■区全体のご意見（分野別）



■代表的なご意見（分野別）

【1. 土地利用に関するご意見】

- ・都心立地と職住近接の良好な住宅地というポテンシャルを活かした、メリハリのあるマスタープランとなる事を期待する。
- ・1つターミナルとなる駅を開発してほしい。春日に頑張ってほしい。
- ・地域発展のため、建ぺい率や容積率を見直せないものか。
- ・高層のタワーマンションが増えてきたと思われる。高さの規制緩和も時代の流れで仕方ないかもしれないが、これから先の人口の増減を考えると、本当に必要かどうか疑問である。
- ・建築物などの高さ制限について、低い方向で見直しをしてほしい。

【2. 道路交通に関するご意見】

- ・自転車専用レーンをつくってあるが、駐車車で通行できなかつたり、逆走自転車があつたり、ルールを明確にしてほしい。
- ・歩道が急にレンガ?のような造りになった。見た目は素敵ですが、子どもがいてベビーカーをひいていると、ガタガタして赤ちゃんには良くないなと思っていました。少子化対策で子どものことを考えていてなぜ?と思ってしまった。

- ・高齢の母がコロナ禍で運動不足になってしまうので散歩に出ているのですが、ベンチが少なく、つらいと言っている。
- ・バスの便がなく、行きづらい地域がある。コミュニティバスの走る方面をもっと拡げて乗りやすくしてほしい。
- ・坂が多いので、バリアフリーへの取組を今以上に強化してほしい。

【3. 緑と水に関するご意見】

- ・子供がのびのびと遊べる公園が増えると良いと思う。
- ・神社、仏閣、大きな公園や大学などで緑が確保されているように思えるが、一般の町中は緑が少ない。マンション建設の際にデベロッパーに緑を確保させるなど、環境に配慮してほしい。
- ・街路樹の維持管理をよろしくお願ひしたい。

【4. 住宅・住環境に関するご意見】

- ・ソーラー化等、個人の家にもっと推進したらいいと思う。
- ・子供の遊び場やボール遊びが出来る所（テニスコートなど）が少なく、余りのびのびと子育てが出来なかった。
- ・静かで安全な住みやすいまちづくりをお願いしたい。
- ・生活必需品を買い求めるのに近場に店舗が少なく、坂道も多いので苦勞する。利便性の高いスーパーや薬局など誘致しやすい環境作りに力を入れてほしい。
- ・公園、スクールゾーンに防犯カメラを増やしてほしい。

【5. 景観に関するご意見】

- ・空が広く見えるまちにするため、電柱の地中化（無電柱化）は必須だと思う。

【6. 防災に関するご意見】

- ・区立の学校を建替えてほしい。老朽化が心配である。
- ・文京区では古い木造建築の家も多く、壊れそうなブロック塀も随所に目につく。大地震の場合、心配である。
- ・防災訓練などについて、積極的に皆が参加しやすい日程や仕組みを、分かりやすく情報提供してほしい。
- ・地盤が弱い土地に建っている住宅などの水害が心配なので、助成して改修など、推進出来るようにしてほしい。

【その他のご意見】

- ・今日のように変化の速い時代にあっては、100年の計画ビジョンを作るのではなく、目の前の変化に迅速に対応する、計画の見直しができるシステムが必要ではないか。
- ・まちづくりは統合的な領域なので、これまでの仕組みや制度、縦割り体制等では、そもそも対応が難しいように思う。
- ・まちづくりには区民の参加関与が必要不可欠だが、その参加のデザインが不十分なように思う。

4) 分析 (加重相加重平均値算出による施策評価)

■加重相加重平均値の算定手順

満足度		得点	期待度		得点
5. 満足である	→	10点	5. 力を入れて欲しい	→	10点
4. まあまあ満足である	→	5点	4. どちらかといえば力を入れて欲しい	→	5点
3. どちらともいえない	→	0点	3. どちらともいえない	→	0点
2. やや不満である	→	-5点	2. どちらかといえば力を入れなくてよい	→	-5点
1. 不満である	→	-10点	1. 力をいれなくてよい	→	-10点
無回答		欠損値 (得点計算の対象外)	無回答		欠損値 (得点計算の対象外)

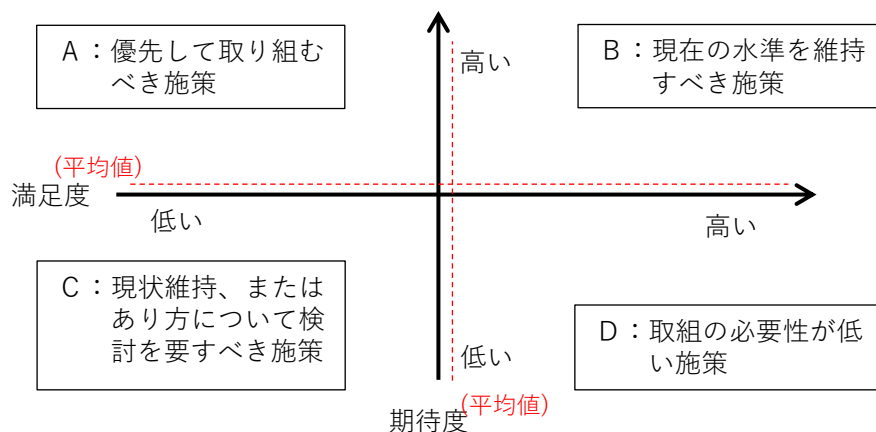
$$\text{満足度・期待度} = \frac{(a)\text{回答数} \times 10 + (b)\text{回答数} \times 5 + (c)\text{回答数} \times 0 + (d)\text{回答数} \times (-5) + (e)\text{回答数} \times (-10)}{(a) \sim (e)\text{回答数}}$$

※例えば、仮に全員が「4. まあまあ満足である」を選んだ場合、その項目の加重相加重平均値は5点となる。

さらに、「満足度」と「期待度」のを加重相加重平均値の関係を下記のグラフに整理して、A~Dの4分類を行った。次ページよりその集計結果を掲載する。

■相対評価

A	満足度平均以下、期待度平均以上 (優先して取り組む施策)
B	満足度平均以上、期待度平均以上 (現在の水準を維持する施策)
C	満足度平均以下、期待度平均以下 (現状維持、またはあり方について検討を要する施策)
D	満足度平均以上、期待度平均以下 (取組の必要性が低い施策)

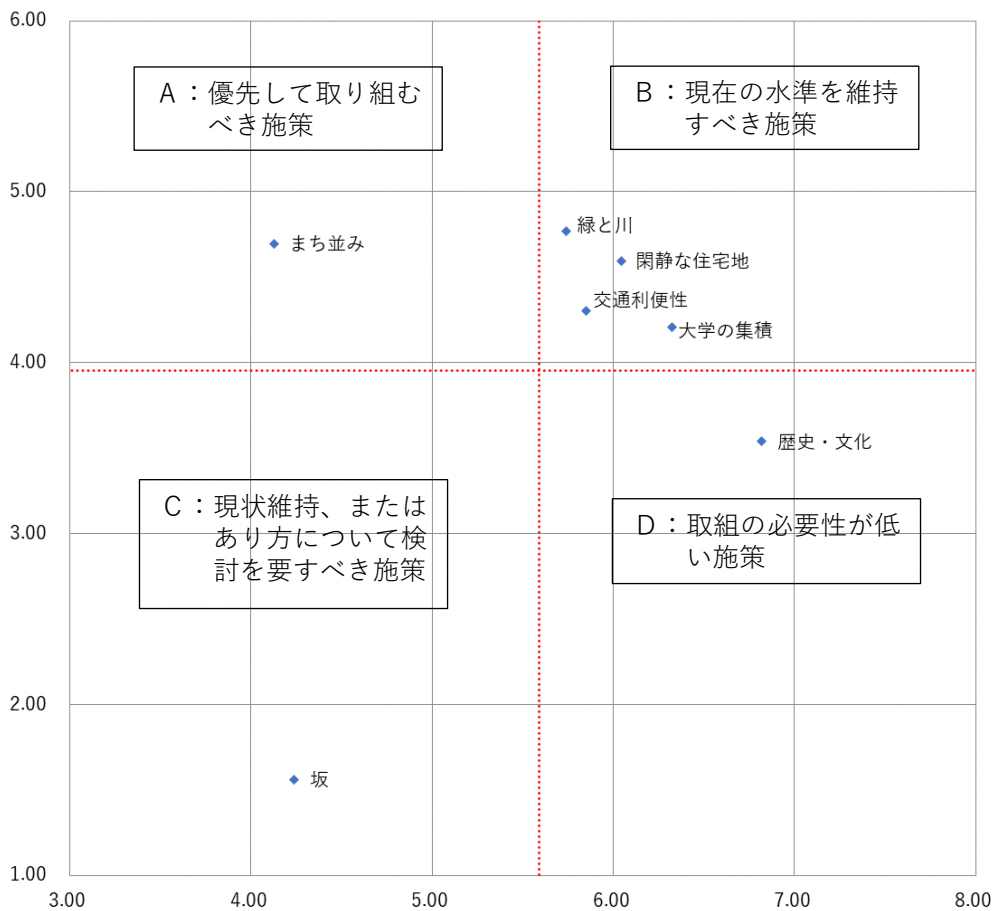


(1) 区の魅力について

■加重相加平均値の算定結果

魅力	満足度	期待度	評価
交通利便性	5.85	4.30	B
閑静な住宅地	6.05	4.60	B
緑と川	5.74	4.77	B
歴史・文化	6.82	3.54	D
大学の集積	6.32	4.21	B
坂	4.24	1.56	C
まち並み	4.13	4.69	A

■相対評価

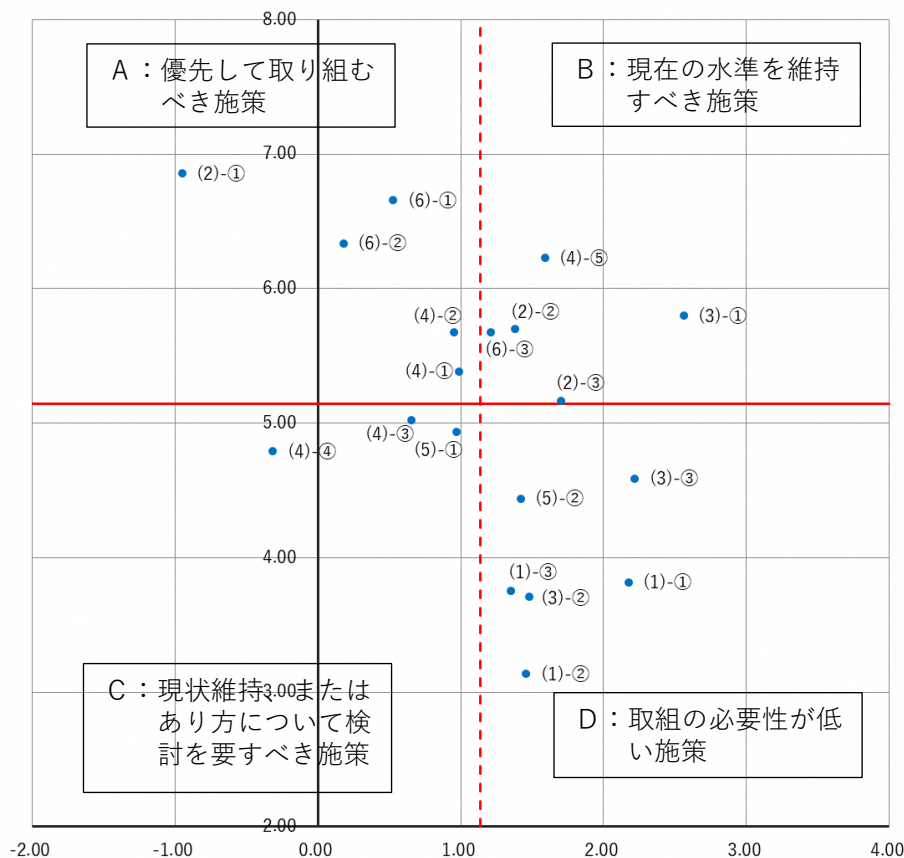


(2) 区の実施策について

■加重相加重平均値の算定結果

取組	満足度	期待度	評価
(1)-① 地域特性に応じた多様な市街地の形成	2.17	3.82	D
(1)-② 土地利用の誘導に関する取組	1.46	3.14	D
(1)-③ 建築物の高さに関する取組	1.35	3.76	D
(2)-① 歩行・自転車利用の環境整備	-0.95	6.86	A
(2)-② 公共交通機関の利便性向上のための環境整備	1.38	5.70	B
(2)-③ 道路網の整備	1.70	5.17	B
(3)-① 公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進	2.56	5.80	B
(3)-② 宅地内の緑のまちづくりの推進	1.48	3.71	D
(3)-③ 緑と水のネットワーク軸の形成	2.22	4.59	D
(4)-① 防災や環境に配慮した住宅建設の誘導	0.99	5.38	A
(4)-② 子育て世帯や高齢者、障害者などのニーズへの対応	0.95	5.68	A
(4)-③ 地域の特徴に合わせた住宅市街地の形成	0.66	5.02	C
(4)-④ 賑わいのある商店街の形成	-0.31	4.79	C
(4)-⑤ 防犯まちづくりの推進	1.59	6.23	B
(5)-① 身近なまち並み景観の形成	0.97	4.94	C
(5)-② まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成	1.42	4.44	D
(6)-① 災害に強いまちづくりの推進	0.53	6.66	A
(6)-② 災害時の避難対策の推進	0.18	6.34	A
(6)-③ 総合的な治水・雨水対策の推進	1.21	5.68	B

■相対評価



2. 来訪者アンケート

1) 企画

来訪者アンケートについて、以下内容にて実施した。

(1) 目的

区内には、歴史・文化的資源や後樂園駅周辺のレクリエーション施設等があり来訪者をひきつけている。本アンケートでは、来訪者の視点から文京区の魅力や課題及び今後の取組みに関するニーズなどを把握し、都市マスタープランの見直しに活用するためとする。

(2) 対象・実施方法

調査の対象及び実施方法は以下の表のとおりとする。

■対象及び実施方法

区分	来訪者アンケート
対象	・文京区を含まない都内在住者
実施方法	・対象者となるモニターを抽出※し、WEB アンケートを実施。 ※はじめにスクリーニングをかけ、調査対象者を絞る。 例) 文京区を訪れたことがあると回答した方のみ、設問に進む。

(3) 調査項目

調査項目は、以下の表のとおりである。

■調査項目と各設問の狙い

区分		各問を聞く意味／狙い
問1	回答者※1について ・職業	・問2以降の設問とクロス集計することにより、各属性別の回答の傾向を把握する。 ※1：性別、年齢、居住地は判明している
問2	来訪について ・来訪頻度 ・来訪目的 ・来訪手段	・来訪者の目的及び手段を把握するとともに、問3以降の設問とクロス集計することにより、来訪頻度や目的別に回答の傾向を把握する。
問3	文京区の魅力について ・魅力だと思う項目 ・今後、伸ばしてほしい魅力	・現行都市マスタープランのまちの魅力において、来訪者が魅力的だと思う項目、今後活かしてほしい魅力を問う。 ・各項目は区民意識調査と同一とし、 <u>区民と来訪者の意識の違いを比較すること</u> で、 <u>魅力を高めるための方策や方策の対象を検討する</u> 上での参考とする。

区分		各問を聞く意味／狙い
		・以上により、 <u>魅力の項目とそれに紐づく方針、記述内容の見直し</u> の材料とする。
問4	文京区のまちづくりについて ・来訪した際の課題 ・再訪するにあたって期待する取組	・来訪者の立場からの都市環境への評価を把握することにより、都市マスタープラン見直しにあたっての <u>基礎的な知見</u> とする。 ・評価から都市整備上の課題を抽出することで、 <u>現行都市マスタープラン各施策項目の見直し</u> に用いる。 ※各項目における区民意識調査（問3；区 の取組）との対応は以下表の通りである。
問5	自由記述	・質問項目以外に関するまちづくりへの意見を把握する。 ・特に重要であると考えられる項目については、改定時に <u>今後力を入れるべき新しい項目として記載を検討</u> する。

※ 区民意識調査（問3：区
の取組）との対応関係

来訪者アンケート	区民意識調査
快適な歩行空間の整備	(2)-①歩行・自転車利用の環境整備
自転車利用環境の向上	
公共交通機関の利便性向上	(2)-②公共交通機関の利便性向上のための環境整備
道路網の整備	(2)-③道路網の整備
緑と水のまちづくりの推進	(3)-①公園・庭園等の緑と水のまちづくりの推進
利便性の高い買い物空間の整備	(4)-④賑わいのある商店街の形成
防犯まちづくりの推進	(4)-⑤防犯まちづくりの推進
地域の特性を生かした景観の形成	(5)-①身近なまち並み景観の形成
	(5)-②まちの特性を生かし魅力を高める景観の形成
災害に強いまちづくりの推進	(6)-①災害に強いまちづくりの推進
	(6)-②災害時の避難対策の推進
	(6)-③総合的な治水・雨水対策の推進

2) 実施

アンケート調査票について、実施概要は以下のとおりとする。

■実施概要

対象	文京区を含まない都内在住者（島しょ部を除く）
調査数	400 人
実施日時	令和4年3月24日（木）～令和4年3月25日（金）（2日間）

(2) 文京区を訪れる頻度をお答えください。【○印は1つ】

- 1 週に4日以上 2 週に2,3日 3 週に1日 4 月に数回 5 年に数回

(3) 文京区を訪れる時の主に利用する交通手段をお答えください。【○印は1つ】

- 1 鉄道 2 バス 3 自動車 4 タクシー 5 バイク 6 自転車 7 徒歩

問3 文京区の魅力についてお答えください。【○印は3つまで】

(1) 文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。

- 1 **交通利便性**
(例) 地下鉄、バス路線、コミュニティバス、自転車シェアリング等の魅力的な交通サービスがある。
- 2 **閑静な住宅地**
(例) 都心に近接しながらも閑静で比較的良好な住宅地が区内に広がっている。
- 3 **緑と川**
(例) 小石川後楽園、六義園等の大規模な緑、起伏に富んだ地形により生まれる斜面の緑、寺社や住宅地の緑、神田川等がある。
- 4 **歴史・文化**
(例) 赤門・護国寺・根津神社等の文化財や、寺社、文人ゆかりの地等の歴史・文化的資源が分布している。
- 5 **大学の集積・教育機関、医療機関**
(例) 教育環境や医療環境に恵まれ、企業等の良好な立地条件となっている。大学の立地は労働力の確保や地域への貴重な人材の提供を可能にしている。
- 6 **坂**
(例) 文学作品に登場する坂、地域を特徴づける名の坂があり、変化に富む風景をつくっている。
- 7 **まち並み**
(例) 都心に近接しながらも、風情ある街並みが残っている。また、白山通り等街路樹の豊かな大通りがある。
- 8 **その他** ()

(2) 一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。

- 1 交通利便性
- 2 閑静な住宅地
- 3 緑と川
- 4 歴史・文化
- 5 大学の集積・教育機関、医療機関
- 6 坂
- 7 まち並み
- 8 新たな魅力の創出が必要 ()

文京区都市マスタープランの見直しに向けた来訪者アンケート

■モニター登録時に判明している事項 (=質問に入れない項目)
・性別 ・年齢 ・居住地

■依頼文、質問内容
現在、文京区では、「文京区都市マスタープラン」の見直しを検討しております。
本調査は、文京区へ訪れたことのある皆様から見た文京区の魅力や課題を把握し、「文京区都市マスタープラン」の見直しの検討の参考とするために実施するものです。

■スクリーニングでの質問内容※
・問Aで①はい と回答した人のみアンケート対象とする。

問A 最近3年間で文京区に3回以上訪れたことはありますか

(湯島天満宮、根津神社、六義園、小石川後楽園、教育の森公園、森鷗外記念館、東京ドームシティ、印刷博物館、日本サッカーミュージアム、文京朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつり、文京シビックセンター、東京大学赤門、小石川植物園、ホテル椿山荘など)

- ① はい ② いいえ

問1 あなたのご職業をお答えください。

- 1 自営業・事業主
- 2 自由業
- 3 会社員・公務員
- 4 パート・アルバイト
- 5 家事(専業)
- 6 学生
- 7 無職
- 8 その他 ()

問2 あなたが文京区に来訪した時の行動についてお答えください。

(1) 文京区を訪れる主な目的は何ですか。【○印は1つ】

- 1 通学・通勤
- 2 業務(営業、配達など)
- 3 日常の買い物(食料品・日用雑貨)
- 4 非日常の買い物(家具・家電・娯楽品・洋服等)
- 5 通院
- 6 趣味や習い事
- 7 レジャー・スポーツ
- 8 散歩
- 9 観光
- 10 親類・知人訪問
- 11 その他 ()

(2) 今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。

- 1 **快適な歩行空間の整備**
(例) 歩道の拡幅・段差解消、坂道への手すり設置、歩行者・自転車・自動車の道路空間の見直し など
- 2 **自転車利用環境の向上**
(例) 自転車レーンの整備、自転車シェアリングサイクルポートの拡充、駐輪場の整備 など
- 3 **公共交通機関の利便性向上**
(例) コミュニティバスの運行本数増加、駅のバリアフリー化の推進、駅周辺の案内サインの充実 など
- 4 **道路網の整備**
(例) 安全で快適な道路空間の整備、街路樹の適切な維持管理 など
- 5 **緑と水のまちづくりの推進**
(例) 安全で安心な公園の再整備、緑化の推進、親水空間の整備、オープンスペースの創出 など
- 6 **利便性の高い買い物空間の整備**
(例) 駅周辺などにおける商業・サービス機能の誘導、賑わいのある商店街の形成 など
- 7 **防犯まちづくりの推進**
(例) 街路灯などによる夜間の見通し確保、公園などへの防犯カメラの設置 など
- 8 **地域の特性を生かした景観の形成**
(例) 地形、歴史・文化的資源を生かした景観形成 など
- 9 **災害に強いまちづくりの推進**
(例) 建築物の耐震化・不燃化の推進、狭い道路の拡幅整備、治水・雨水対策 など
- 10 **その他**
()

自由記述

文京区の今後のまちづくりについて、ご意見がありましたらお書きください。

以上で、来訪者調査は終了です。御協力ありがとうございました。

問4 文京区のまちづくりについてお答えください。【○印は3つまで】

(1) 文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。

- 1 **快適に歩ける歩行空間の整備が不十分である**
(例) 歩道が狭く段差がある、坂道に手すりが設置されていない、道路空間において歩行者への配慮が少ない など
- 2 **自転車の利用環境が不十分である**
(例) 自転車レーンの整備が不十分、自転車シェアリングサイクルポートが少ない、駐輪場が少ない など
- 3 **公共交通機関を利用するのに不便である**
(例) コミュニティバスの運行本数が少ない、駅のバリアフリー化が進んでいない、駅周辺の案内サインが不十分である など
- 4 **道路網の整備が不十分である**
(例) 安全で快適な道路空間の整備、街路樹が適切に維持管理されていない など
- 5 **緑や河川、湧水等の自然環境が生されていない**
(例) 安心して休憩できる公園が少ない、建物などの緑化が進んでいない、親水空間の整備が進んでいない、オープンスペースが不足している など
- 6 **買い物するのに不便と感じる**
(例) 商業施設や飲食店が散在している、商店街に活気がない など
- 7 **犯罪への不安がある**
(例) 街路灯が少なく夜間の見通しが確保できない、公園などに防犯カメラが少ない など
- 8 **地域の特性が十分に生かされていない景観となっている**
(例) まち並みに地形、歴史・文化的資源が生かされていないと感じる など
- 9 **災害時の安全性が確保されていない**
(例) 建築物の耐震化・不燃化が進んでいない、狭い道路が多い、治水・雨水への対策が不十分 など
- 10 **その他**
()

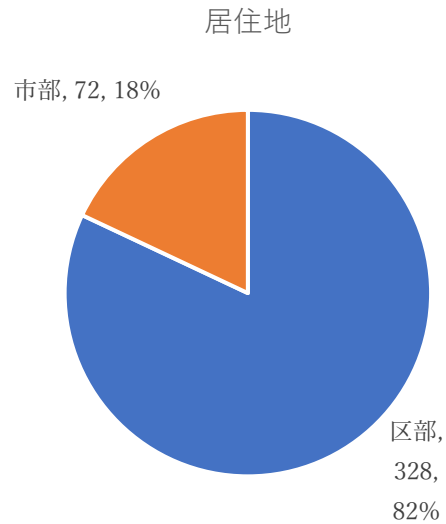
3) アンケート結果

(1) 単純集計

各設問の単純集計の結果は、以下のとおりである。

スクリーニング1：あなたのお住まいの地域をお選びください。(択一回答)

区分	回答	区分	回答
千代田区	3	八王子市	6
中央区	6	立川市	4
港区	5	武蔵野市	3
新宿区	14	三鷹市	5
台東区	11	府中市	6
墨田区	8	昭島市	2
江東区	17	調布市	5
品川区	17	町田市	8
目黒区	13	小平市	4
大田区	26	日野市	3
世田谷区	28	東村山市	2
渋谷区	9	国分寺市	3
中野区	16	国立市	3
杉並区	21	福生市	1
豊島区	23	狛江市	2
北区	15	東大和市	3
荒川区	7	清瀬市	1
板橋区	20	東久留米市	2
練馬区	16	武蔵村山市	2
足立区	22	多摩市	2
葛飾区	15	西東京市	5
江戸川区	16	市部合計	72
区部合計	328		
隣接6区	73		

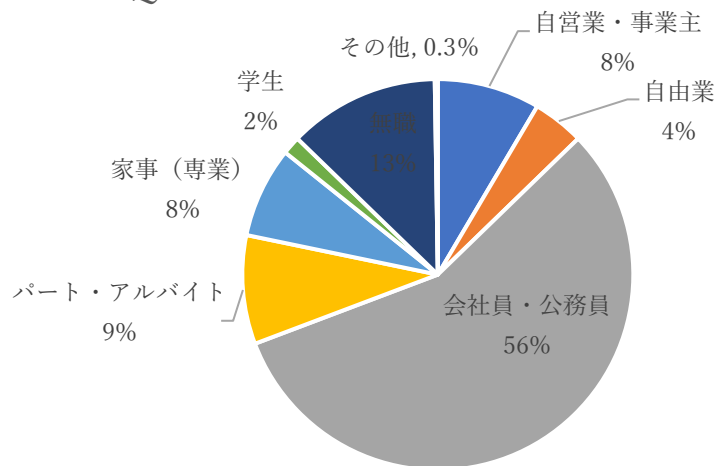


- ・区部の回答が8割以上であった。
- ・隣接6区（千代田区、新宿区、台東区、豊島区、北区及び荒川区）の回答は18.3%（73件）であった。

問1：あなたのご職業をお答えください。(択一回答)

区分	回答数	割合
自営業・事業主	34	8.5%
自由業	17	4.3%
会社員・公務員	226	56.5%
パート・アルバイト	36	9.0%
家事(専門)	30	7.5%
学生	6	1.5%
無職	50	12.5%
その他	1	0.3%
総計	400	100%

Q1.あなたのご職業をお答えください



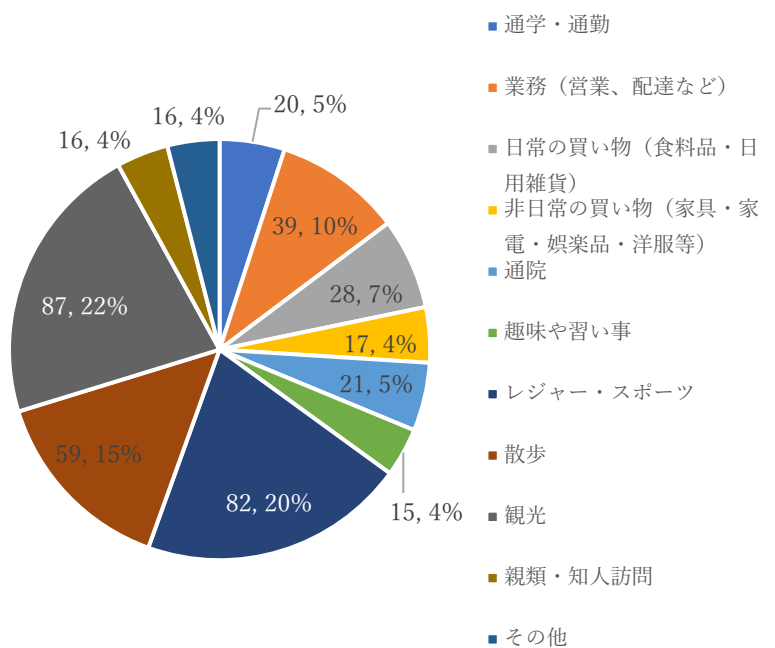
・「会社員・公務員」が56.5%と最も多く、「無職」(12.5%)、「パート・アルバイト」(9.0%)が続いている。

問2. あなたが文京区に来訪した時の行動についてお答えください。

問2-1：文京区を訪れる主な目的は何ですか。(択一回答)

区分	回答数	割合
通学・通勤	20	5.0%
業務(営業、配達など)	39	9.8%
日常の買い物(食料品・日用雑貨)	28	7.0%
非日常の買い物(家具・家電・娯楽品・洋服等)	17	4.3%
通院	21	5.3%
趣味や習い事	15	3.8%
レジャー・スポーツ	82	20.5%
散歩	59	14.8%
観光	87	21.8%
親類・知人訪問	16	4.0%
その他	16	4.0%
総計	400	100%

Q2-1.文京区を訪れる主な目的は何ですか

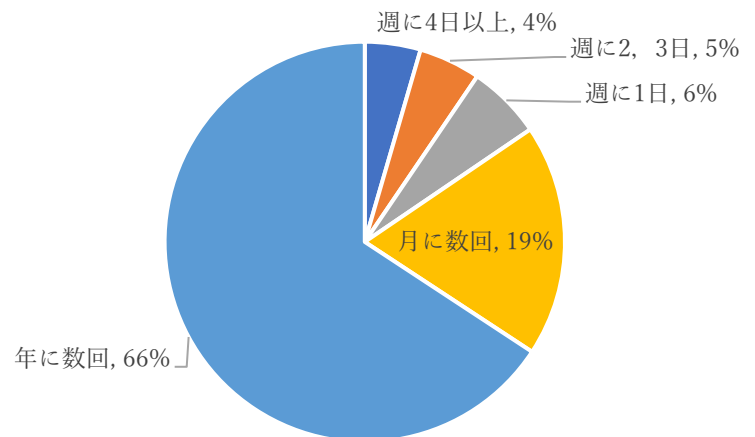


・「観光」が21.8%と最も多く、「レジャー・スポーツ」(20.5%)、「散歩」(14.8%)が続いている。
 ・「その他」は墓参り等が挙げられた。

問2-2：文京区を訪れる頻度をお答えください。(択一回答)

区分	回答数	割合
週に4日以上	18	4.5%
週に2, 3日	20	5.0%
週に1日	24	6.0%
月に数回	75	18.8%
年に数回	263	65.8%
総計	400	100%

Q2-2.文京区を訪れる頻度をお答えください

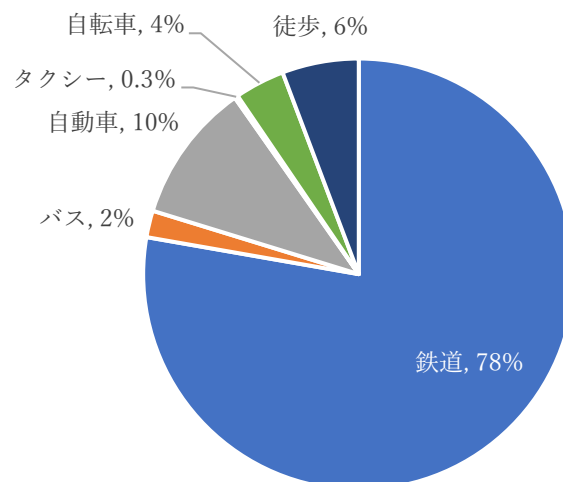


・「年に数回」が65.8%と最も多く、次に「月に数回」(18.8%)が続く。週に1日以上訪れる人は、全体の13.5%である。

問2-3：文京区を訪れる時の主に利用する交通手段をお答えください。(択一回答)

区分	回答数	割合
鉄道	311	77.8%
バス	8	2.0%
自動車	42	10.5%
タクシー	1	0.3%
バイク	0	0%
自転車	15	3.8%
徒歩	23	5.8%
総計	400	100.0%

Q2-3.文京区を訪れる時の主に利用する交通手段をお答えください



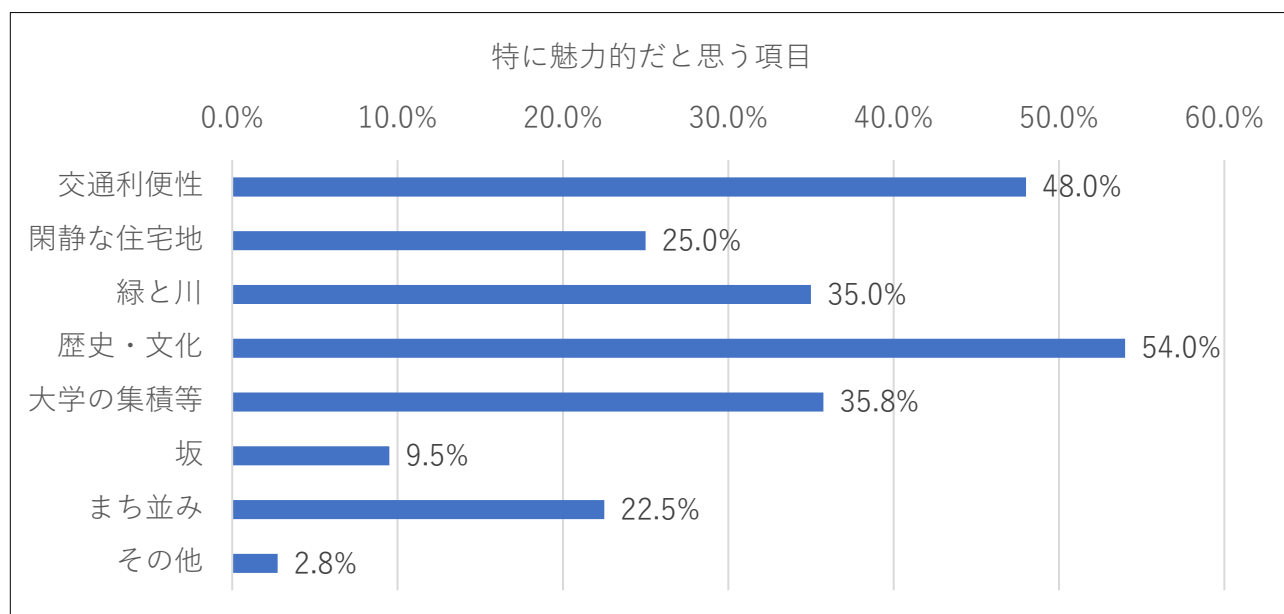
・「鉄道」が77.8%と最も多く、「自動車」(10.5%)、「徒歩」(5.8%)が続いている。

問3. 文京区の魅力についてお答えください。

問3-1: 文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。(複数回答)

区分	回答数	割合
交通利便性	192	48.0%
閑静な住宅地	100	25.0%
緑と川	140	35.0%
歴史・文化	216	54.0%
大学の集積・教育機関、医療機関	143	35.8%
坂	38	9.5%
まち並み	90	22.5%
その他	11	2.8%

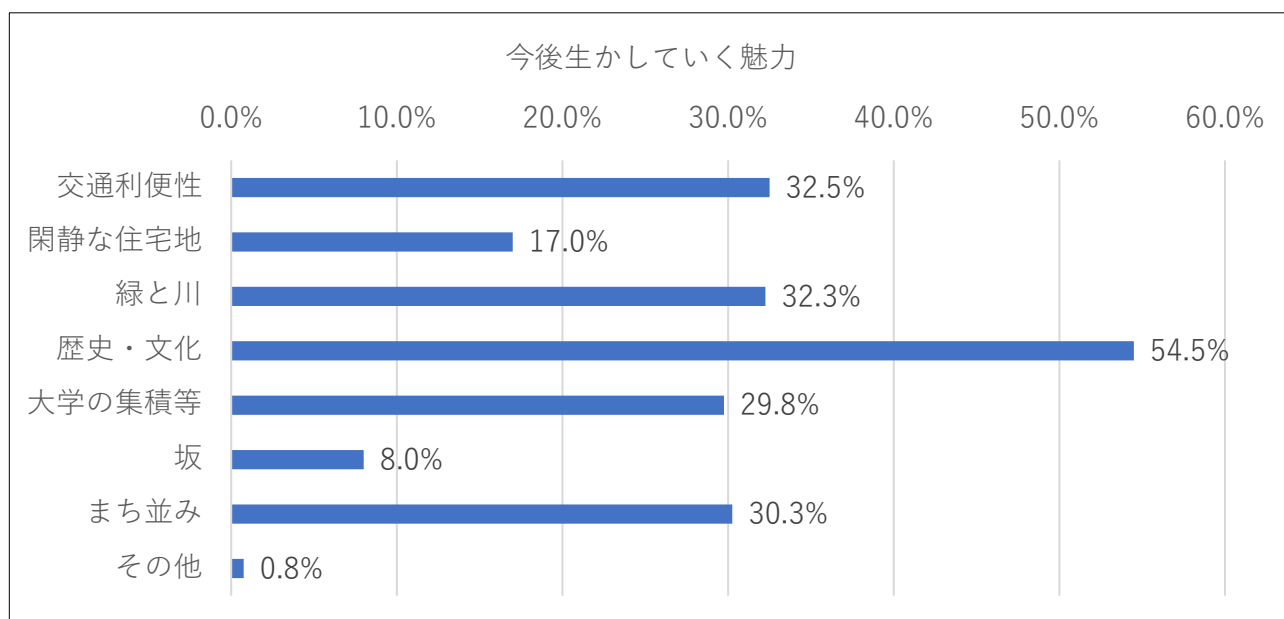
- ・「歴史・文化」が54.0%と最も多く、「交通利便性」(48.0%)、「大学の集積・教育機関、医療機関」(35.8%)が続いている。
- ・「その他」は「東京ドーム」(5件)、「レジャー・商業施設」(4件)等が挙げられた。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（複数回答）

区分	回答数	割合
交通利便性	130	32.5%
閑静な住宅地	68	17.0%
緑と川	129	32.3%
歴史・文化	218	54.5%
大学の集積・教育機関、医療機関	119	29.8%
坂	32	8.0%
まち並み	121	30.3%
新たな魅力の創出が必要	3	0.8%

- ・「歴史・文化」が 54.5%と最も多く、「交通利便性」（32.5%）、「緑と川」（32.3%）、「まち並み」（30.3%）が続いている。
- ・「その他」は、「福祉」や「娯楽、商業施設の誘致」等の回答があった。
- ・「歴史・文化」は、特に魅力的な項目として認識され、さらに伸ばしてほしい魅力ともなっている。
- ・「まち並み」は、魅力として 22.5%の回答だが、今後の生かすべき項目として 30.3%となっており、「歴史・文化」とともに現状の魅力よりも今後の期待が大きい。

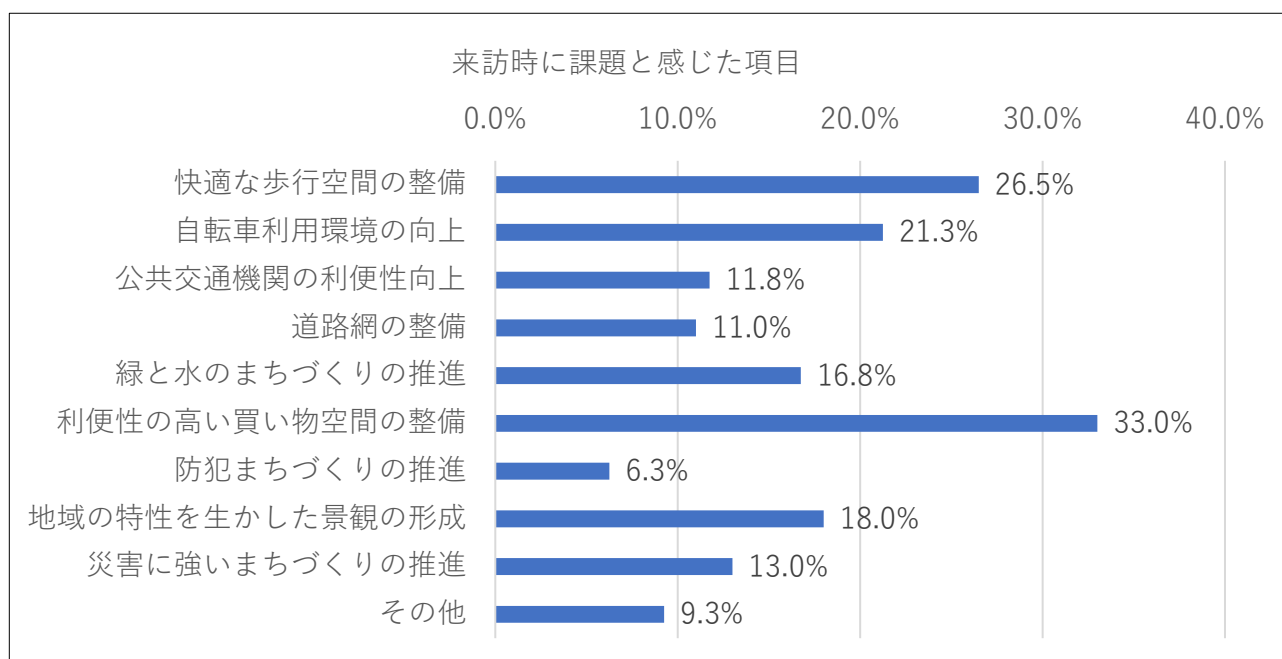


問4. 文京区のまちづくりについてお答えください。

問4-1: 文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。(複数回答)

区分	回答数	割合
快適な歩行空間の整備	106	26.5%
自転車利用環境の向上	85	21.3%
公共交通機関の利便性向上	47	11.8%
道路網の整備	44	11.0%
緑と水のまちづくりの推進	67	16.8%
利便性の高い買い物空間の整備	132	33.0%
防犯まちづくりの推進	25	6.3%
地域の特性を生かした景観の形成	72	18.0%
災害に強いまちづくりの推進	52	13.0%
その他	37	9.3%

- ・「利便性の高い買い物空間の整備」が33.0%と最も多く、「快適な歩行空間の整備」(26.5%)、「自転車利用環境の向上」(21.3%)が続いている。
- ・「その他」は、「休日の駐車場の混雑」や「坂が多い」等が挙げられた。



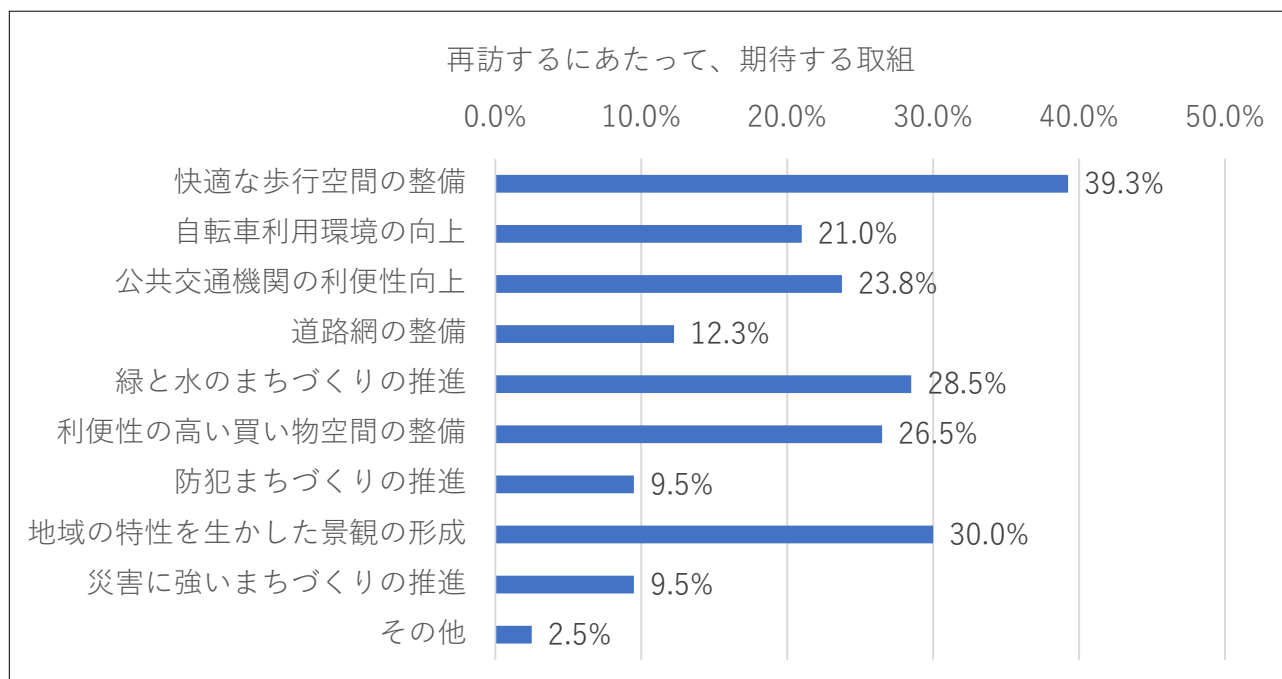
問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（複数回答）

区分	回答数	割合
快適な歩行空間の整備	157	39.3%
自転車利用環境の向上	84	21.0%
公共交通機関の利便性向上	95	23.8%
道路網の整備	49	12.3%
緑と水のまちづくりの推進	114	28.5%
利便性の高い買い物空間の整備	106	26.5%
防犯まちづくりの推進	38	9.5%
地域の特性を生かした景観の形成	120	30.0%
災害に強いまちづくりの推進	38	9.5%
その他	10	2.5%

- ・「快適な歩行空間の整備」が 39.3%と最も多く、「地域の特性を生かした景観の形成」(30.0%)、「緑と水のまちづくりの推進」(28.5%)が続いている。
- ・「その他」は、「駐車場数と駐車可能台数の増加」等が挙げられた。

課題と感ずる項目（問4-1）と期待する取組（問4-2）を比較すると、

- ・「利便性の高い買い物空間の整備」は課題と感ずている一方で、期待する取組では多くない。
- ・「快適な歩行空間の整備」は課題と感ず、期待もしている。
- ・「地域の特性を生かした景観の形成」や「緑と水のまちづくりの推進」は課題と感ずていないが、期待している回答が多くなっている。



問5：文京区の今後のまちづくりについて、ご意見がありましたらお書きください。（自由記述）

分類	件数
快適な歩行空間の整備に関して	9
自転車利用環境の向上に関して	2
公共交通機関の利便性向上に関して	5
道路網の整備に関して	3
緑と水のまちづくりの推進に関して	11
防犯まちづくりの推進に関して	4
地域の特性を生かした景観の形成に関して	9
歴史・文化を生かしたまちづくりに関して	13
移動・ネットワーク	5
情報・魅力の発信	13
大学の集積を生かしたまちづくり	4
娯楽・サービス施設の充実	5
まちの印象・イメージ	14
現状の取組内容で良い	15
その他	10

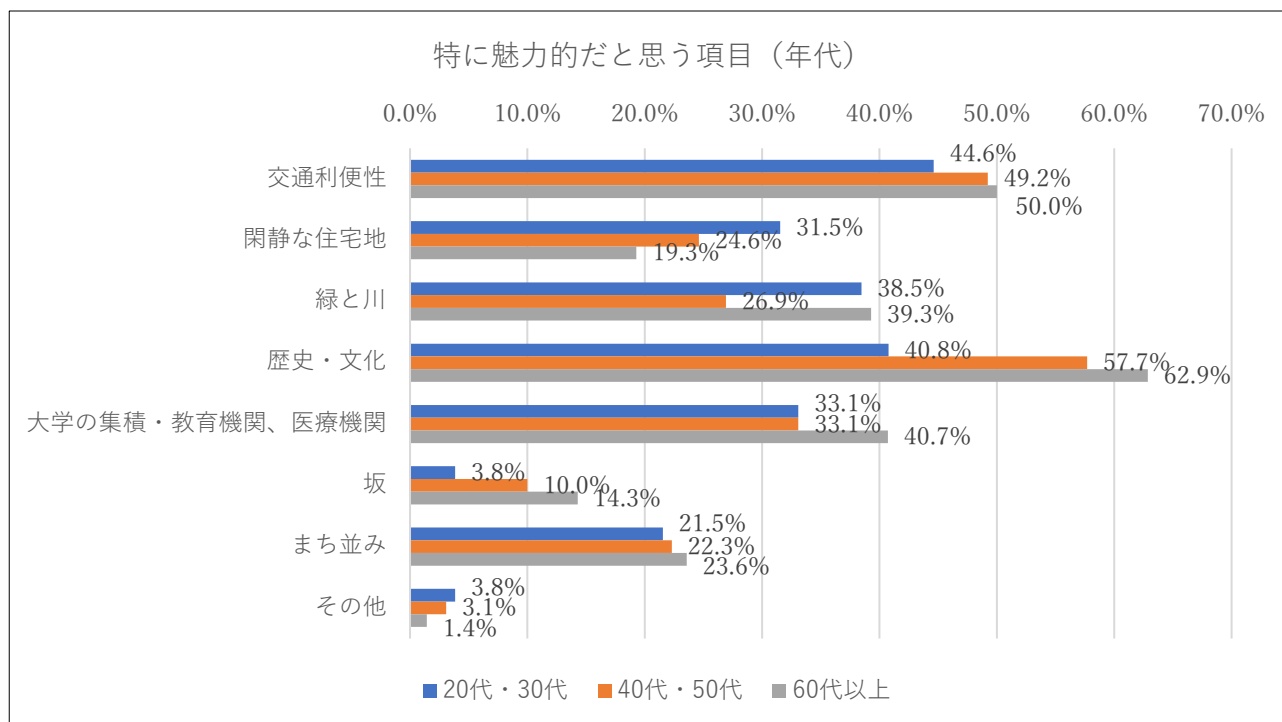
- ・まちづくりに関する意見においては、歴史・文化を生かしたまちづくりと情報・魅力の発信に関する意見が最も多く、次いで緑と水のまちづくりの推進に関する意見が多くなっている。

(2) 問3、問4のクロス集計（年代・居住地・隣接6区・来訪目的・来訪頻度・来訪手段）

問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（年代）

区分	20代・30代	40代・50代	60代以上
交通利便性	58 44.6%	64 49.2%	70 50.0%
閑静な住宅地	41 31.5%	32 24.6%	27 19.3%
緑と川	50 38.5%	35 26.9%	55 39.3%
歴史・文化	53 40.8%	75 57.7%	88 62.9%
大学の集積・教育機関、医療機関	43 33.1%	43 33.1%	57 40.7%
坂	5 3.8%	13 10.0%	20 14.3%
まち並み	28 21.5%	29 22.3%	33 23.6%
その他	5 3.8%	4 3.1%	2 1.4%

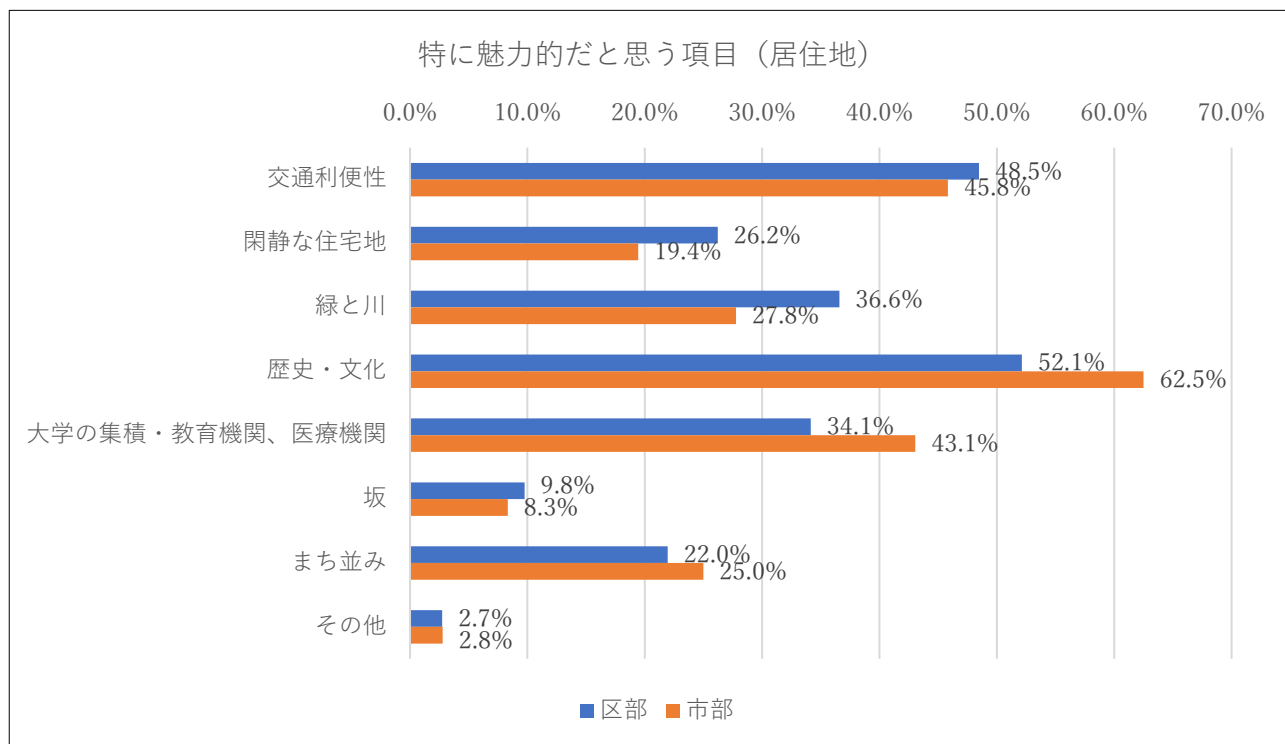
- ・「20代・30代」は、「交通利便性」、「歴史・文化」の順、「40代・50代」及び「60代以上」は、「歴史・文化」、「交通利便性」の順で回答が多くなっている。
- ・「20代・30代」は3番目に「緑と川」、「40代・50代」「60代以上」は、「大学の集積」が多くなっている。



問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（居住地）

区分	区部	市部
交通利便性	159 48.5%	33 45.8%
閑静な住宅地	86 26.2%	14 19.4%
緑と川	120 36.6%	20 27.8%
歴史・文化	171 52.1%	45 62.5%
大学の集積・教育機関、医療機関	112 34.1%	31 43.1%
坂	32 9.8%	6 8.3%
まち並み	72 22.0%	18 25.0%
その他	9 2.7%	2 2.8%

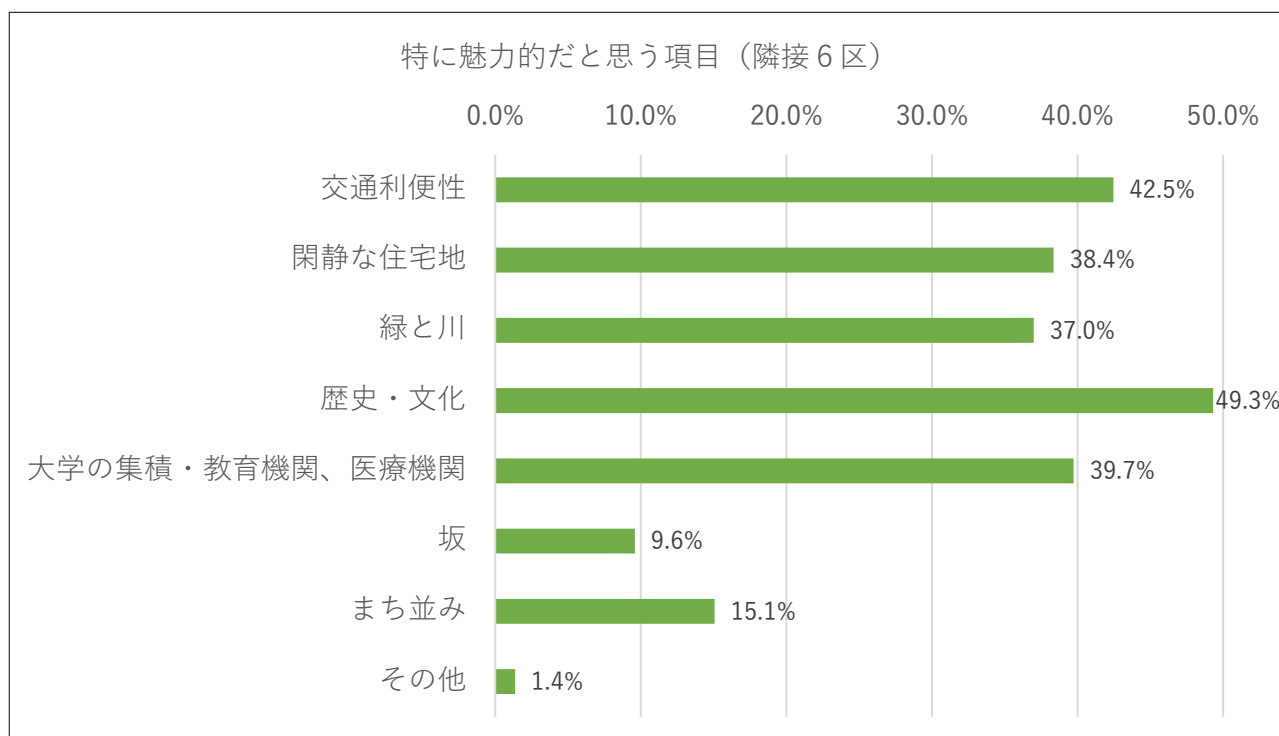
・区部と市部ともに、「歴史・文化」、「交通利便性」の順で回答が多くなっている。区部では、次に「緑と川」（36.6%）の回答が多いが、市部では、「大学の集積」（43.1%）が多くなっている。



問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（隣接6区）

区分	隣接6区
交通利便性	31 42.5%
閑静な住宅地	28 38.4%
緑と川	27 37.0%
歴史・文化	36 49.3%
大学の集積・教育機関、医療機関	29 39.7%
坂	7 9.6%
まち並み	11 15.1%
その他	1 1.4%

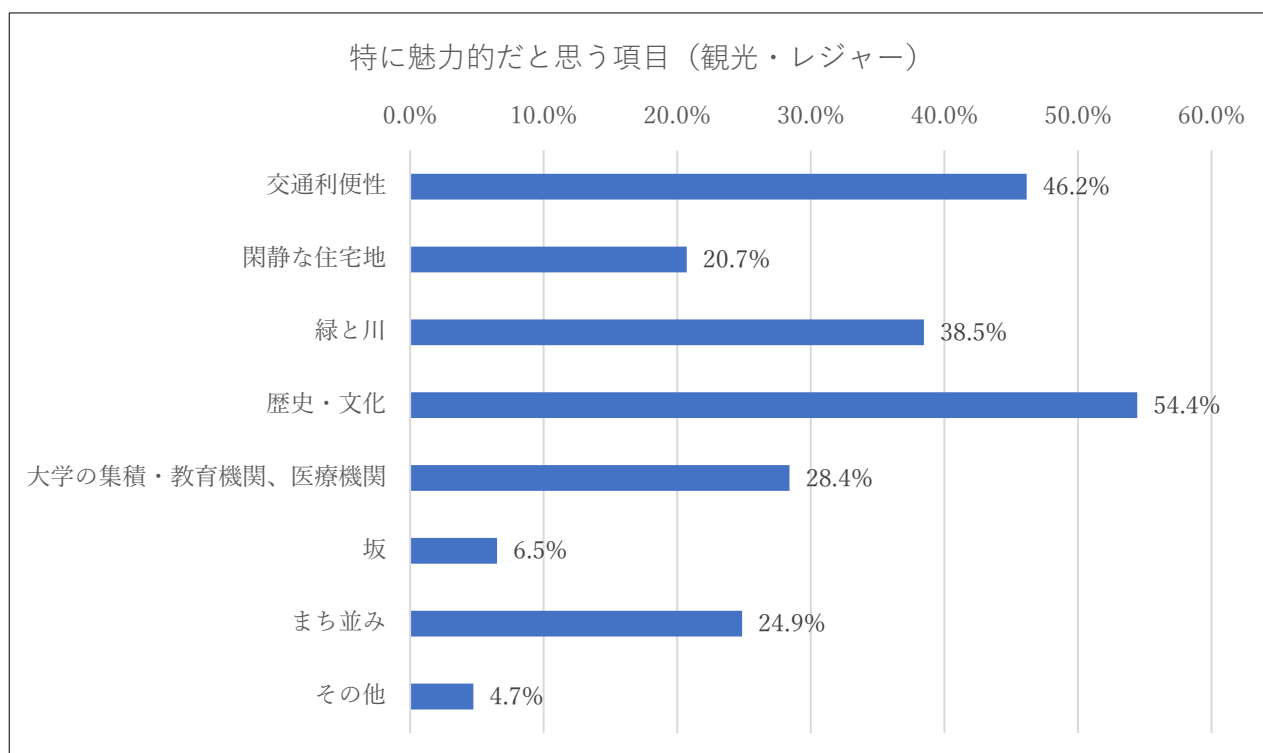
- ・隣接6区では、「歴史・文化」が49.3%と最も多く、次いで「交通利便性」（42.5%）、「大学の集積」（39.7%）、「閑静な住宅地」（38.4%）、「緑と川」（37.0%）、が続いている。
- ・全体と比較すると、「閑静な住宅地」や「緑と川」の割合が多い一方で、「まち並み」の割合が少ない。



問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（来訪目的（観光・レジャー））

区分	観光・レジャー
交通利便性	78 46.2%
閑静な住宅地	35 20.7%
緑と川	65 38.5%
歴史・文化	92 54.4%
大学の集積・教育機関、医療機関	48 28.4%
坂	11 6.5%
まち並み	42 24.9%
その他	8 4.7%

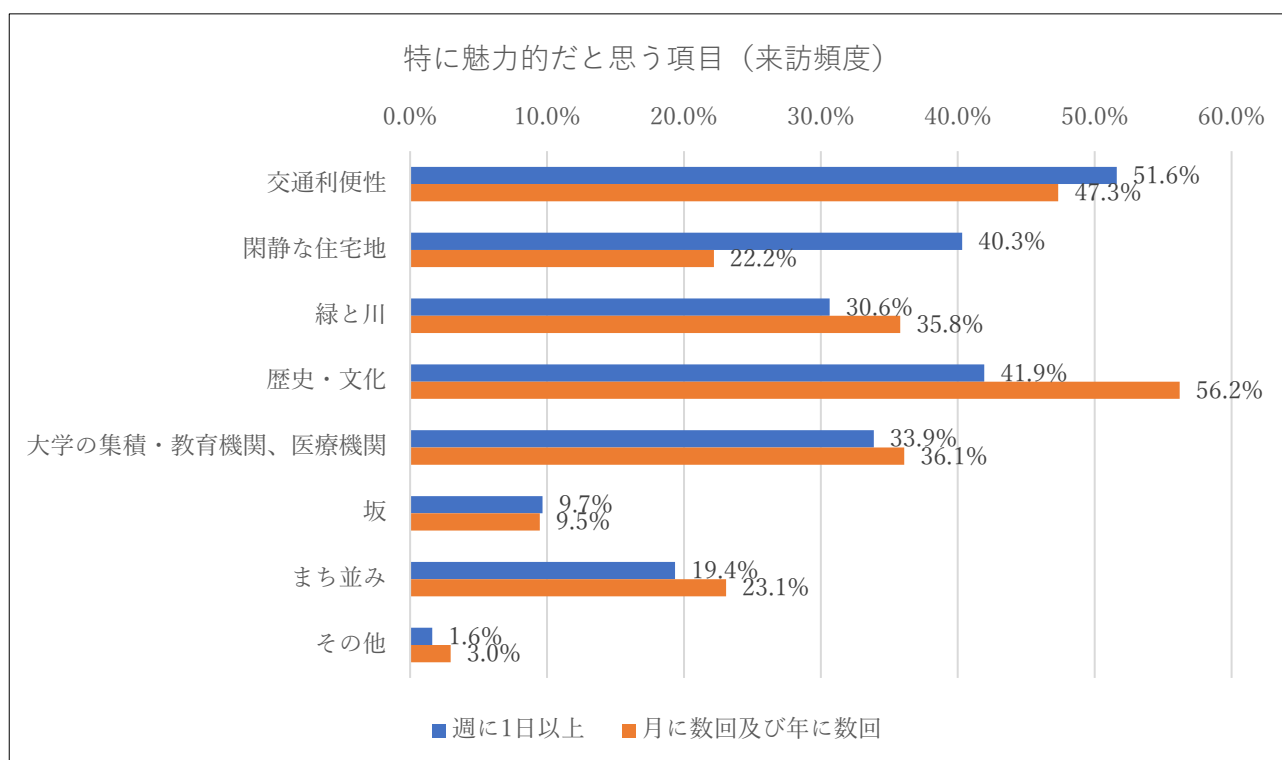
- ・観光・レジャーでは、「歴史・文化」が54.4%と最も多く、次いで「交通利便性」（46.2%）、「緑と川」（38.5%）、「大学の集積」（28.4%）が続いている。
- ・全体と比較すると、上位2つは変わらないが、「緑と川」が魅力として認識されている。



問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいうべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（来訪頻度）

区分	週に1日以上	月に数回または年に数回
交通利便性	32 51.6%	160 47.3%
閑静な住宅地	25 40.3%	75 22.2%
緑と川	19 30.6%	121 35.8%
歴史・文化	26 41.9%	190 56.2%
大学の集積・教育機関、医療機関	21 33.9%	122 36.1%
坂	6 9.7%	32 9.5%
まち並み	12 19.4%	78 23.1%
その他	1 1.6%	10 3.0%

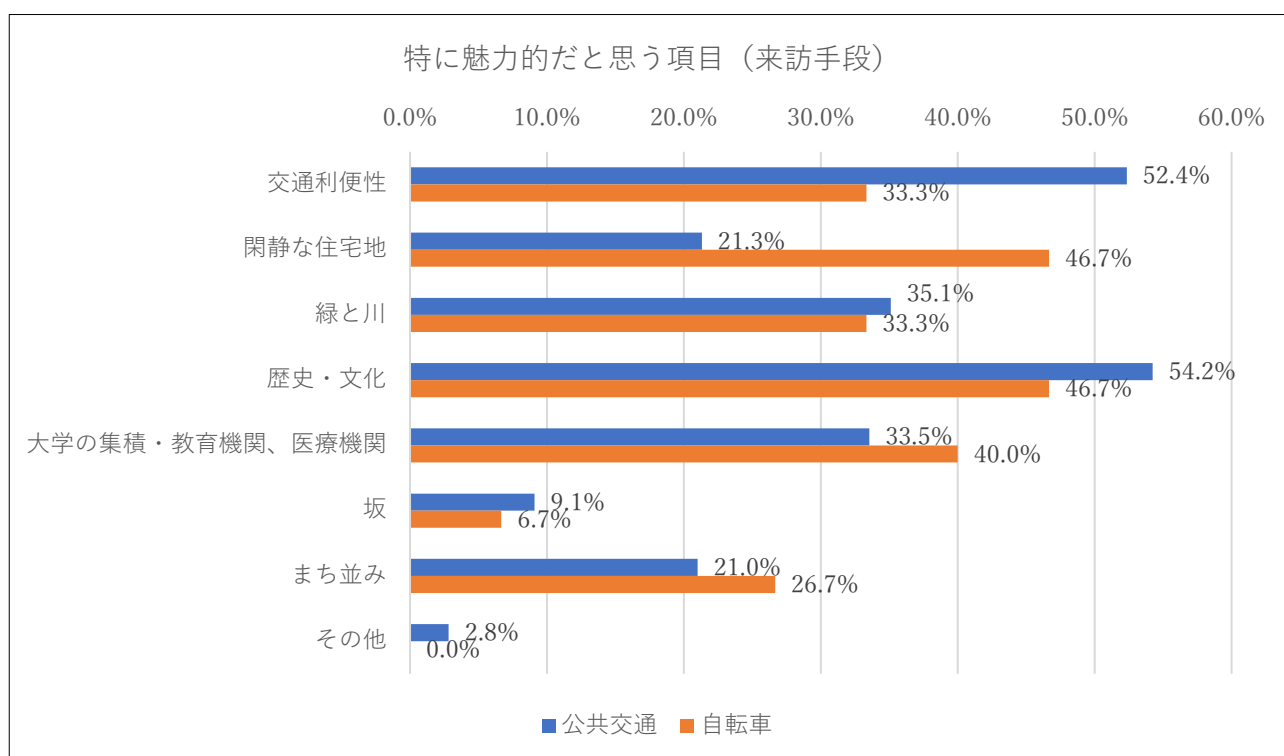
- ・来訪頻度では、月に数回または年に数回訪れる人にとっては「歴史・文化」（56.2%）、週に1日以上訪れる人にとっては「交通利便性」（51.6%）が最も多くなっている。
- ・「閑静な住宅地」は週に1日以上訪れる人にとっては魅力的（40.3%）であるが、月に数回または年に数回訪れる人にとってはあまり魅力として認識されていない（22.2%）。



問3-1：文京区には様々な魅力要素があります。特に文京区の個性ともいえるべき特徴的な魅力のうち、あなたが魅力的だと思う項目についてお答えください。（来訪手段）

区分	公共交通（鉄道及びバス）	自転車
交通利便性	167 52.4%	5 33.3%
閑静な住宅地	68 21.3%	7 46.7%
緑と川	112 35.1%	5 33.3%
歴史・文化	173 54.2%	7 46.7%
大学の集積・教育機関、医療機関	107 33.5%	6 40.0%
坂	29 9.1%	1 6.7%
まち並み	67 21.0%	4 26.7%
その他	9 2.8%	0 0.0%

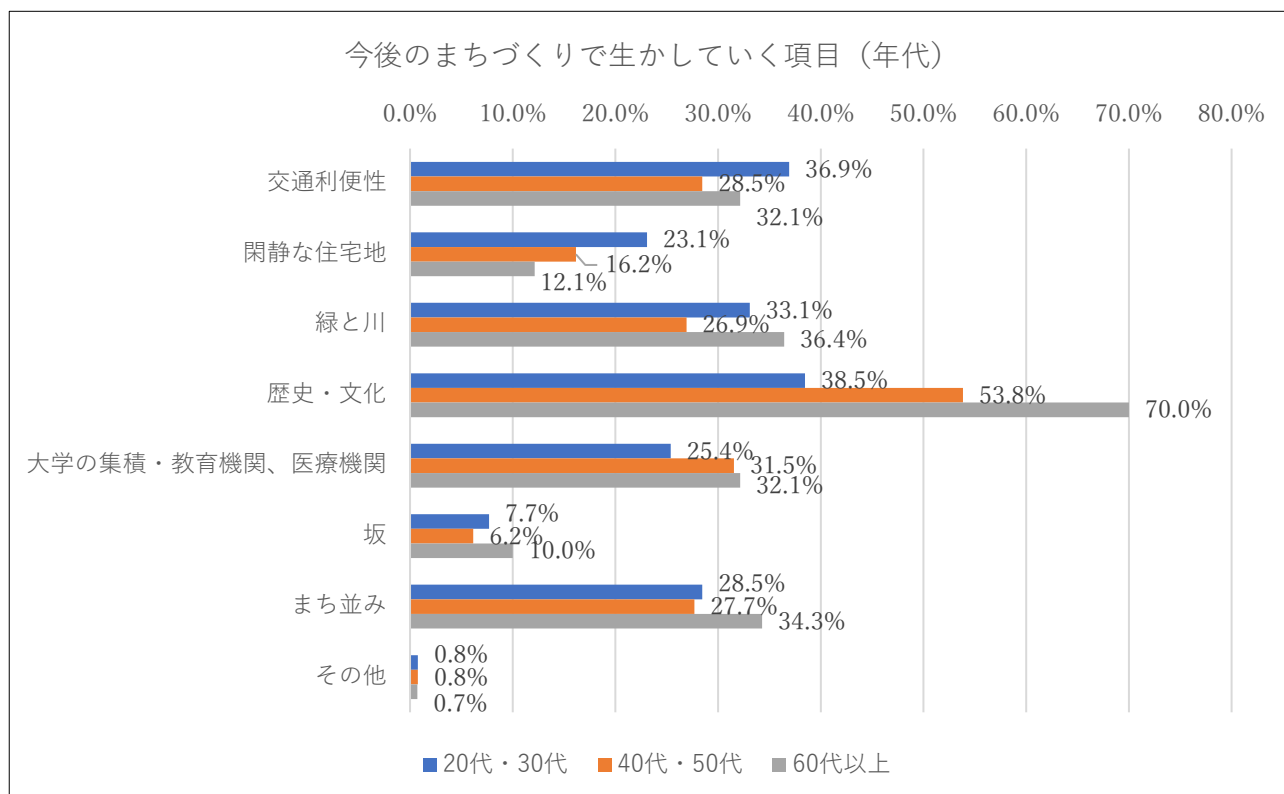
- ・来訪手段では、公共交通、自転車を利用する人ともに「歴史・文化」（それぞれ 54.2%、46.7%）を特に魅力的だと思う項目として挙げている。
- ・自転車を利用する人は「閑静な住宅地」（46.7%）を魅力としている一方で、公共交通の利用者はその半分以下（21.3%）となっている。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（年代）

区分	20代・30代	40代・50代	60代以上
交通利便性	48 36.9%	37 28.5%	45 32.1%
閑静な住宅地	30 23.1%	21 16.2%	17 12.1%
緑と川	43 33.1%	35 26.9%	51 36.4%
歴史・文化	50 38.5%	70 53.8%	98 70.0%
大学の集積・教育機関、医療機関	33 25.4%	41 31.5%	45 32.1%
坂	10 7.7%	8 6.2%	14 10.0%
まち並み	37 28.5%	36 27.7%	48 34.3%
その他	1 0.8%	1 0.8%	1 0.7%

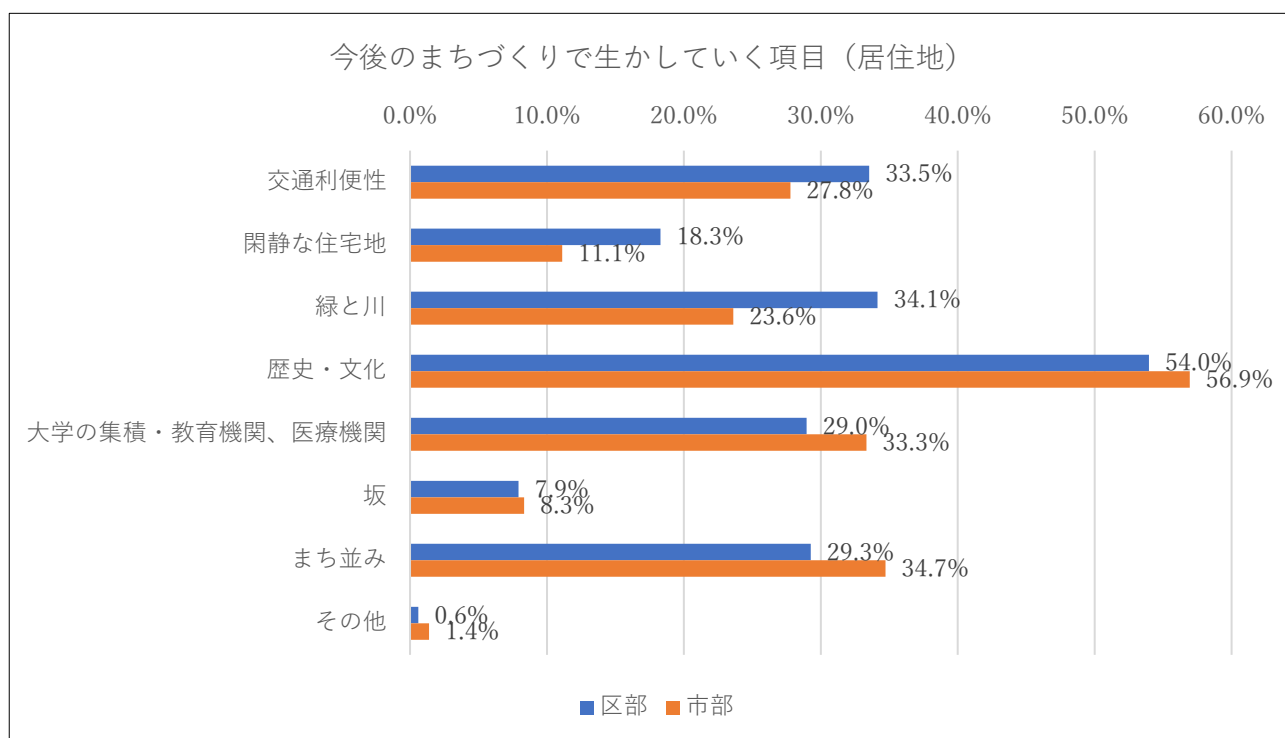
・どの年代においても「歴史・文化」が最も多い。次いで、20代・30代では「交通利便性」(36.9%)、40代・50代では「大学の集積」(31.5%)、60代以上は「緑と川」(36.4%)が多くなっている。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（居住地）

区分	区部	市部
交通利便性	110 33.5%	20 27.8%
閑静な住宅地	60 18.3%	8 11.1%
緑と川	112 34.1%	17 23.6%
歴史・文化	177 54.0%	41 56.9%
大学の集積・教育機関、医療機関	95 29.0%	24 33.3%
坂	26 7.9%	6 8.3%
まち並み	96 29.3%	25 34.7%
その他	2 0.6%	1 1.4%

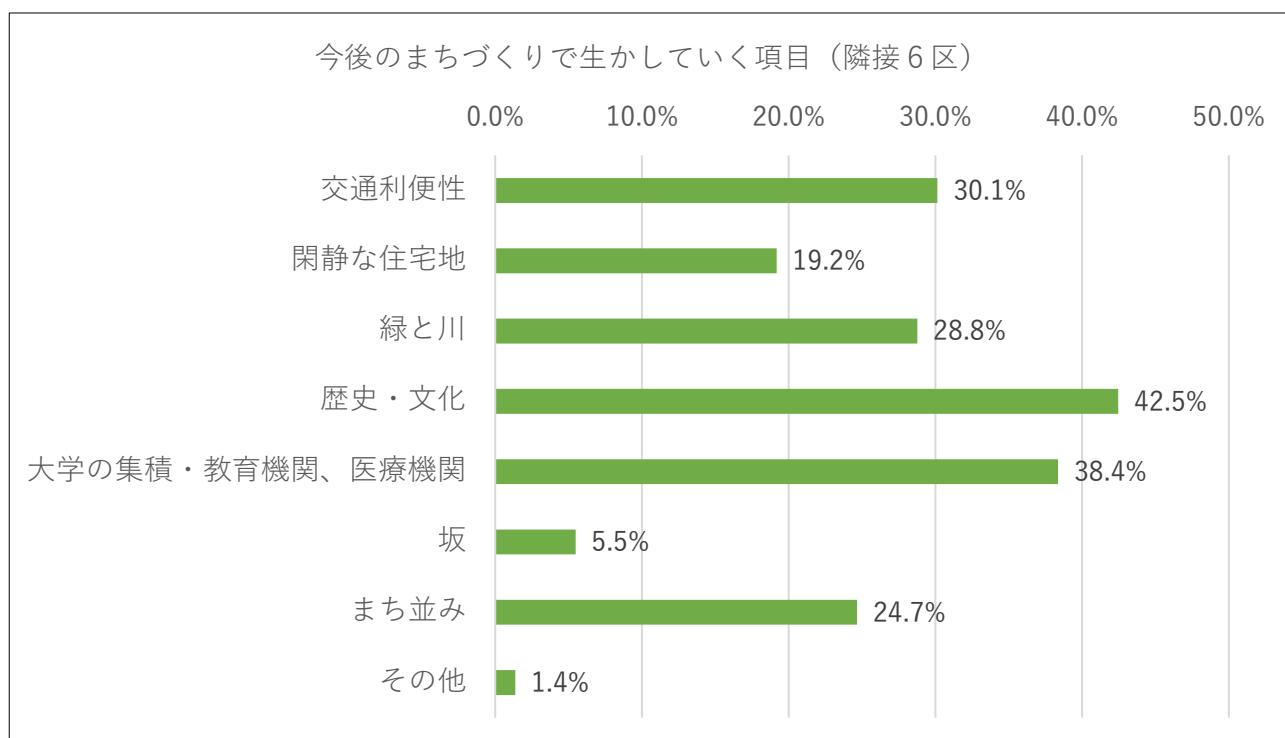
- ・区部と市部ともに「歴史・文化」（それぞれ 54%、56.9%）が最も多い。次いで、区部では「緑と川」（34.1%）、市部では「まち並み」（29.3%）が多くなっている。
- ・全体と比較すると、市部では、「大学の集積」や「まち並み」の割合が多い一方で、「閑静な住宅地」や「緑と川」の割合が少なくなっている。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（隣接6区）

区分	隣接6区
交通利便性	22 30.1%
閑静な住宅地	14 19.2%
緑と川	21 28.8%
歴史・文化	31 42.5%
大学の集積・教育機関、医療機関	28 38.4%
坂	4 5.5%
まち並み	18 24.7%
その他	1 1.4%

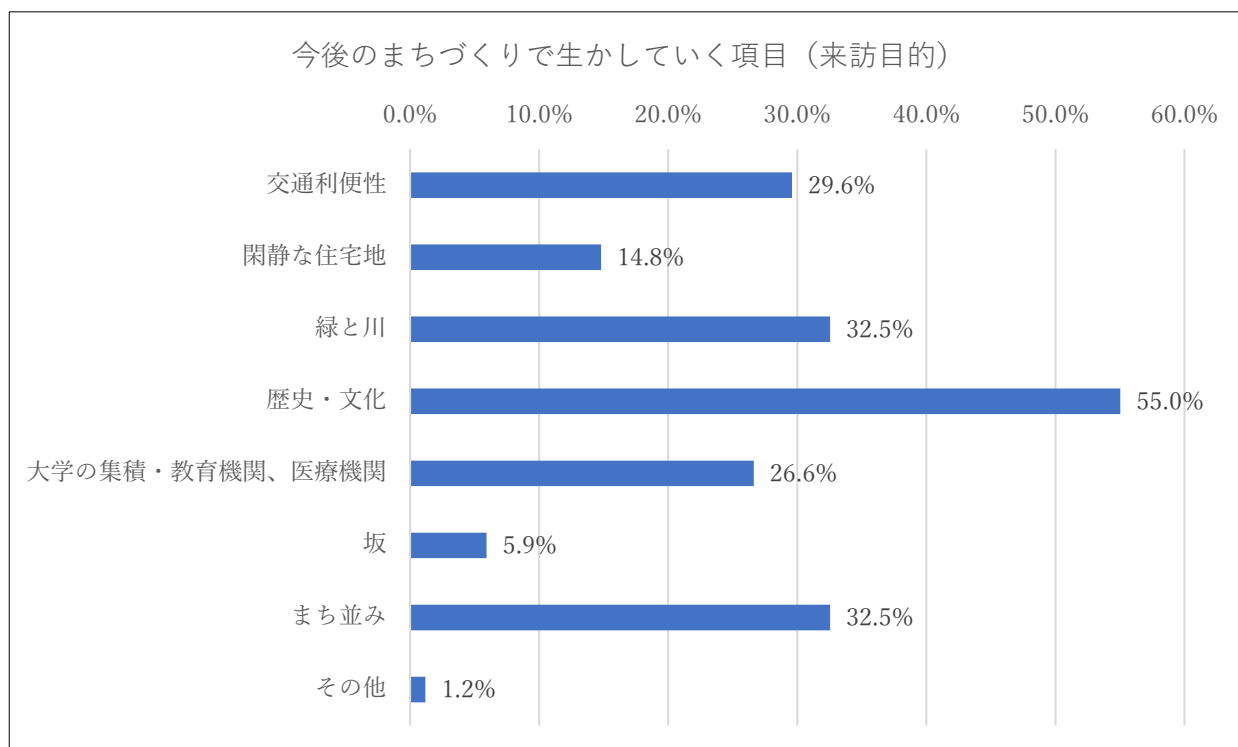
- ・隣接6区では「歴史・文化」が42.5%と最も多く、次に「大学の集積等」（38.4%）、「交通利便性」（30.1%）、「緑と川」（28.8%）、「まち並み」（24.7%）が続いている。
- ・全体と比較すると、「大学の集積等」の割合が多く、「歴史・文化」の割合が少ない傾向にある。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（来訪目的（観光・レジャー））

区分	観光・レジャー
交通利便性	50 29.6%
閑静な住宅地	25 14.8%
緑と川	55 32.5%
歴史・文化	93 55.0%
大学の集積・教育機関、医療機関	45 26.6%
坂	10 5.9%
まち並み	55 32.5%
その他	2 1.2%

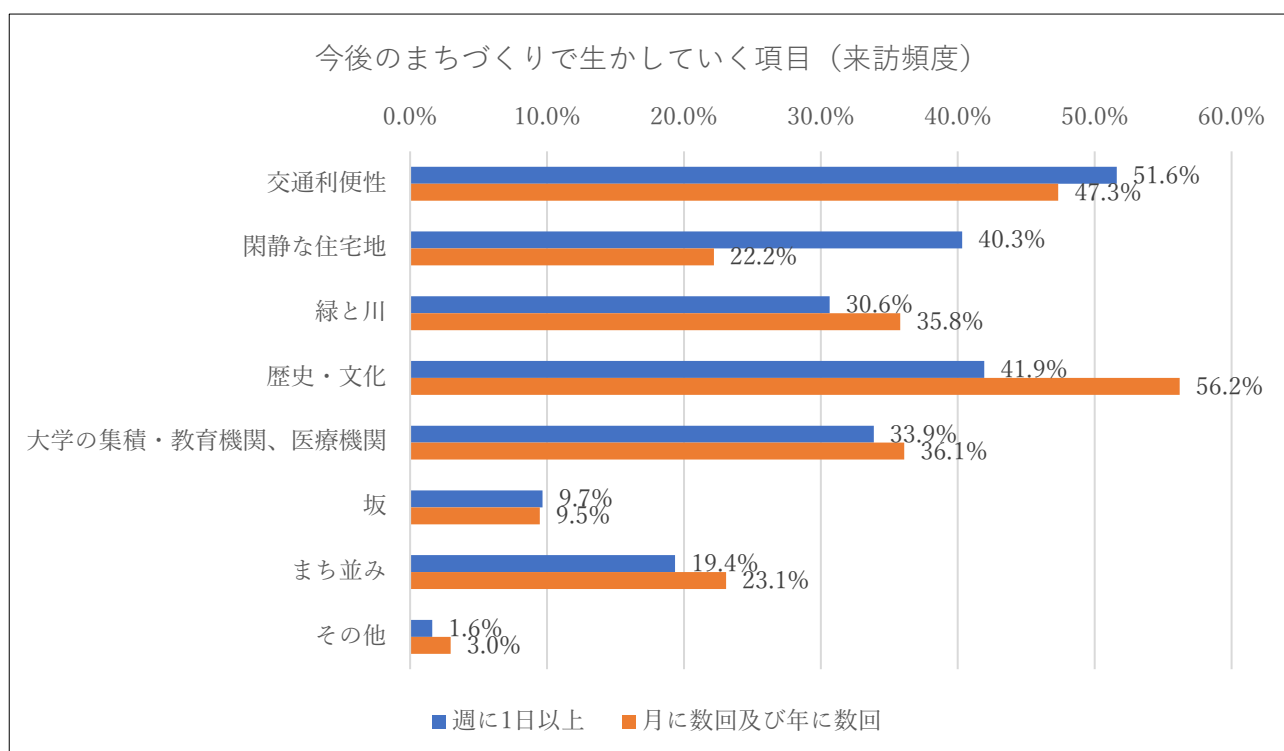
・来訪目的では「歴史・文化」が55%と最も多く、次いで「緑と川」と「まち並み」(32.5%)、「交通利便性」(29.6%)が続いている。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（来訪頻度）

区分	週に1日以上	月に数回及び年に数回
交通利便性	22 35.5%	108 32.0%
閑静な住宅地	13 21.0%	55 16.3%
緑と川	19 30.6%	110 32.5%
歴史・文化	32 51.6%	186 55.0%
大学の集積・教育機関、医療機関	19 30.6%	100 29.6%
坂	5 8.1%	27 8.0%
まち並み	11 17.7%	110 32.5%
その他	2 3.2%	1 0.3%

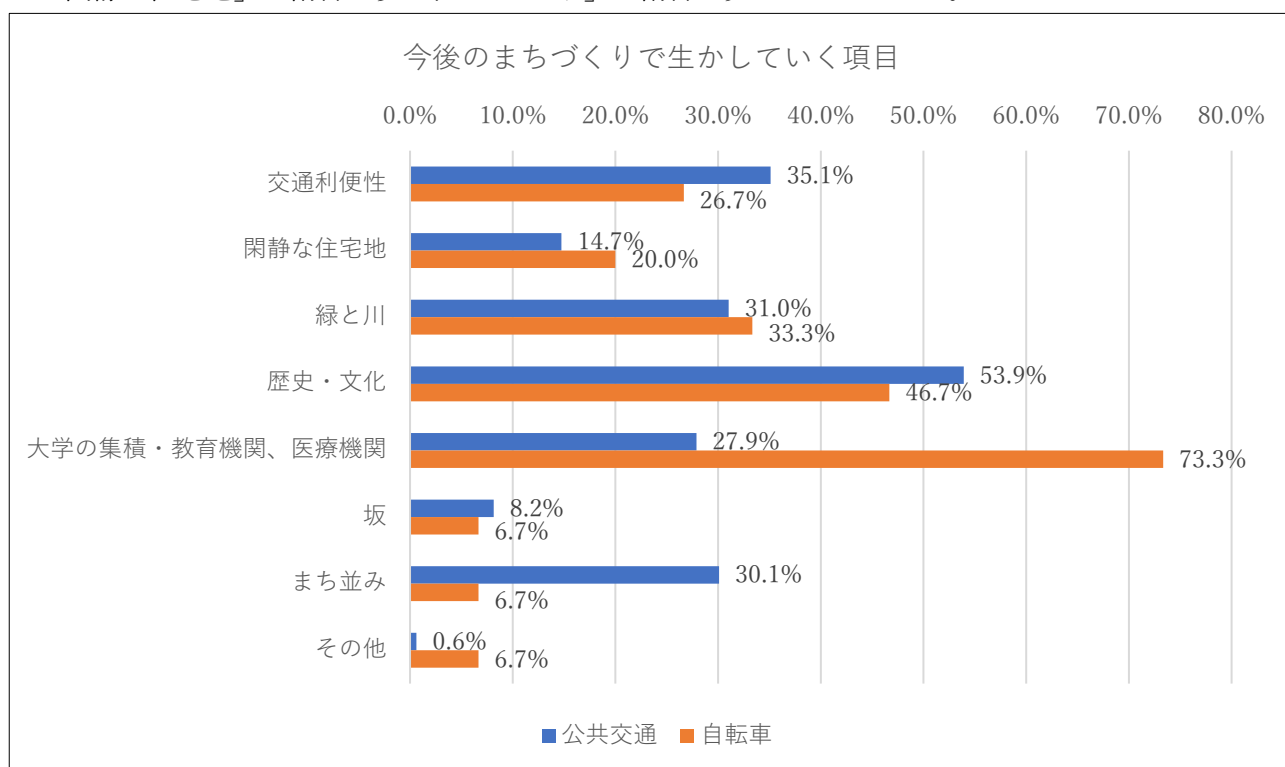
- ・来訪頻度では、月に数回または年に数回訪れる人は「歴史・文化」（56.2%）と回答しているが、週に1日以上訪れる人は「交通利便性」（51.6%）の回答が最も多くなっている。
- ・全体と比較すると、月に数回または年に数回訪れる人は「まち並み」の割合が少ない一方で、「歴史・文化」の割合が若干多くなっている。



問3-2：一層魅力的な文京区としていくため、特にどの魅力を生かしてまちづくりを進めていけばよいと思いますか。（来訪手段）

区分	公共交通（鉄道及びバス）	自転車
交通利便性	112 35.1%	4 26.7%
閑静な住宅地	47 14.7%	3 20.0%
緑と川	99 31.0%	5 33.3%
歴史・文化	172 53.9%	7 46.7%
大学の集積・教育機関、医療機関	89 27.9%	11 73.3%
坂	26 8.2%	1 6.7%
まち並み	96 30.1%	1 6.7%
その他	2 0.6%	1 6.7%

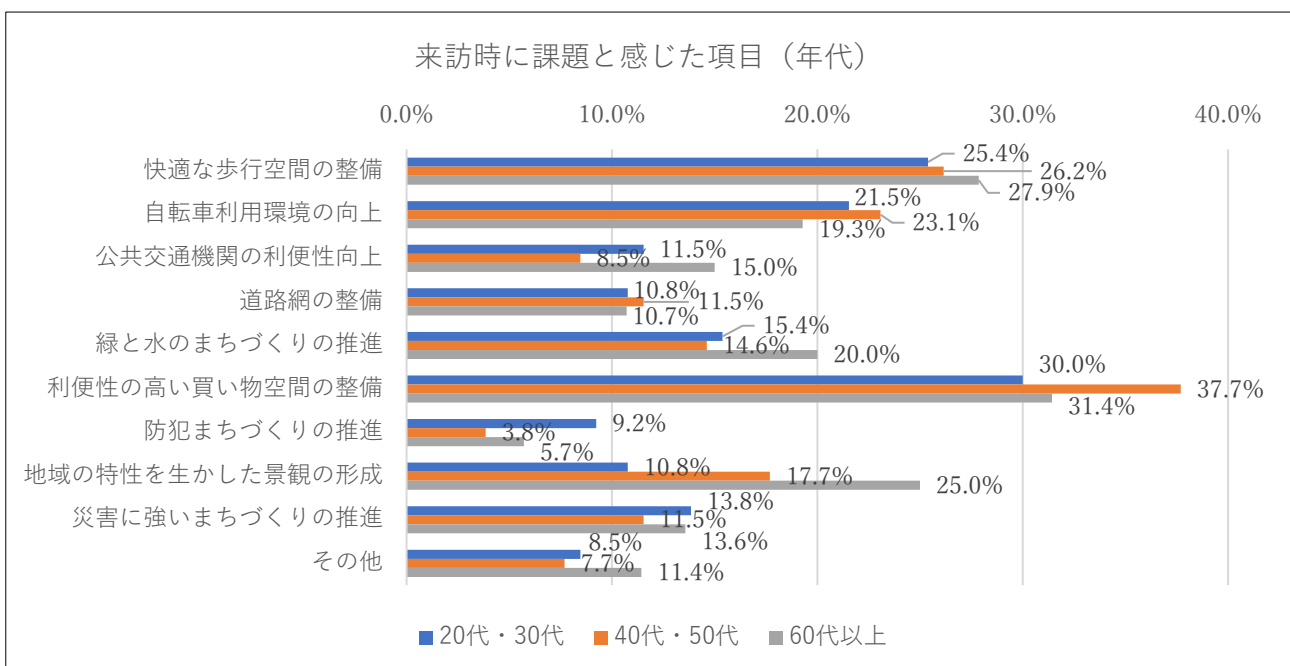
- ・来訪手段では公共交通利用者は「歴史・文化」（53.9%）、自転車利用者は「大学の集積」（73.3%）が最も多くなっている。
- ・全体と比較すると、公共交通利用者は概ね全体と同じであるが、自転車利用者は、「大学の集積」や「閑静な住宅地」の割合が多く、「まち並み」の割合が少なくなっている。



問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。（年代）

区分	20代・30代	40代・50代	60代以上
快適な歩行空間の整備	33 25.4%	34 26.2%	39 27.9%
自転車利用環境の向上	28 21.5%	30 23.1%	27 19.3%
公共交通機関の利便性向上	15 11.5%	11 8.5%	21 15.0%
道路網の整備	14 10.8%	15 11.5%	15 10.7%
緑と水のまちづくりの推進	20 15.4%	19 14.6%	28 20.0%
利便性の高い買い物空間の整備	39 30.0%	49 37.7%	44 31.4%
防犯まちづくりの推進	12 9.2%	5 3.8%	8 5.7%
地域の特性を生かした景観の形成	14 10.8%	23 17.7%	35 25.0%
災害に強いまちづくりの推進	18 13.8%	15 11.5%	19 13.6%
その他	11 8.5%	10 7.7%	16 11.4%

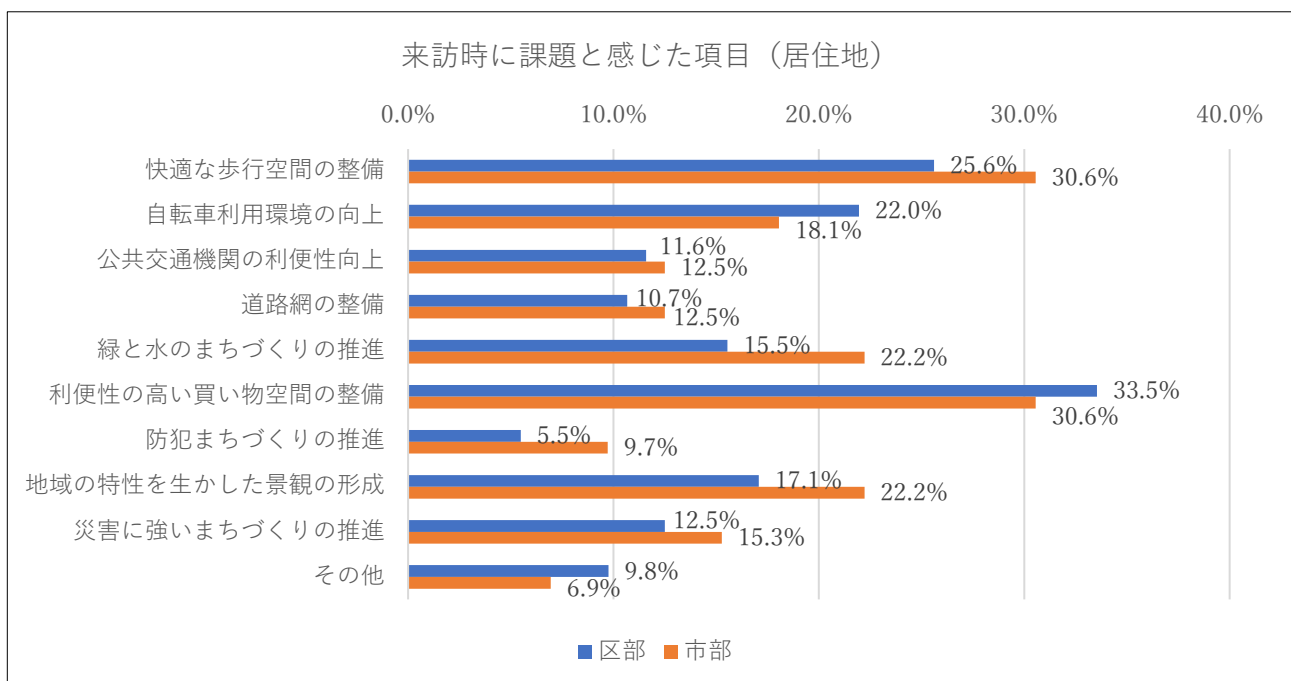
- ・どの年代においても「利便性の高い買い物空間」、「快適な歩行空間」の順で回答が多くなっている。
- ・「20代・30代」と「40代・50代」は、3番目に「自転車利用環境」と回答している一方で、「60代以上」は、「地域の特性を生かした景観」と回答している。



問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。（居住地）

区分	区部	市部
快適な歩行空間の整備	84 25.6%	22 30.6%
自転車利用環境の向上	72 22.0%	13 18.1%
公共交通機関の利便性向上	38 11.6%	9 12.5%
道路網の整備	35 10.7%	9 12.5%
緑と水のまちづくりの推進	51 15.5%	16 22.2%
利便性の高い買い物空間の整備	110 33.5%	22 30.6%
防犯まちづくりの推進	18 5.5%	7 9.7%
地域の特性を生かした景観の形成	56 17.1%	16 22.2%
災害に強いまちづくりの推進	41 12.5%	11 15.3%
その他	32 9.8%	5 6.9%

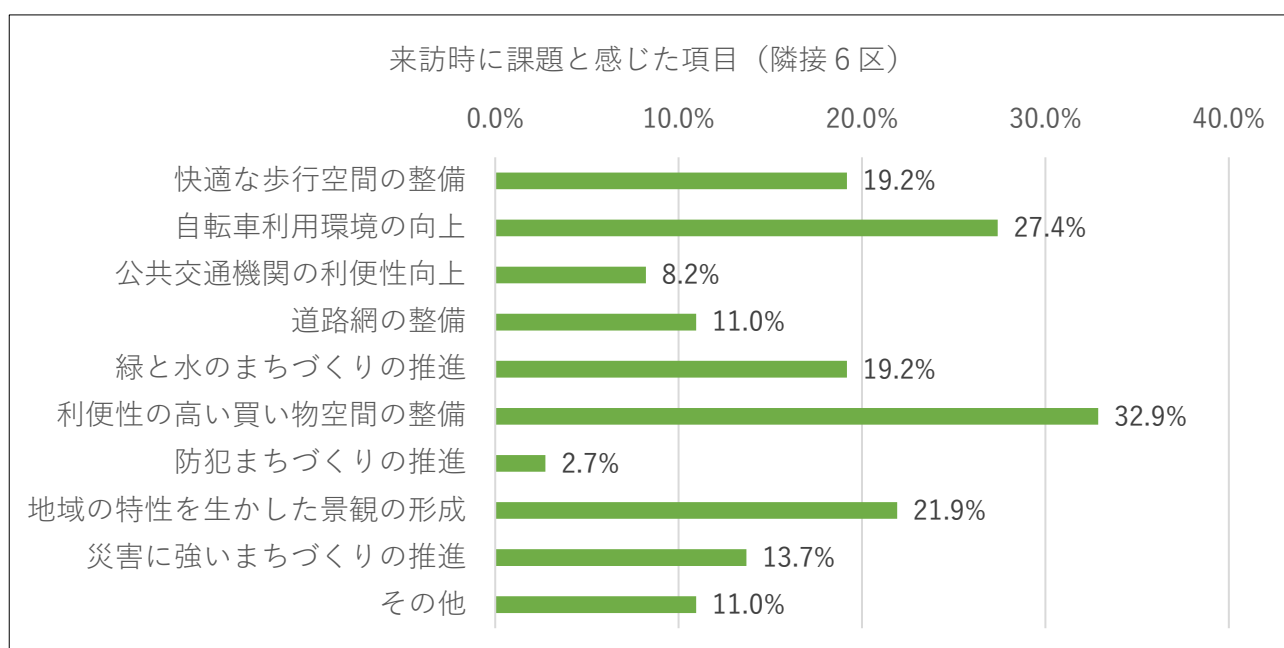
- ・全体と比較すると、市部では「緑と水のまちづくりの推進」と「地域の特性を生かした景観の形成」の割合（ともに22.2%）が多くなっている。



問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。（隣接6区）

区分	隣接6区
快適な歩行空間の整備	14 19.2%
自転車利用環境の向上	20 27.4%
公共交通機関の利便性向上	6 8.2%
道路網の整備	8 11.0%
緑と水のまちづくりの推進	14 19.2%
利便性の高い買い物空間の整備	24 32.9%
防犯まちづくりの推進	2 2.7%
地域の特性を生かした景観の形成	16 21.9%
災害に強いまちづくりの推進	10 13.7%
その他	8 11.0%

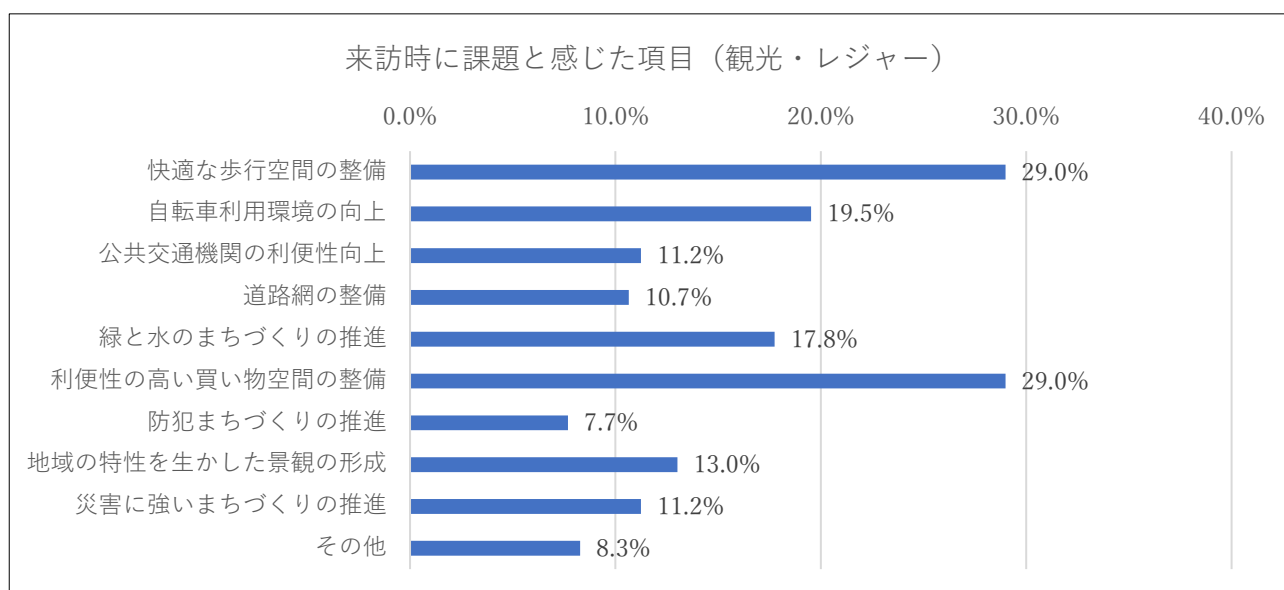
- ・全体と比較すると、隣接6区では特に「自転車利用環境の向上」の割合が多くなっている一方で、「快適な歩行空間の整備」の割合が少なくなっている。



問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。（来訪目的（観光・レジャー））

区分	観光・レジャー
快適な歩行空間の整備	49 29.0%
自転車利用環境の向上	33 19.5%
公共交通機関の利便性向上	19 11.2%
道路網の整備	18 10.7%
緑と水のまちづくりの推進	30 17.8%
利便性の高い買い物空間の整備	49 29.0%
防犯まちづくりの推進	13 7.7%
地域の特性を生かした景観の形成	22 13.0%
災害に強いまちづくりの推進	19 11.2%
その他	14 8.3%

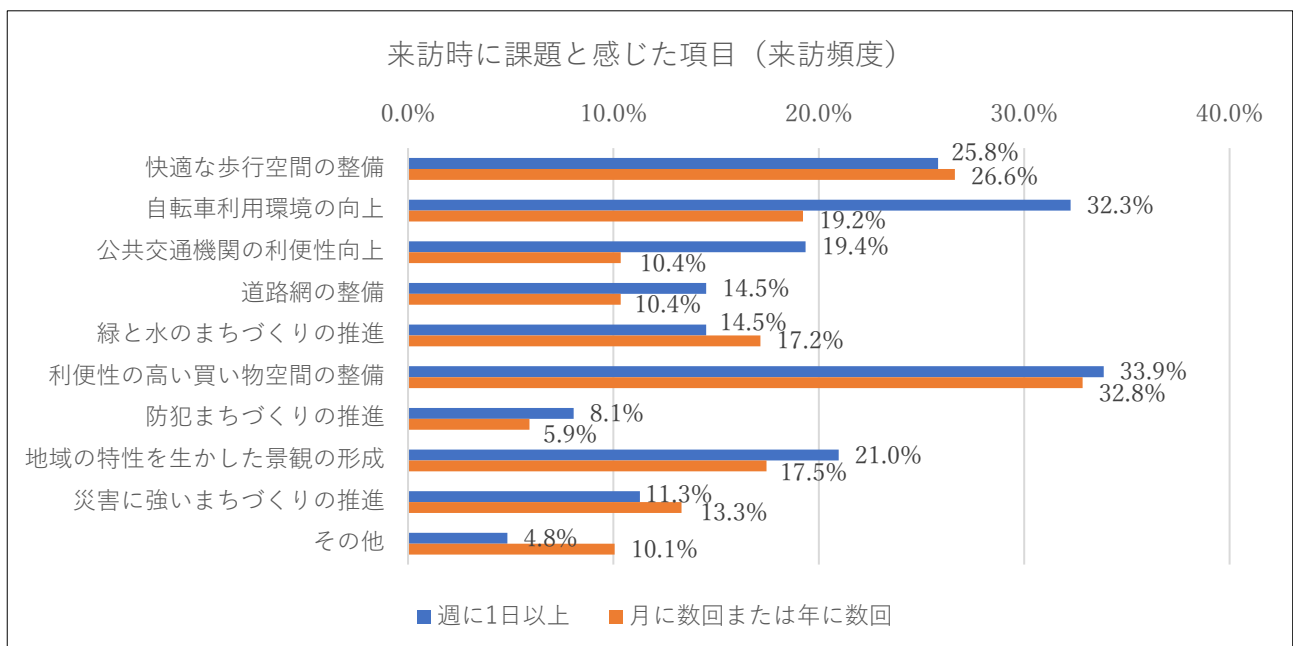
・「利便性の高い買い物空間の整備」と「快適な歩行空間の整備」が最も多くなっている。全体と比較すると、「地域の特性を生かした景観の形成」の割合が少なくなっている。



問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。（来訪頻度）

区分	週に1日以上	月に数回または年に数回
快適な歩行空間の整備	16 25.8%	90 26.6%
自転車利用環境の向上	20 32.3%	65 19.2%
公共交通機関の利便性向上	12 19.4%	35 10.4%
道路網の整備	9 14.5%	35 10.4%
緑と水のまちづくりの推進	9 14.5%	58 17.2%
利便性の高い買い物空間の整備	21 33.9%	111 32.8%
防犯まちづくりの推進	5 8.1%	20 5.9%
地域の特性を生かした景観の形成	13 21.0%	59 17.5%
災害に強いまちづくりの推進	7 11.3%	45 13.3%
その他	3 4.8%	34 10.1%

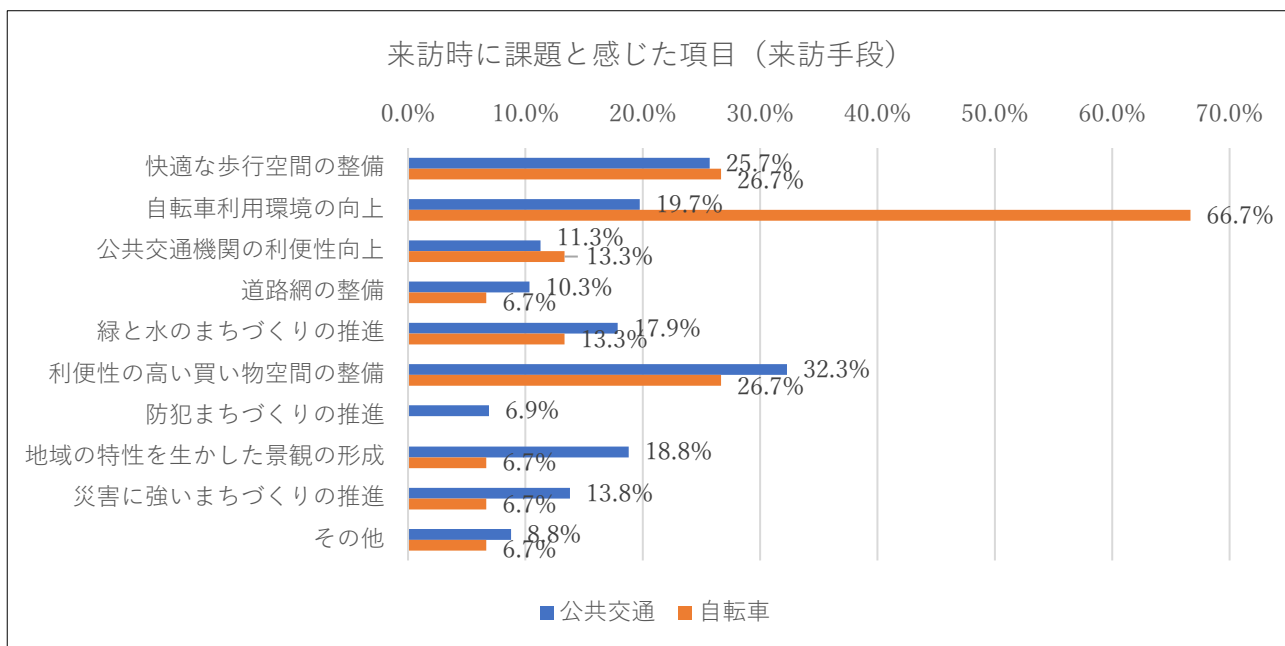
- ・「週に1日以上」、「月に数回または年に数回」とともに「利便性の高い買い物空間の整備」が最も多くなっている。
- ・「週に1日以上」では全体と比較すると「自転車利用環境の向上」の割合が約10ポイント多くなっている。



問4-1：文京区に来訪した際に課題と感じた事項はありますか。（来訪手段）

区分	公共交通（鉄道及びバス）	自転車
快適な歩行空間の整備	82 25.7%	4 26.7%
自転車利用環境の向上	63 19.7%	10 66.7%
公共交通機関の利便性向上	36 11.3%	2 13.3%
道路網の整備	33 10.3%	1 6.7%
緑と水のまちづくりの推進	57 17.9%	2 13.3%
利便性の高い買い物空間の整備	103 32.3%	4 26.7%
防犯まちづくりの推進	22 6.9%	0 0.0%
地域の特性を生かした景観の形成	60 18.8%	1 6.7%
災害に強いまちづくりの推進	44 13.8%	1 6.7%
その他	28 8.8%	1 6.7%

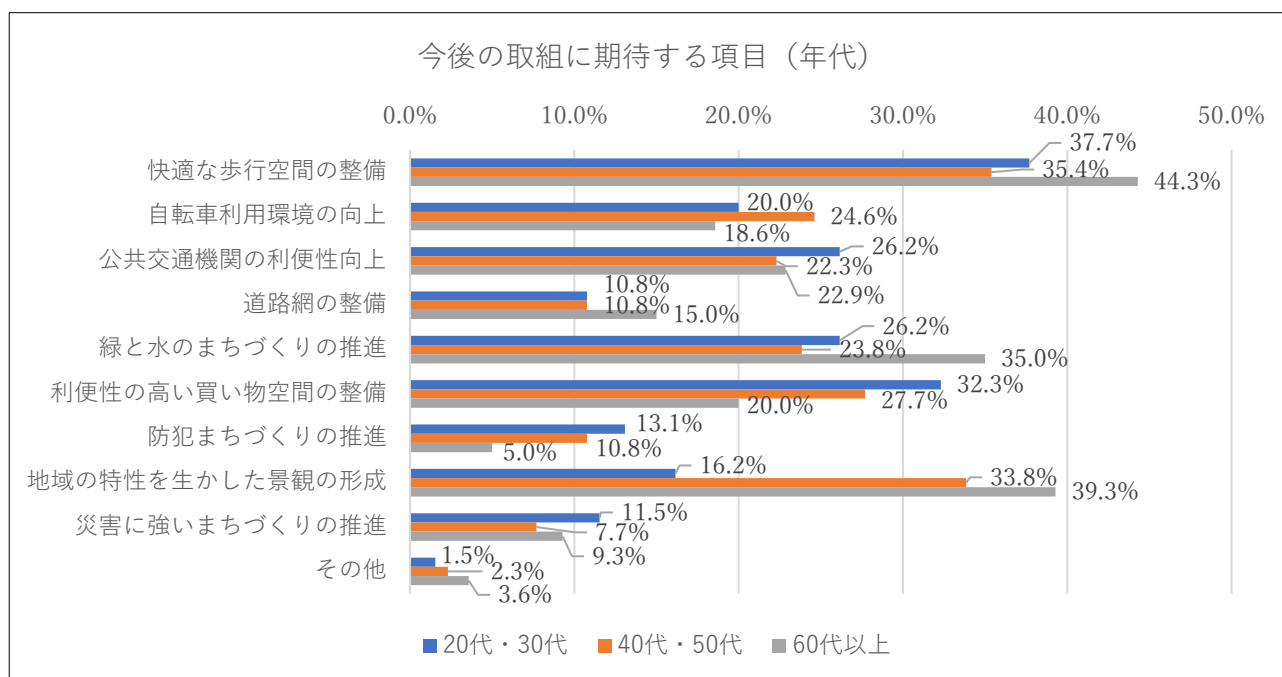
・「公共交通」で訪れる人は全体と大きな違いは見られないが、「自転車」で訪れる人は、「自転車利用環境の向上」の割合が全体と比較すると約40ポイント多くなっており、他の項目の割合が少なくなっている。



問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（年代）

区分	20代・30代	40代・50代	60代以上
快適な歩行空間の整備	49 37.7%	46 35.4%	62 44.3%
自転車利用環境の向上	26 20.0%	32 24.6%	26 18.6%
公共交通機関の利便性向上	34 26.2%	29 22.3%	32 22.9%
道路網の整備	14 10.8%	14 10.8%	21 15.0%
緑と水のまちづくりの推進	34 26.2%	31 23.8%	49 35.0%
利便性の高い買い物空間の整備	42 32.3%	36 27.7%	28 20.0%
防犯まちづくりの推進	17 13.1%	14 10.8%	7 5.0%
地域の特性を生かした景観の形成	21 16.2%	44 33.8%	55 39.3%
災害に強いまちづくりの推進	15 11.5%	10 7.7%	13 9.3%
その他	2 1.5%	3 2.3%	5 3.6%

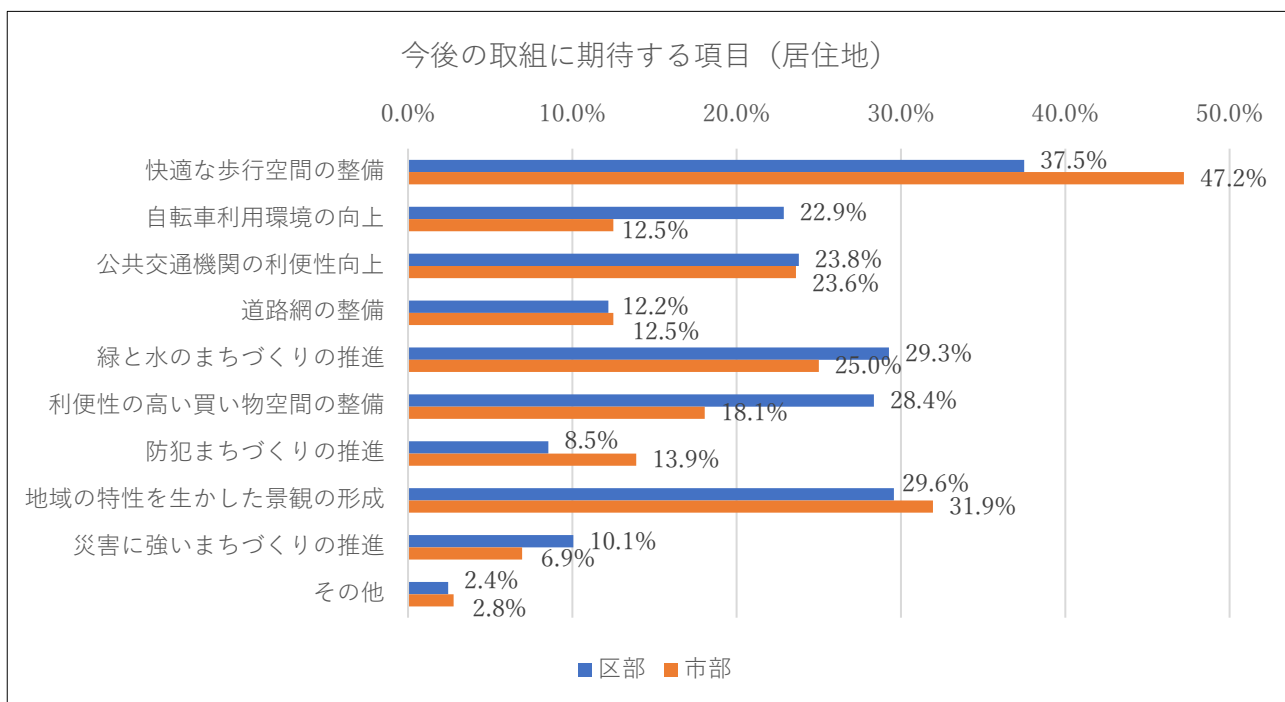
- ・どの年代においても「快適な歩行空間の整備」が最も多く、40代以上では、次いで「地域の特性を生かした景観の形成」が多くなっている。「20代・30代」は、「利便性の高い買い物空間」や「公共交通機関の利便性向上」の割合が多くなっている。



問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（居住地）

区分	区部	市部
快適な歩行空間の整備	123 37.5%	34 47.2%
自転車利用環境の向上	75 22.9%	9 12.5%
公共交通機関の利便性向上	78 23.8%	17 23.6%
道路網の整備	40 12.2%	9 12.5%
緑と水のまちづくりの推進	96 29.3%	18 25.0%
利便性の高い買い物空間の整備	93 28.4%	13 18.1%
防犯まちづくりの推進	28 8.5%	10 13.9%
地域の特性を生かした景観の形成	97 29.6%	23 31.9%
災害に強いまちづくりの推進	33 10.1%	5 6.9%
その他	8 2.4%	2 2.8%

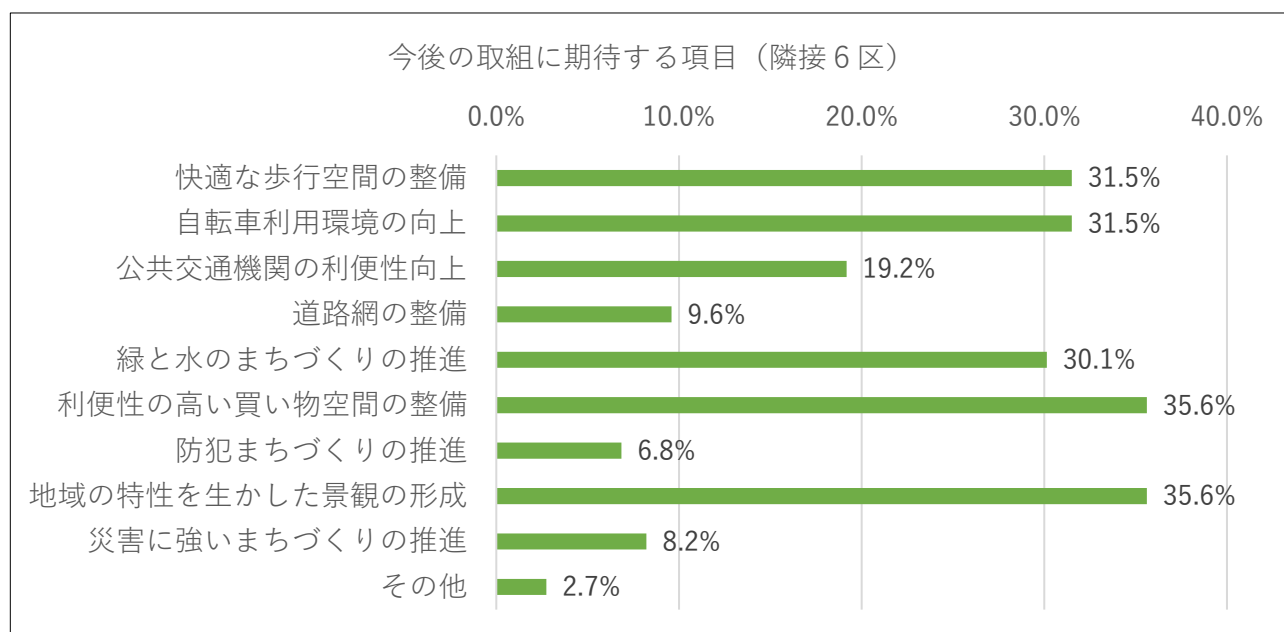
- ・全体と比較すると市部では、「快適な歩行空間の整備」の割合が多くなっており、「自転車利用環境の向上」と「利便性の高い買い物空間」の割合が少なくなっている。



問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（隣接6区）

区分	隣接6区
快適な歩行空間の整備	23 31.5%
自転車利用環境の向上	23 31.5%
公共交通機関の利便性向上	14 19.2%
道路網の整備	7 9.6%
緑と水のまちづくりの推進	22 30.1%
利便性の高い買い物空間の整備	26 35.6%
防犯まちづくりの推進	5 6.8%
地域の特性を生かした景観の形成	26 35.6%
災害に強いまちづくりの推進	6 8.2%
その他	2 2.7%

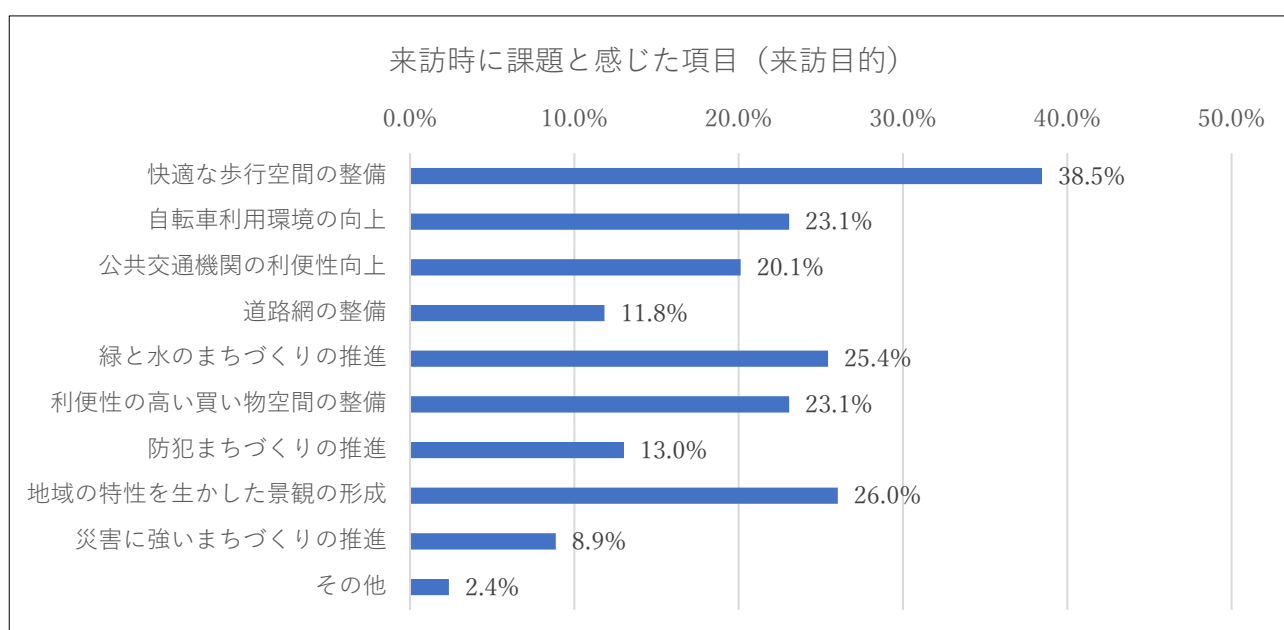
- ・隣接6区では、「快適な歩行空間の整備」の割合が少なくなっているが、「自転車利用環境の向上」や「利便性の高い買い物空間」、「地域の特性を生かした景観の形成」の割合が多くなっている。



問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（来訪目的）

区分	観光・レジャー
快適な歩行空間の整備	65 38.5%
自転車利用環境の向上	39 23.1%
公共交通機関の利便性向上	34 20.1%
道路網の整備	20 11.8%
緑と水のまちづくりの推進	43 25.4%
利便性の高い買い物空間の整備	39 23.1%
防犯まちづくりの推進	22 13.0%
地域の特性を生かした景観の形成	44 26.0%
災害に強いまちづくりの推進	15 8.9%
その他	4 2.4%

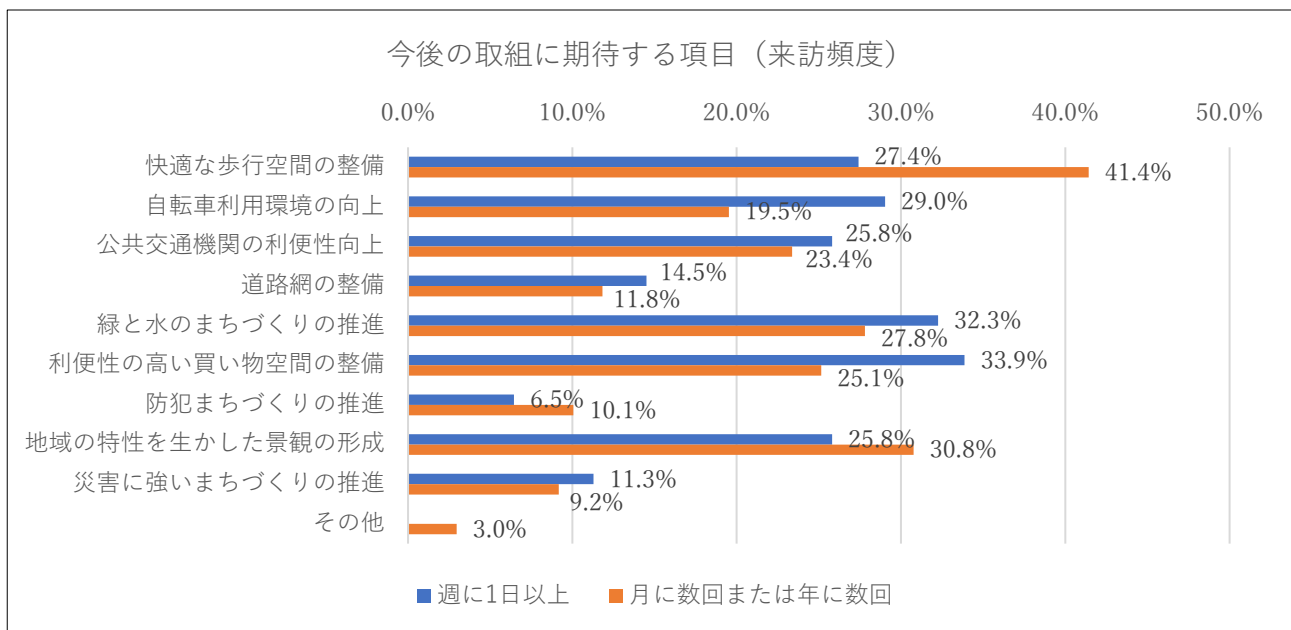
- ・「快適な歩行空間の整備」が 38.5%と最も多く、「地域の特性を生かした景観の形成」(26.0%)、「緑と水のまちづくりの推進」(25.4%)が続いており、全体との大きな違いは見られない。



問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（来訪頻度）

区分	週に1日以上	月に数回及び年に数回
快適な歩行空間の整備	17 27.4%	140 41.4%
自転車利用環境の向上	18 29.0%	66 19.5%
公共交通機関の利便性向上	16 25.8%	79 23.4%
道路網の整備	9 14.5%	40 11.8%
緑と水のまちづくりの推進	20 32.3%	94 27.8%
利便性の高い買い物空間の整備	21 33.9%	85 25.1%
防犯まちづくりの推進	4 6.5%	34 10.1%
地域の特性を生かした景観の形成	16 25.8%	104 30.8%
災害に強いまちづくりの推進	7 11.3%	31 9.2%
その他	0 0.0%	10 3.0%

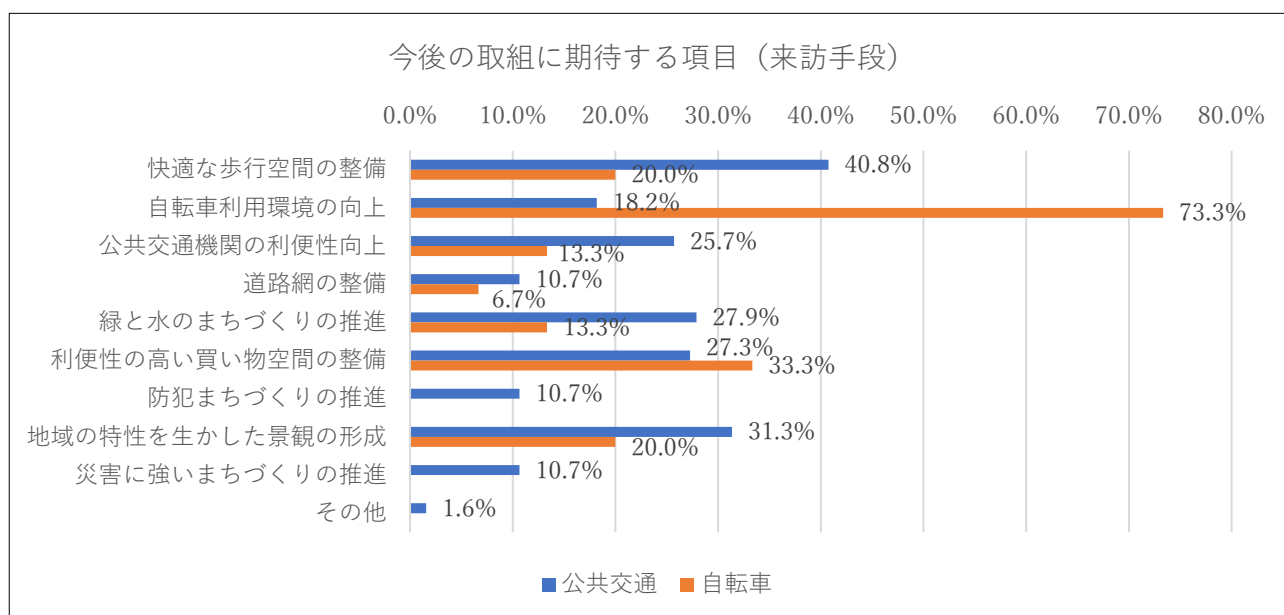
- ・「月に数回または年に数回」訪れる人は、「快適な歩行空間の整備」が41.4%と最も多く、「地域の特性を生かした景観の形成」(30.8%)、「緑と水のまちづくりの推進」(27.8%)が続いている
- ・「週に1日以上」訪れる人は、「利便性の高い買い物空間の整備」が33.9%最も多く、次いで「水と緑のまちづくりの推進」(32.3%)、「自転車利用環境の向上」(29.0%)が続いている。



問4-2：今後、文京区を再訪するにあたって、どのような取組に期待しますか。（来訪手段）

区分	公共交通（鉄道及びバス）	自転車
快適な歩行空間の整備	130 40.8%	3 20.0%
自転車利用環境の向上	58 18.2%	11 73.3%
公共交通機関の利便性向上	82 25.7%	2 13.3%
道路網の整備	34 10.7%	1 6.7%
緑と水のまちづくりの推進	89 27.9%	2 13.3%
利便性の高い買い物空間の整備	87 27.3%	5 33.3%
防犯まちづくりの推進	34 10.7%	0 0.0%
地域の特性を生かした景観の形成	100 31.3%	3 20.0%
災害に強いまちづくりの推進	34 10.7%	0 0.0%
その他	5 1.6%	0 0.0%

- ・「公共交通」で訪れる人は、「快適な歩行空間の整備」が 40.8%と最も多く、「地域の特性を生かした景観の形成」(31.3%)、「緑と水のまちづくりの推進」(27.9%)が続いている
- ・「自転車」で訪れる人は、「自転車利用環境の向上」が 73.3%と最も多く、次いで「利便性の高い買い物空間」(33.3%)が多くなっている。



4) 分析

来訪目的は、「観光」と「レジャー・スポーツ」が全体の約 4 割を占めている。一方で、「買い物」(日常・非日常)の割合は約 1 割と少ない。

本区を訪れる頻度は、「月に数回」と「年に数回」の回答が多く、合わせると全体の約 8 割である。

本区の魅力は、「歴史・文化」の回答が 54.0%と最も多く、次いで「交通利便性」(48.0%)が多くなっている。この 2 つの魅力については、今後のまちづくりで生かしていく項目としても上位 2 つとなっている(歴史・文化 54.5%、交通利便性 32.5%)。「旧加賀屋敷御守殿門(赤門)・護国寺本堂・根津神社本殿」等の文化財や、文人ゆかりの地等の歴史・文化的資源が観光・来訪の目的になっており、その来訪手段である地下鉄やバス路線が充実していることから、これらの回答が多くなっていると考えられる。

また、今後のまちづくりで生かしていく項目として「閑静な住宅地」は、来訪者の期待は小さい(17%)一方で、区民の期待は大きい傾向にある。

本区を訪れた際の課題として、「買い物するのに不便と感じる」(33.0%)が最も多い。

来訪目的において「買い物」の回答は約 1 割と少ないことも考慮すると、「買い物するのに不便と感じる」が最も課題と感じられている結果となった。

今後期待する取組としては「快適な歩行空間の整備」(39.3%)が最も多い。

次いで、「地域の特性を生かした景観形成」(30.0%)や「緑と水のまちづくり」(28.5%)と続き、これらは「利便性の高い買い物空間の整備」よりも回答が多くなっている。

区民と比較すると、区民意識調査は「(2)-①歩行・自転車利用の環境整備の整備」や「(4)-④賑わいのある商店街の形成」に不満・やや不満と回答する割合が比較的多い。この 2 項目は、来訪者においても「利便性の高い買い物空間の整備」に次いで多くなっている(各 26.5%、21.3%)ため、来訪者と区民が課題と感じる項目は似た傾向にある。

今後の取組に期待する項目について、区民は、災害に強いまちづくりや防犯まちづくりの回答割合が多く傾向にあるが、来訪者においては最も回答が少ない 2 項目である(各 9.5%)。